

令和 5 年度

事業年報

公益財団法人 群馬県健康づくり財団

目 次

第1部 令和5年度事業概要

1	健（検）診・検査事業等	1
(1)	胸部検診	1
(2)	循環器健診	3
(3)	胃がん検診	18
(4)	子宮頸がん検診	21
(5)	肺がん検診	24
(6)	乳がん検診	27
(7)	大腸がん検診	30
(8)	前立腺がん検診	33
(9)	骨密度検診	35
(10)	歯周疾患検診	38
	歯周疾患検診	
	歯科検診	
	唾液検査による歯周病検診	
(11)	心身の健康づくり事業	42
	ストレスチェック	
	個別カウンセリング	
(12)	特定保健指導・一般保健指導	43
(13)	健康サポート事業	45
(14)	腸内細菌検査・ノロウイルス検査・ 新型コロナウイルス検査	47
(15)	病理検査	48
	細胞診検査	
	組織診検査	
(16)	学校保健検査	50
	尿検査	
	血液検査	
	貧血検査	
	心臓検診	
	小児生活習慣病予防健診	
(17)	先天性代謝異常等検査	57
(18)	食品検査	61
	食品検査	

(19)	水質検査	63
	計量証明検査	
	浴槽水水質検査	
(20)	施設内健診	65
	各種健康診断	
	精密検査	
2	発見がん追跡調査結果	68
3	普及啓発事業	73
(1)	機関誌の発行	73
(2)	結核予防週間関連	73
(3)	がん征圧月間関連	73
(4)	リレー・フォー・ライフ・ジャパンぐんま	73
(5)	臓器移植普及推進月間の事業	74
(6)	「第11回群馬県地域保健研究発表会」 の開催	74
(7)	健康づくり助成「あさを賞」の交付	74
(8)	民間組織の育成強化	74
(9)	結核予防複十字シール運動の推進	74
(10)	賛助会員の募集	75
(11)	臓器移植推進募金活動	75
(12)	健康教育資料の提供	75
(13)	実習生等の受け入れ	76
4	県受託事業	77
(1)	がん登録事業	77
(2)	臓器移植推進事業	78

第2部 資 料

1	組織図	79
2	理事会・評議員会	80
(1)	理事会	80
	第1回理事会	
	第2回理事会	
	役員名簿	
(2)	評議員会	82

	第1回評議員会	
	第2回評議員会	
	評議員名簿	
3	各専門委員会……………	84
	がん検診専門委員会	
	委員名簿	
4	各種許認可・登録等状況……………	88
5	各種学会認定医……………	88
6	職員資格関係（各種学会認定職種） ……	89
	(1) 細胞検査士	
	（日本臨床細胞学会 認定） ……	89
	(2) 胃がん検診専門技師	
	（日本消化器がん検診学会 認定） ……	89
	(3) 内視鏡技師	
	（日本消化器内視鏡学会 認定） ……	89
	(4) 検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師	
	（日本乳がん検診精度管理中央機構 認定） ……	89
	(5) 乳がん検診超音波検査実施技師	
	（日本乳がん検診精度管理中央機構 認定） ……	89
	(6) 超音波検査士	
	（日本超音波医学会 認定） ……	89
	(7) 肺がんCT認定技師	
	（肺がんCT検診認定機構 認定） ……	89
7	機器整備の状況……………	90
8	全国大会等の状況……………	93
9	学会・研修会等参加状況……………	95
10	研究発表 ……	99
11	表彰（職員）……………	102
12	公益財団法人群馬県健康づくり財団の沿革…	103

第1部 令和5年度事業概要

1 健（検）診・検査事業等

(1) 胸部検診

=検診方法=

1) 検診項目

胸部エックス線 デジタル撮影

2) 判定方法

専門の医師2名で二重読影を行う。

3) 判定区分

異常なし・・・所見なし

有 所 見・・・所見は見られるが精密検査は不要

要 精 検・・・病変の発見およびその疑いがある

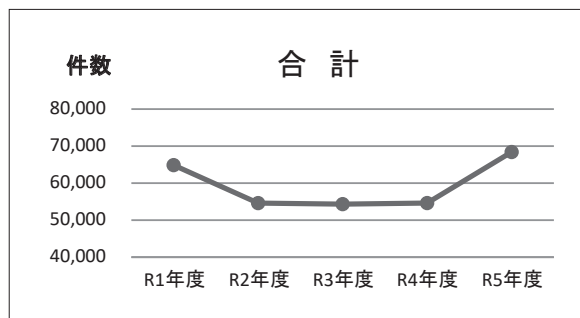
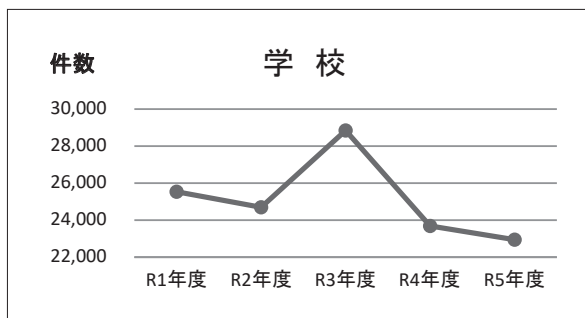
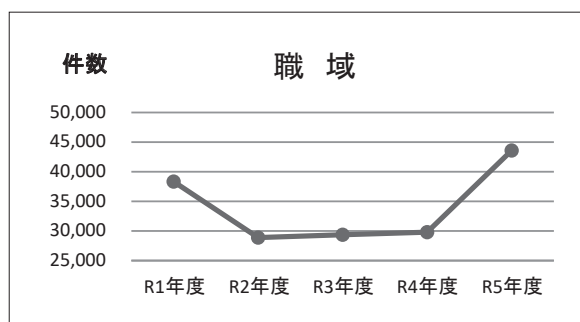
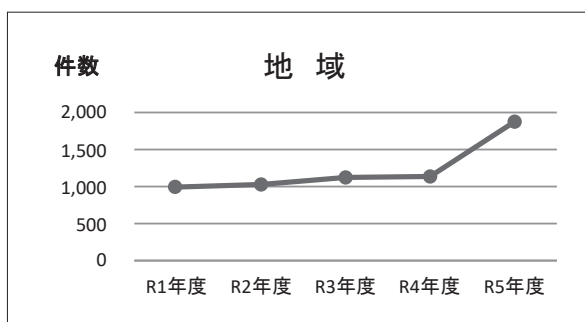
=実施状況=

受診数の年次推移

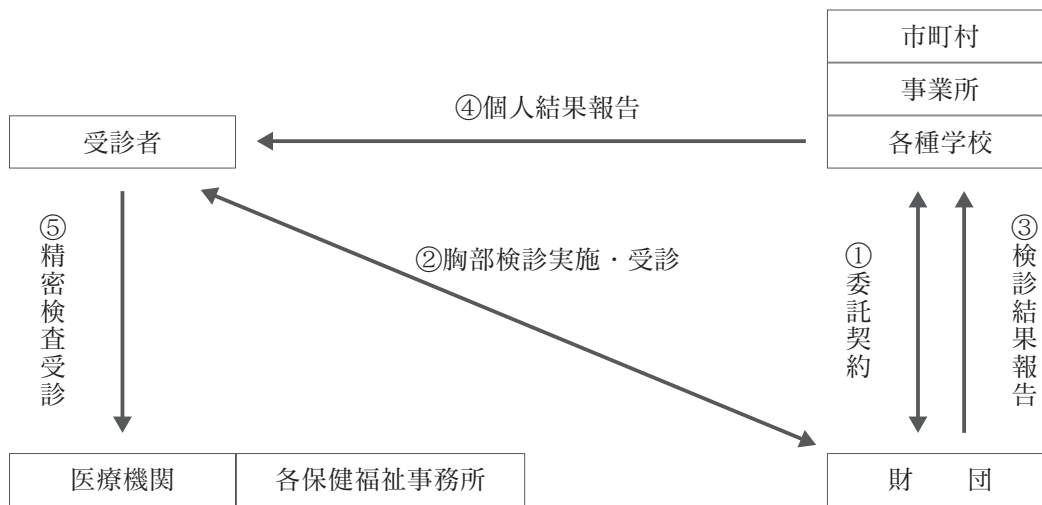
(件)

区 分	R 1年度	R 2年度	R 3年度	R 4年度	R 5年度
地 域	993	1,028	1,123	1,136	1,876
職 域	38,336	28,884	29,362	29,796	43,584
学 校	25,535	24,695	28,844	23,686	22,945
合 計	64,864	54,607	54,329	54,618	68,405

※結核検診（含）



= 検診スキーム =



(2) 循環器健診

= 健診項目 =

区 分		高齢者医療確保法 (実施基準第2条)	労働安全衛生法 (定期健康診断)
診察	既往歴	○	○
	(うち服薬歴)	○	※
	(うち喫煙歴)	○	※
	業務歴		○
	自覚症状	○	○
	他覚症状	○	○
身体計測	身長	○	○ ^{注1)}
	体重	○	○
	腹囲	○	○ ^{注2)}
	BMI	○	○ ^{注3)}
血圧等	血圧	○	○
肝機能検査	AST (GOT)	○	○
	ALT (GPT)	○	○
	γ-GT (γ-GTP)	○	○
血中脂質検査	中性脂肪	○	○
	HDL-コレステロール	○	○
	LDL-コレステロール	○ ^{注4)}	○ ^{注4)}
血糖検査	空腹時血糖	●	●
	HbA1c	●	●
	随時血糖	● ^{注6)}	● ^{注7)}
尿検査	尿糖	○	○
	尿蛋白	○	○
血液学検査 (貧血検査)	ヘマトクリット値	□	
	血色素量	□	○
	赤血球数	□	○
心電図検査		□	○
眼底検査		□	
血清クレアチニン検査 (eGFR)		□	□ ^{注5)}
視力			○
聴力			○
胸部エックス線検査			○
喀痰検査			○ ^{注8)}

注：労働安全衛生法に基づく定期健康診断は、40歳以上における取扱いについて記載している。

○…必須項目

●…いずれかの項目の実施でも可

□…医師の判断に基づき選択的に実施する項目

※…必須ではないが、聴取の実施について協力依頼

注1) 医師が必要でないと認めるときは省略可

注2) 以下の者については医師が必要でないと認めるときは省略可

1 妊娠中の女性その他の者であって、その腹囲が内臓脂肪の蓄積を反映していないと診断されたもの

2 BMI (次の算式により算出したものをいう。以下同じ。) が20未満である者

BMI = 体重 (kg) / 身長 (m)²

3 自ら腹囲を測定し、その値を申告した者 (BMIが22未満の者に限る。)

注3) 算出可

注4) 中性脂肪 (血清トリグリセライド) が400mg/dl以上である場合又は食後採血の場合は、LDLコレステロールに代えてNon-HDLコレステロールで評価を行うことができる。

注5) 医師が必要と認めた場合には実施することが望ましい項目

注6) やむを得ず空腹時以外に採血を行い、HbA1c(NGSP値)を測定しない場合は、食直後 (食事開始時から3.5時間未満)を除き随時血糖による血糖検査を行うことを可とする。

注7) 検査値を特定健康診査に活用する場合には、食直後の採血は避けることが必要

注8) 胸部エックス線検査により病変及び結核発病のおそれがないと診断された者について医師が必要でないと認めるときは省略可

高齢者医療確保法 (実施基準第2条) 詳細な健診項目 (医師の判断による追加項目：告示で規定)

追加項目	実施できる条件 (判断基準)				
貧血検査 (ヘマトクリット値、血色素量 及び赤血球数の測定)	貧血の既往歴を有する者又は視診等で貧血が疑われる者				
心電図検査 (12誘導心電図) *1	当該年度の特定健康診査の結果等において、収縮期血圧140mmHg以上若しくは拡張期血圧90mmHg 又は問診等で不整脈が疑われる者				
眼底検査 *2	<p>当該年度の特定健康診査の結果等において、血圧又は血糖が³、次の基準に該当した者</p> <table border="1"> <tr> <td>血圧</td> <td>収縮期140mmHg 以上又は拡張期90mmHg 以上</td> </tr> <tr> <td>血糖</td> <td>空腹時血糖値が³126mg/dl 以上、HbA1c (NGSP 値) 6.5%以上又は随時血糖値が³126mg/dl 以上</td> </tr> </table> <p>ただし、当該年度の特定健康診査の結果等において、血圧の基準に該当せず、かつ血糖検査の結果について確認することができない場合においては、前年度の特定健康診査の結果等において、血糖検査の基準に該当する者を含む。</p>	血圧	収縮期140mmHg 以上又は拡張期90mmHg 以上	血糖	空腹時血糖値が ³ 126mg/dl 以上、HbA1c (NGSP 値) 6.5%以上又は随時血糖値が ³ 126mg/dl 以上
血圧	収縮期140mmHg 以上又は拡張期90mmHg 以上				
血糖	空腹時血糖値が ³ 126mg/dl 以上、HbA1c (NGSP 値) 6.5%以上又は随時血糖値が ³ 126mg/dl 以上				
血清クレアチニン検査 (eGFR による腎機能の評価を含む)	<p>当該年度の特定健康診査の結果等において、血圧又は血糖が³、次の基準に該当した者</p> <table border="1"> <tr> <td>血圧</td> <td>収縮期130mmHg 以上又は拡張期85mmHg 以上</td> </tr> <tr> <td>血糖</td> <td>空腹時血糖値が³100mg/dl 以上、HbA1c (NGSP 値) 5.6%以上又は随時血糖値が³100mg/dl 以上</td> </tr> </table>	血圧	収縮期130mmHg 以上又は拡張期85mmHg 以上	血糖	空腹時血糖値が ³ 100mg/dl 以上、HbA1c (NGSP 値) 5.6%以上又は随時血糖値が ³ 100mg/dl 以上
血圧	収縮期130mmHg 以上又は拡張期85mmHg 以上				
血糖	空腹時血糖値が ³ 100mg/dl 以上、HbA1c (NGSP 値) 5.6%以上又は随時血糖値が ³ 100mg/dl 以上				

* 1 心電図検査は、基準に基づき医師が必要と認める者であって特定健康診査当日に心電図検査を実施した場合、詳細な健診の項目として実施したこととする。

* 2 眼底検査は、基準に基づき医師が必要と認める者であって特定健康診査当日から1か月以内に眼底検査を実施した場合、詳細な健診の項目として実施したこととする。

循環器健診判定基準表 (検査項目別区分)

令和4年度版 (地域用)

項目・単位		判定区分		1:異常を認めず	2:要指導(要観察)		3:要医療
					a	b	
計測	BMI			18.5~24.9		~18.4・25.0~	
	腹囲	男		~84.9		85.0~	
		女		~89.9		90.0~	
血圧	区分			至適血圧・正常血圧	正常高値	軽症高血圧	中等度高血圧・重症高血圧
	収縮期	mmHg		~129	130~139	140~159	160~
	拡張期	mmHg		~84	85~89	90~99	100~
脂質	中性脂肪	mg/dl		~149		150~299	300~
	HDLコレステロール	mg/dl		40~		35~39	~34
	LDLコレステロール	mg/dl		~119		120~139	140~
	Non-HDLコレステロール	mg/dl		~149		150~169	170~
	総コレステロール	mg/dl		150~199	~149・200~219	220~239	240~
肝機能	AST(GOT)	U/l		~30	31~35	36~50	51~
	ALT(GPT)	U/l		~30	31~40	41~50	51~
	γ-GT(γ-GTP)	U/l		~50	51~80	81~100	101~
	総蛋白	g/dl		6.5~7.9	8.0~8.3	6.2~6.4	~6.1・8.4~
	アルブミン	g/dl		3.9~		3.7~3.8	~3.6
血糖	血糖値	空腹時		60~99	51~59・100~109	110~125	~50・126~
		10時間以上					
	1~9時間		60~139	51~59	140~199	~50・200~	
	HbA1c (NGSP)	%		~5.5	5.6~5.9	6.0~6.4	6.5~
尿検査	蛋白			(-)	(±)	(+)	(2+)~
	糖			(-)	(±)~		
	潜血			(-)	(±)	(+)	(2+)~
	ウロビリノーゲン			正常/(±)	(-)	(+),(2+)	(3+)~
貧血	赤血球数	男		400~539	540~599	360~399	~359・600~
		女		360~489	490~549	330~359	~329・550~
	血色素量	男		13.1~16.3	16.4~18.0	12.1~13.0	~12.0・18.1~
		女		12.1~14.5	14.6~16.0	11.1~12.0	~11.0・16.1~
	ヘマトクリット	男		38.5~48.9	49.0~50.9	35.4~38.4	~35.3・51.0~
		女		35.5~43.9	44.0~47.9	32.4~35.4	~32.3・48.0~
血液一般	白血球数	/mm ³		3100~8499	8500~8999	9000~9999	~3099・10000~
	血小板数	万/mm ³		14.5~32.9	12.3~14.4・33.0~39.9	10.0~12.2	~9.9・40.0~
腎機能	クレアチニン	男		~1.00	1.01~1.09	1.10~1.29	1.30~
		女		~0.70	0.71~0.79	0.80~0.99	1.00~
	eGFR	ml/分/1.73m ²		60.0~		45.0~59.9	~44.9
	尿素窒素	mg/dl		8.0~20.0	~7.9・20.1~24.9	25.0~29.9	30.0~
尿酸	尿酸	mg/dl		2.1~7.0	7.1~7.9	~2.0・8.0~8.9	9.0~
心電図				別紙心電図判定基準表参照			
眼底	高血圧性所見(H) 硬化性所見(S)			H・Sが0のもの	H・Sのいずれかが 1を含むもの	H・Sのいずれかが 2を含むもの	H・Sのいずれかが 3または4を含むもの
	その他の所見			病変の程度による			

(公財)群馬県健康づくり財団

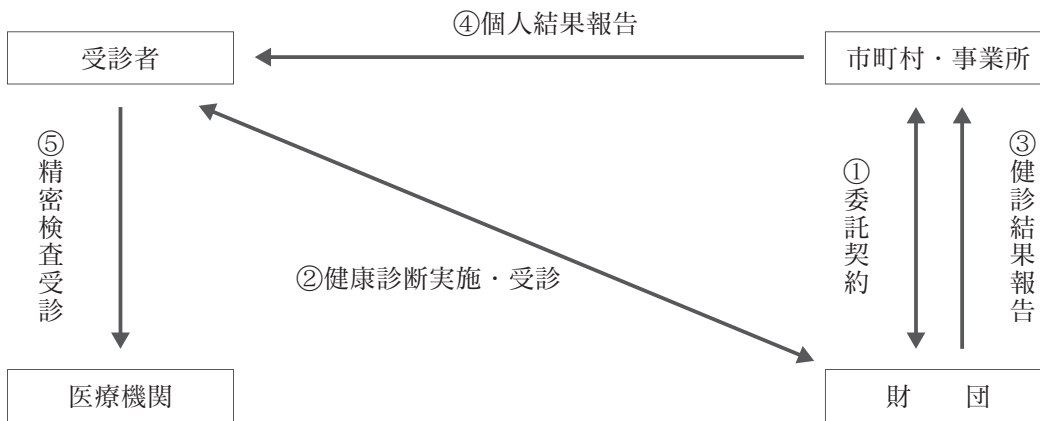
循環器健診判定基準表 (検査項目別区分)

令和4年度版(職域用)

項目・単位		判定区分	A:1 正常範囲	B:2 軽度異常	C:3 要経過観察	D:4 要治療	E:5 要精検	F:6 治療中
計測	BMI		18.5~24.9		~18.4 25.0~			
	腹囲	男	~84.9		85.0~			
		女	~89.9		90.0~			
尿検査	蛋白		(-)	(±)	(+)		(2+)~	
	糖		(-)	(±)			(+)~	
	潜血		(-)	(±)	(+)		(2+)~	
	ウロビリノーゲン		正常/(±)	(-)	(+), (2+)		(3+)~	
血圧	収縮期	mmHg	~129	130~139	140~159		160~	
	拡張期	mmHg	~84	85~89	90~99		100~	
脂質	総コレステロール	mg/dl	150~199	~149 200~219	220~239		240~	
	中性脂肪	mg/dl	~149		150~299		300~	
	HDLコレステロール	mg/dl	40~		35~39		~34	
	LDLコレステロール	mg/dl	~119		120~139		140~	
	Non-HDLコレステロール	mg/dl	~149		150~169		170~	
肝機能	AST (GOT)	U/l	~30	31~35	36~50		51~	
	ALT (GPT)	U/l	~30	31~40	41~50		51~	
	γ-GT (γ-GTP)	U/l	~50	51~80	81~100		101~	
	ALP	U/l	38~113	~37	114~150		151~	
	総蛋白	g/dl	6.5~7.9	8.0~8.3	6.2~6.4		~6.1 8.4~	
	アルブミン	g/dl	3.9~		3.7~3.8		~3.6	
	総ビリルビン	mg/dl	0.2~1.1	~0.1 1.2~1.5	1.6~1.9		2.0~	
	アミラーゼ	U/l	49~136	~48 137~149	150~199		200~	
腎機能	クレアチニン	mg/dl	男 ~1.00	1.01~1.09	1.10~1.29		1.30~	
		女 ~0.70	0.71~0.79	0.80~0.99		1.00~		
	eGFR	ml/分/1.73m ²	60.0~		45.0~59.9		~44.9	
	尿素窒素	mg/dl	8.0~20.0	~7.9 20.1~24.9	25.0~29.9		30.0~	
血液一般	赤血球数	万/mm ³	男 400~539	540~599	360~399		~359 600~	
		女 360~489	490~549	330~359		~329 550~		
	血色素量	g/dl	男 13.1~16.3	16.4~18.0	12.1~13.0		~12.0 18.1~	
		女 12.1~14.5	14.6~16.0	11.1~12.0		~11.0 16.1~		
	ヘマトクリット	%	男 38.5~48.9	49.0~50.9	35.4~38.4		~35.3 51.0~	
		女 35.5~43.9	44.0~47.9	32.4~35.4		~32.3 48.0~		
白血球数	//mm ³	3100~8499	8500~8999	9000~9999		~3099 10000~		
糖代謝	空腹時血糖	mg/dl	60~99	51~59 100~109	110~125		~50 126~	
	1~9時間	mg/dl	60~139	51~59	140~199		~50 200~	
	HbA1c (NGSP)	%	~5.5	5.6~5.9	6.0~6.4		6.5~	
その他の血液検査	尿酸	mg/dl	2.1~7.0	7.1~7.9	~2.0 8.0~8.9		9.0~	
心電図			別紙心電図判定基準表参照					
視力	裸眼		0.7~	~0.6				
	矯正			0.7~	~0.6			
聴力	1000Hz (30db)		所見なし	所見あり				
	4000Hz (40db)							
眼底	高血圧性所見 (H) 硬化性所見 (S)		H・Sが0のもの	H・Sのいずれかが 1を含むもの	H・Sのいずれかが 2を含むもの		H・Sのいずれかが 3または4を含むもの	
	その他の所見		病変の程度による					

(公財)群馬県健康づくり財団

=健診スキーム=



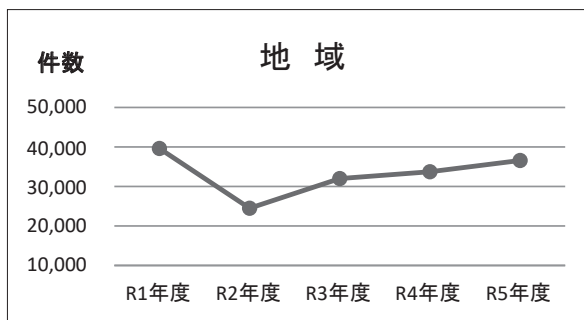
■ 地 域

=実施状況=

受診数の年次推移

(件)

区 分	R 1 年度	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度
地 域	39,618	24,486	31,998	33,722	36,576



1) 特定健康診査

特定健診 年齢階層別受診状況

性別	年齢区分	受診者数	異常を認めず	要観察 a	要観察 b	要医療	有所見率 (%)	詳細項目		
								貧血受診者数	心電図受診者数	眼底受診者数
男	40～44歳	445	41	47	158	199	90.8	110	111	84
	45～49歳	565	42	42	193	288	92.6	136	143	124
	50～54歳	672	35	34	236	367	94.8	179	218	180
	55～59歳	643	25	46	224	348	96.1	179	217	201
	60～64歳	929	30	41	335	523	96.8	225	338	315
	65～69歳	2,251	44	68	901	1,238	98.0	510	858	787
	70歳以上	4,199	81	138	1,777	2,203	98.1	998	1,518	1,336
男性計		9,704	298	416	3,824	5,166	96.9	2,337	3,403	3,027
女	40～44歳	412	79	43	169	121	80.8	170	75	41
	45～49歳	489	71	37	226	155	85.5	207	77	59
	50～54歳	583	47	62	224	250	91.9	243	118	89
	55～59歳	685	36	44	298	307	94.7	246	154	121
	60～64歳	1,257	32	85	522	618	97.5	413	300	243
	65～69歳	2,561	57	128	1,123	1,253	97.8	720	768	601
	70歳以上	4,629	91	278	2,064	2,196	98.0	1,248	1,565	1,133
女性計		10,616	413	677	4,626	4,900	96.1	3,247	3,057	2,287
男女計		20,320	711	1,093	8,450	10,066	96.5	5,584	6,460	5,314

※結果判定処理をしたものに限る

特定健診 年齢階層別保健指導区分等の状況

性別	年齢区分	受診者数	保健指導区分別実人員				内臓脂肪症候群	
			保健指導 非対象者	保健指導対象者		予備軍	該当者	
				動機付け支援	積極的支援			
男	40～49歳	1,010	698	94	218	188	180	
	50～59歳	1,315	947	116	252	249	329	
	60～64歳	929	728	73	128	167	272	
	65～69歳	2,251	1,839	412	0	410	753	
	70～74歳	3,619	3,082	537	0	641	1,200	
	75歳以上	580	488	92	0	104	188	
	男性計	9,704	778	1,324	598	1,759	2,922	
女	40～49歳	901	794	74	33	70	32	
	50～59歳	1,268	1,126	86	56	84	85	
	60～64歳	1,257	1,129	66	62	94	115	
	65～69歳	2,561	2,349	212	0	178	300	
	70～74歳	4,036	3,774	262	0	273	529	
	75歳以上	593	561	32	0	37	71	
	女性計	10,616	9,733	732	151	736	1,132	
男女計	20,320	17,515	2,056	749	2,495	4,054		

※結果判定処理をしたものに限る

2) 後期高齢者健康診査

後期高齢者健診 年齢階層別受診状況

性別	年齢区分	受診者数	異常を認めず	要観察 a	要観察 b	要医療	有所見率 (%)	詳細項目		
								貧血受診者数	心電図受診者数	眼底受診者数
男	65～69歳	17	1	1	8	7	94.1	4	5	3
	70歳以上	5,495	86	240	2,214	2,955	98.4	1,503	1,958	1,467
	男性計	5,512	87	241	2,222	2,962	98.4	1,507	1,963	1,470
女	65～69歳	13	0	0	3	10	100.0	3	4	2
	70歳以上	5,601	72	248	2,430	2,851	98.7	1,741	2,120	1,317
	女性計	5,614	72	248	2,433	2,861	98.7	1,744	2,124	1,319
	男女計	11,126	159	489	4,655	5,823	98.6	3,251	4,087	2,789

※結果判定処理をしたものに限る

後期高齢者健診 年齢階層別保健指導区分等の状況

性別	年齢区分	受診者数	保健指導区分別実人員			内臓脂肪症候群	
			保健指導非対象者	保健指導対象者	予備軍	該当者	
			動機付け支援	積極的支援			
男	65～69歳	17	17	0	0	0	0
	70～74歳	28	28	0	0	0	0
	75歳以上	5,467	5,467	0	0	0	0
男性計			5,512	0	0	0	0
女	65～69歳	13	13	0	0	0	0
	70～74歳	12	12	0	0	0	0
	75歳以上	5,589	5,589	0	0	0	0
女性計			5,614	0	0	0	0
男女計			11,126	0	0	0	0

※結果判定処理をしたものに限る

3) 健康増進法に基づく健康診査

健康増進法に基づく健康診査 年齢階層別受診状況

性別	年齢区分	受診者数	異常を認めず	要観察 a	要観察 b	要医療	有所見率 (%)	詳細項目		
								貧血受診者数	心電図受診者数	眼底受診者数
男	40～44歳	1	0	0	1	0	100.0	0	0	0
	45～49歳	4	0	1	1	2	100.0	3	0	0
	50～54歳	0	0	0	0	0		0	0	0
	55～59歳	12	0	1	3	8	100.0	4	3	3
	60～64歳	6	0	0	0	6	100.0	5	3	2
	65～69歳	4	0	0	2	2	100.0	0	2	2
	70歳以上	38	0	3	10	25	100.0	8	11	6
男性計		65	0	5	17	43	100.0	20	19	13
女	40～44歳	1	0	0	1	0	100.0	1	0	0
	45～49歳	8	1	0	3	4	87.5	3	0	0
	50～54歳	2	0	0	2	0	100.0	1	0	0
	55～59歳	4	0	0	1	3	100.0	0	1	1
	60～64歳	4	0	0	2	2	100.0	2	0	0
	65～69歳	3	1	0	0	2	66.7	1	1	1
	70歳以上	27	0	0	13	14	100.0	8	11	10
女性計		49	2	0	22	25	95.9	16	13	12
男女計		114	2	5	39	68	98.2	36	32	25

※結果判定処理をしたものに限る

健康増進法に基づく健康診査 年齢階層別保健指導区分等の状況

性別	年齢区分	受診者数	保健指導区分別実人員				内臓脂肪症候群	
			保健指導 非対象者	保健指導対象者		予備軍	該当者	
				動機付け支援	積極的支援			
男	40～49歳	5	5	0	0	2	1	
	50～59歳	12	11	1	0	2	3	
	60～64歳	6	3	1	2	3	1	
	65～69歳	4	3	1	0	0	4	
	70～74歳	10	9	1	0	1	5	
	75歳以上	28	26	2	0	2	7	
	男性計	65	57	6	2	10	21	
女	40～49歳	9	5	1	3	2	2	
	50～59歳	6	5	0	1	1	1	
	60～64歳	4	4	0	0	1	0	
	65～69歳	3	2	1	0	2	0	
	70～74歳	6	4	2	0	0	4	
	75歳以上	21	20	1	0	0	3	
	女性計	49	40	5	4	6	10	
男女計	114	97	11	6	16	31		

※結果判定処理をしたものに限る

4) 国保外 特定健康診査

国保外特定健診 年齢階層別受診状況

性別	年齢区分	受診者数	異常を認めず	要観察 a	要観察 b	要医療	有所見率 (%)	詳細項目		
								貧血受診者数	心電図受診者数	眼底受診者数
男	40～44歳	4	0	0	1	3	100.0	1	2	2
	45～49歳	3	1	0	0	2	66.7	0	0	0
	50～54歳	1	0	0	0	1	100.0	0	1	1
	55～59歳	5	0	0	2	3	100.0	0	2	2
	60～64歳	12	0	1	5	6	100.0	0	3	2
	65～69歳	12	0	0	4	8	100.0	2	5	4
	70歳以上	19	0	3	7	9	100.0	1	10	8
男性計		56	1	4	19	32	98.2	4	23	19
女	40～44歳	240	69	16	96	59	71.3	75	19	17
	45～49歳	219	50	17	84	68	77.2	66	23	22
	50～54歳	200	29	10	75	86	85.5	61	42	38
	55～59歳	192	8	17	66	101	95.8	51	46	35
	60～64歳	191	10	10	68	103	94.8	38	61	48
	65～69歳	199	3	14	85	97	98.5	35	53	43
	70歳以上	165	9	10	69	77	94.5	29	66	50
女性計		1,406	178	94	543	591	87.3	355	310	253
男女計		1,462	179	98	562	623	87.8	359	333	272

※結果判定処理をしたものに限る

国保外特定健診 年齢階層別保健指導区分等の状況

性別	年齢区分	受診者数	保健指導区分別実人員				内臓脂肪症候群	
			保健指導 非対象者	保健指導対象者		予備軍	該当者	
				動機付け支援	積極的支援			
男	40～49歳	7	3	3	1	2	2	
	50～59歳	6	4	2	0	2	2	
	60～64歳	12	6	1	5	5	3	
	65～69歳	12	9	3	0	3	5	
	70～74歳	17	16	1	0	3	7	
	75歳以上	2	2	0	0	0	1	
	男性計	56	40	10	6	15	20	
女	40～49歳	459	419	30	10	20	6	
	50～59歳	392	351	24	17	24	26	
	60～64歳	191	167	11	13	16	24	
	65～69歳	199	184	15	0	9	28	
	70～74歳	149	134	15	0	11	18	
	75歳以上	16	14	2	0	0	5	
	女性計	1,406	1,269	97	40	80	107	
男女計	1,462	1,309	107	46	95	127		

※結果判定処理をしたものに限る

5) 若年者健診

若年者健診 年齢階層別受診状況

性別	年齢区分	受診者数	異常を認めず	要観察 a	要観察 b	要医療	有所見率 (%)	詳細項目		
								貧血受診者数	心電図受診者数	眼底受診者数
男	29歳以下	399	61	55	180	103	84.7	203	12	10
	30～34歳	260	43	26	96	95	83.5	153	13	12
	35～39歳	387	43	26	143	175	88.9	217	14	12
	男性計	1,046	147	107	419	373	85.9	573	39	34
女	29歳以下	572	152	60	273	87	73.4	372	1	1
	30～34歳	708	174	85	312	137	75.4	496	6	6
	35～39歳	1,227	299	102	561	265	75.6	887	23	17
	女性計	2,507	625	247	1,146	489	75.1	1,755	30	24
	男女計	3,553	772	354	1,565	862	78.3	2,328	69	58

※結果判定処理をしたものに限る

■ 職 域

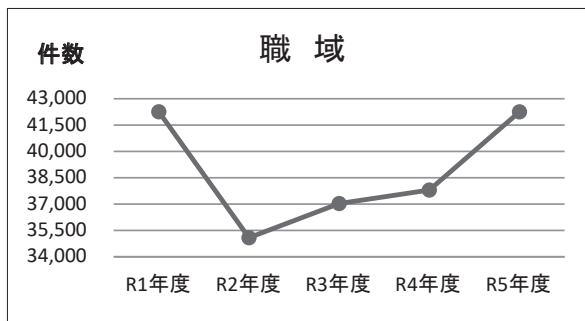
1) 一般健康診断

=実施状況=

受診数の年次推移

(件)

区 分	R 1 年度	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度
職 域	42,258	35,084	37,031	37,799	42,254



2) 特殊健康診断

労働安全衛生法に基づく特殊健康診断実施数

1	じん肺	136名	2	鉛	0名	3	有機溶剤	1,243名	4	特定化学物質	4,496名
5	電離放射線	830名	6	高気圧	0名	7	石綿	0名			
										法規によるものの小計	9,173名

1	有害光線	113名	2	騒音業務	809名	3	振動業務	103名	4	頸肩腕障害	0名
5	腰痛	966名	6	情報機器	477名						
										指導勧奨によるものの小計	2,468名

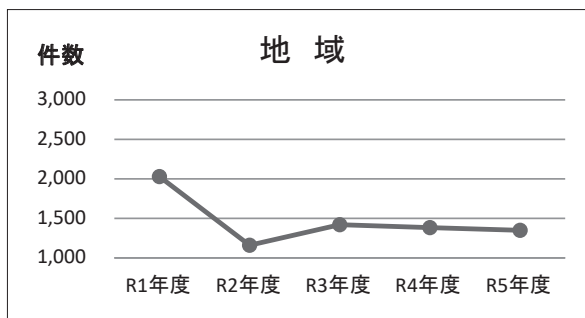
■ その他

A B C 検査

受診数の年次推移

(件)

区 分	R 1 年度	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度
地 域	2,029	1,160	1,420	1,383	1,349



(3) 胃がん検診

= 検診方法 =

1) 検診項目

- ・ 問診
- ・ 胃部エックス線検査（日本消化器がん検診学会 8枚撮影法）デジタル撮影
- ・ 撮影体位
 - a. 背臥位二重造影正面
 - b. 背臥位二重造影第一斜位
 - c. 腹臥位二重造影（下部）
 - d. 腹臥位二重造影位（上部）
 - e. 背臥位二重造影第二斜位
 - f. 右側臥位二重造影
 - g. 背臥位二重造影第二斜位（振分け）
 - h. 立位第一斜位

2) 判定方法

胃画像読影医による二重読影（ダブルチェック方式）その結果に基づいて比較読影を行う。

3) 判定区分

異常なし・・・所見なし

有 所 見・・・所見はみられるが精密検査は不要

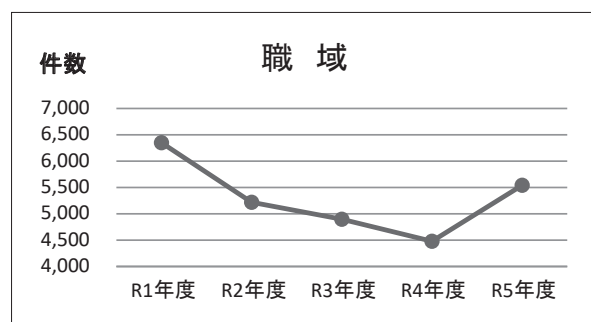
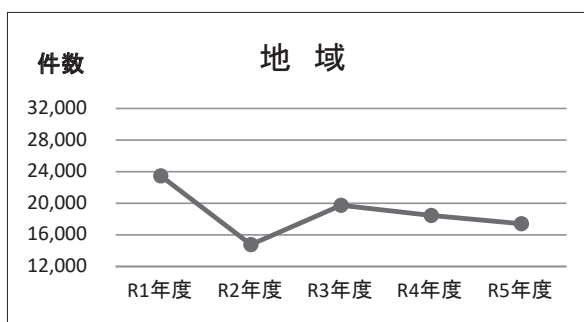
要 精 検・・・疑わしい所見がみられるため精密検査の必要がある

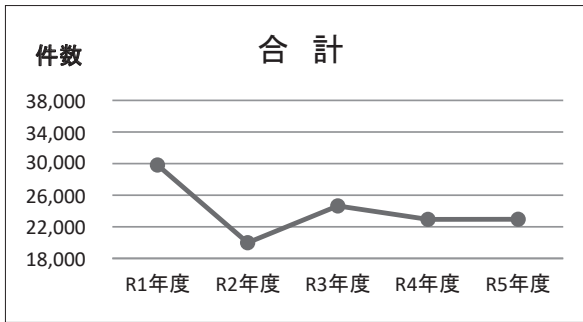
= 実施状況 =

受診数の年次推移

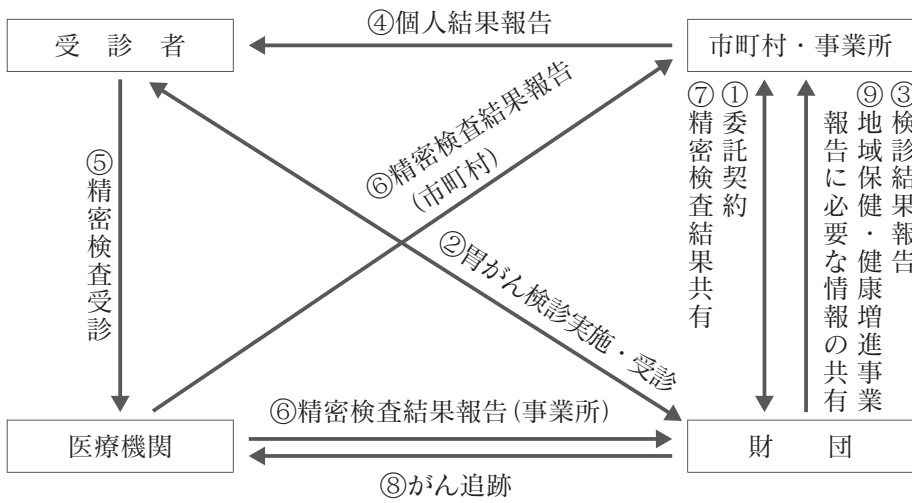
(件)

区 分	R 1年度	R 2年度	R 3年度	R 4年度	R 5年度
地 域	23,472	14,768	19,746	18,460	17,412
職 域	6,350	5,219	4,897	4,479	5,542
合 計	29,822	19,987	24,643	22,939	22,954





= 検診スキーム =



R5年度 胃がん検診 (R7.3.31現在)

<胃X線検査>

1. 年齢階層別結果状況(地域)

区分	受診者	要精検者(%)	異常なし	がん[早期]	がん疑い	胃がん以外の疾患	未受診者	未把握者
男	～39歳	1	0 (0.0)	-	- [-]	-	-	-
	40～44歳	418	18 (4.3)	2	0 [-]	0	12	2
	45～49歳	482	20 (4.1)	0	0 [-]	0	13	4
	50～54歳	519	18 (3.5)	3	0 [-]	0	12	0
	55～59歳	507	23 (4.5)	3	0 [-]	0	16	2
	60～64歳	689	39 (5.7)	5	0 [-]	0	26	1
	65～69歳	1,402	107 (7.6)	15	3 [2]	0	76	8
	70～74歳	1,841	154 (8.4)	14	5 [3]	0	117	7
	75～79歳	1,558	140 (9.0)	19	3 [2]	0	106	2
	80歳以上	1,041	102 (9.8)	10	3 [1]	0	77	2
計	8,458	621 (7.3)	71	14 [8]	0	455	27	

区分	受診者	要精検者(%)	異常なし	がん[早期]	がん疑い	胃がん以外の疾患	未受診者	未把握者
女	～39歳	0	- (-)	-	- [-]	-	-	-
	40～44歳	843	31 (3.7)	5	0 [-]	0	22	2
	45～49歳	885	13 (1.5)	2	0 [-]	0	10	0
	50～54歳	861	33 (3.8)	6	0 [-]	0	23	3
	55～59歳	815	17 (2.1)	4	0 [-]	0	12	1
	60～64歳	979	31 (3.2)	5	0 [-]	0	24	1
	65～69歳	1,291	55 (4.3)	12	1 [1]	0	39	1
	70～74歳	1,620	78 (4.8)	13	0 [-]	0	60	0
	75～79歳	1,132	65 (5.7)	14	0 [-]	0	50	1
	80歳以上	568	44 (7.7)	6	0 [-]	0	33	1
計	8,994	367 (4.1)	67	1 [1]	0	273	10	

男女計	17,452	988 (5.7)	138	15 [9]	0	728	37	70
-----	--------	-------------	-----	----------	---	-----	----	----

2. 年齢階層別結果状況(職域)

区分	受診者数	要精検者数(%)	区分	受診者数	要精検者数(%)		
男	～39歳	73	2 (2.7)	女	～39歳	40	2 (5.0)
	40～44歳	294	14 (4.8)		40～44歳	94	2 (2.1)
	45～49歳	372	15 (4.0)		45～49歳	99	2 (2.0)
	50～54歳	319	18 (5.6)		50～54歳	75	3 (4.0)
	55～59歳	171	13 (7.6)		55～59歳	55	0 (0.0)
	60～64歳	120	6 (5.0)		60～64歳	58	2 (3.4)
	65～69歳	63	7 (11.1)		65～69歳	40	5 (12.5)
	70～74歳	61	8 (13.1)		70～74歳	35	1 (2.9)
	75～79歳	18	2 (11.1)		75～79歳	8	1 (12.5)
	80歳以上	14	2 (14.3)		80歳以上	13	0 (0.0)
計	1,505	87 (5.8)	計	517	18 (3.5)		

男女計	2,022	105 (5.2)
-----	-------	-------------

(4) 子宮頸がん検診

= 検診方法 =

1) 検診項目

- ・ 問診
- ・ 医師による視診・内診および子宮頸部の細胞採取（液状検体法）

2) 判定方法

細胞診の判定は、日本臨床細胞学会の細胞検査士がスクリーニングした後、ベセスダシステムによって分類し細胞診指導医が診断を行う。

3) 細胞診断結果

ベセスダシステム2014 子宮頸部細胞診報告様式

結果	略語	推定される病理診断
陰性	NILM	非腫瘍性所見，炎症，感染症
意義不明な異型扁平上皮細胞	ASC-US	軽度扁平上皮内病変疑い
軽度異型扁平上皮内病変	LSIL	HPV 感染 CIN 1（軽度異形成）
HSIL を除外できない異型扁平上皮細胞	ASC-H	高度扁平上皮内病変疑い
高度異型扁平上皮内病変	HSIL ^(注1)	CIN 2（中等度異形成） CIN 3（高度異形成，上皮内癌）
扁平上皮癌	SCC	扁平上皮癌
異型腺細胞	AGC ^(注2)	上皮内腺癌または腺癌疑い
上皮内腺癌	AIS	上皮内腺癌
腺癌	Adenoca	腺癌
その他の悪性腫瘍	Other malig	その他の悪性腫瘍

(注1) HSIL を考え、しかも浸潤が疑われる場合にはサブカテゴリーの「浸潤を疑う所見を有する HSIL」と表記する。

(注2) AGC のサブカテゴリーとしてベセスダシステムでは「AGC-endocervical」「AGC-endometrial」のサブカテゴリーの追記が推奨される。「AGC-endometrial」以外の AGC では「AGC-NOS」および「AGC-FN」の区別も併せて推奨される。

1. AGC-endocervical

- ① AGC-NOS (Non Otherwise Specified)
- ② AGC-FN (Favor Neoplastic)

鑑別を要する組織型：AIS, Endocervical adenocarcinoma(usual type),
Mucinous carcinoma, Clear cell carcinoma 等

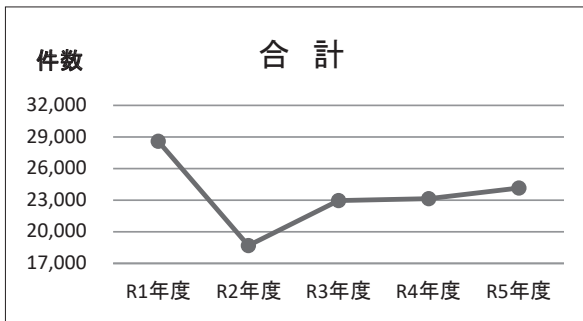
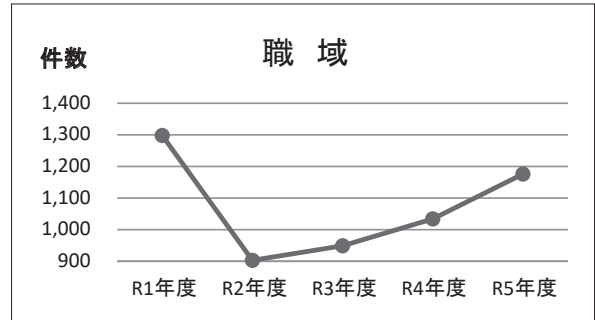
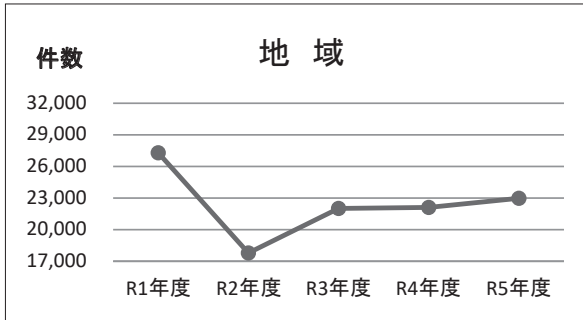
2. AGC-endometrial

＝実施状況＝

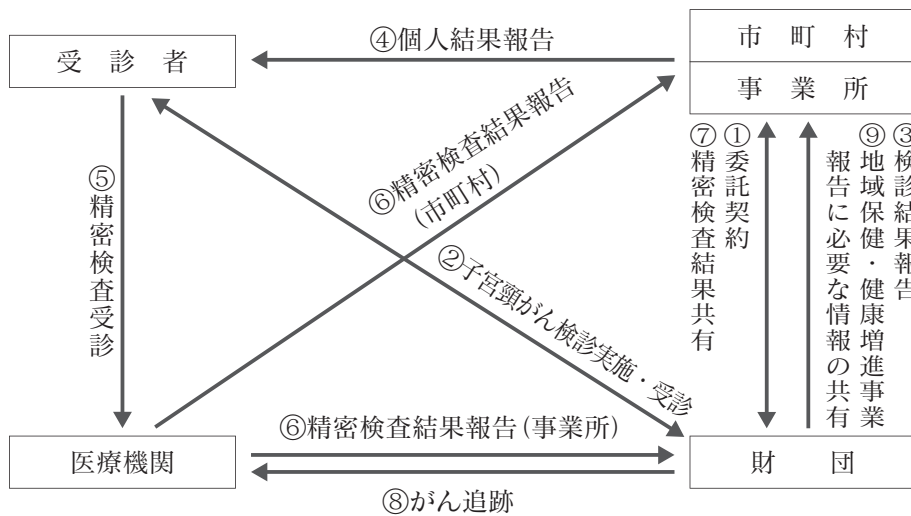
受診数の年次推移

(件)

区分	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
地域	27,297	17,786	22,015	22,111	22,979
職域	1,298	903	949	1,034	1,176
合計	28,595	18,692	22,964	23,145	24,155



＝検診スキーム＝



R5年度 子宮頸がん検診 (R7.3.31現在)

1. 年齢階層別結果状況(地域)

区分	受診者	要精検者(%)	異常なし	子宮頸がん[早期]	がんの疑い または未確定	CIN3	CIN2	CIN1	子宮頸がん 以外のがん (子宮体がん)	未受診	未把握
～19歳	0	- (-)	-	- [-]	-	-	-	-	-	-	-
20～24歳	302	21 (6.95)	5	0 [-]	1	0	2	9	0	1	0
25～29歳	642	22 (3.43)	4	0 [-]	0	0	2	12	0	1	1
30～34歳	919	22 (2.39)	1	0 [-]	5	1	2	6	0	1	1
35～39歳	1,286	25 (1.94)	4	0 [-]	4	4	5	3	0	0	2
40～44歳	1,873	30 (1.6)	4	1 [1]	3	3	5	7	0	0	3
45～49歳	1,994	30 (1.5)	5	0 [-]	5	1	2	10	0	1	2
50～54歳	2,257	30 (1.33)	9	1 [0]	3	2	5	6	2	1	0
55～59歳	2,183	13 (0.6)	1	0 [-]	2	2	1	5	0	0	1
60～64歳	2,293	12 (0.52)	3	0 [-]	3	1	1	0	0	0	3
65～69歳	2,887	11 (0.38)	3	0 [-]	1	2	1	1	0	0	0
70～74歳	3,341	6 (0.18)	1	0 [-]	2	1	0	1	0	0	0
75～79歳	2,119	5 (0.24)	3	0 [-]	0	0	0	1	0	0	0
80歳以上	881	2 (0.23)	1	0 [-]	1	0	0	0	0	0	0
計	22,977	229 (1)	44	2 [1]	30	17	26	61	2	5	13

2. 要精検者細胞診断内訳(地域)

区分	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	SCC	AGC	AIS	Adenocarcinoma	Other malign	計(%)
人数(%)	106 (46.3)	23 (10.0)	60 (26.2)	30 (13.1)	2 (0.9)	8 (3.5)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	229 (100.0)

3. 年齢階層別結果状況(職域)

区分	受診者	要精検者(%)
～19歳	0	- (-)
20～24歳	62	3 (4.84)
25～29歳	104	5 (4.81)
30～34歳	122	5 (4.1)
35～39歳	146	4 (2.74)
40～44歳	138	0 (0)
45～49歳	131	2 (1.53)
50～54歳	139	1 (0.72)
55～59歳	105	0 (0)
60～64歳	80	1 (1.25)
65～69歳	47	0 (0)
70～74歳	63	0 (0)
75～79歳	30	0 (0)
80歳以上	9	0 (0)
計	1,176	21 (1.79)

(5) 肺がん検診

= 検診方法 =

1) 検診項目

- ・ 質問
- ・ 胸部エックス線デジタル読影
- ・ 喀痰細胞診（喀痰細胞診は、質問により喫煙指数 600 以上の者）

2) 判定方法

専門の医師2名で二重読影を行い、その結果に基づいて比較読影を行う。

3) 判定区分

- 異常なし・・・所見なし
- 有所見・・・所見はみられるが精密検査は不要
- 要精検・・・疑わしい所見がみられるため精密検査の必要がある

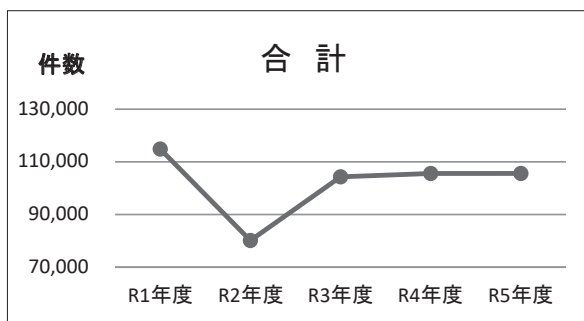
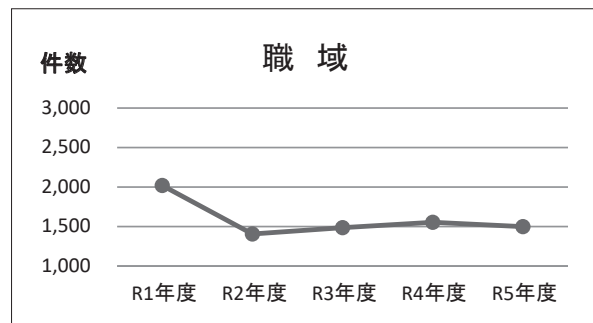
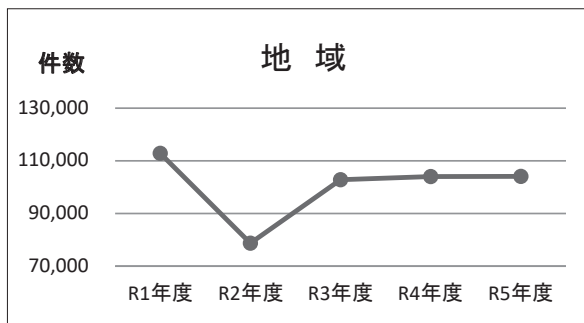
= 実施状況 =

受診数の年次推移

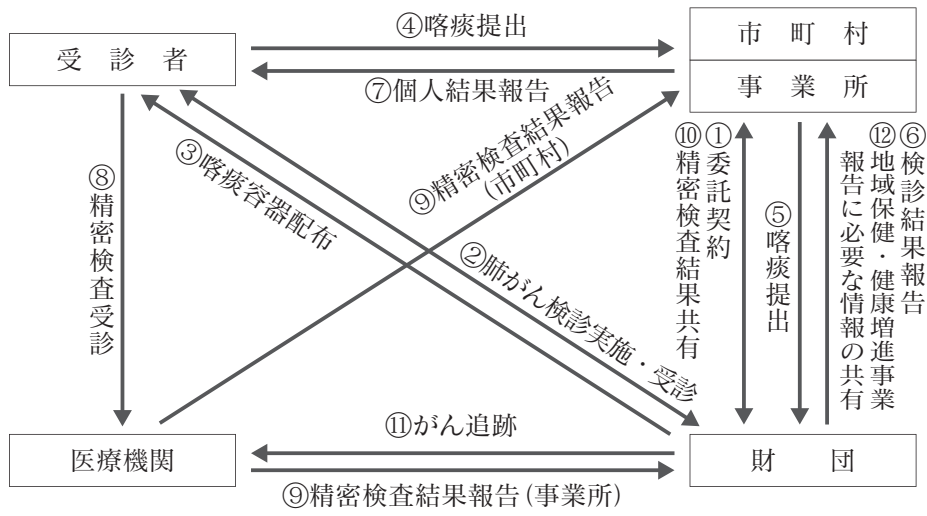
(件)

区分	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
地域	112,854	78,730	102,828	104,031	104,095
職域	2,020	1,406	1,486	1,554	1,499
合計	114,874	80,136	104,314	105,585	105,594

※結核検診（含）



= 検診スキーム =



R5年度 肺がん検診 (R7.3.31現在)

<胸部X線検査・喀痰細胞診> ※ 要精検者 肺がん検診における胸部X線検査の判定基準:E(Dは除外)
肺がん検診における喀痰細胞診の判定基準 :D、E

1. 年齢階層別結果状況(地域)

区分	受診者		要精検者 [※] (%)		異常なし		がん[早期]		がん疑い		肺がん以外の疾患		未受診者		未把握者		
	X線	喀痰	X線	喀痰	X線	喀痰	X線	喀痰	X線	喀痰	X線	喀痰	X線	喀痰	X線	喀痰	
男	～39歳	1	0	0 (0.0)	- (-)	-	-	- [-]	- [-]	-	-	-	-	-	-	-	-
	40～44歳	910	0	4 (0.4)	- (-)	3	-	0 [-]	- [-]	0	-	0	-	0	-	1	-
	45～49歳	1,162	0	5 (0.4)	- (-)	1	-	1 [0]	- [-]	1	-	2	-	0	-	0	-
	50～54歳	1,462	41	10 (0.7)	0 (0.0)	5	-	0 [-]	- [-]	1	-	3	-	0	-	1	-
	55～59歳	1,455	52	2 (0.1)	0 (0.0)	1	-	0 [-]	- [-]	0	-	1	-	0	-	0	-
	60～64歳	2,253	117	14 (0.6)	0 (0.0)	4	-	2 [1]	- [-]	0	-	7	-	0	-	1	-
	65～69歳	5,501	245	48 (0.9)	0 (0.0)	17	-	4 [2]	- [-]	2	-	19	-	0	-	6	-
	70～74歳	9,451	454	104 (1.1)	3 (0.7)	40	0	10 [4]	2 [2]	1	0	45	0	0	0	8	1
	75～79歳	9,571	426	102 (1.1)	0 (0.0)	38	-	9 [4]	- [-]	2	-	44	-	3	-	6	-
	80歳以上	10,327	272	151 (1.5)	0 (0.0)	46	-	15 [5]	- [-]	5	-	73	-	3	-	9	-
	計	42,093	1,607	440 (1.0)	3 (0.2)	155	0	41 [16]	2 [2]	12	0	194	0	6	0	32	1

区分	受診者		要精検者 [※] (%)		異常なし		がん[早期]		がん疑い		肺がん以外の疾患		未受診者		未把握者		
	X線	喀痰	X線	喀痰	X線	喀痰	X線	喀痰	X線	喀痰	X線	喀痰	X線	喀痰	X線	喀痰	
女	～39歳	1	0	0 (0.0)	- (-)	-	-	- [-]	- [-]	-	-	-	-	-	-	-	
	40～44歳	1,798	0	5 (0.3)	- (-)	1	-	0 [-]	- [-]	0	-	2	-	0	-	2	-
	45～49歳	2,158	0	6 (0.3)	- (-)	3	-	0 [-]	- [-]	0	-	3	-	0	-	0	-
	50～54歳	2,657	9	11 (0.4)	0 (0.0)	4	-	0 [-]	- [-]	0	-	6	-	0	-	1	-
	55～59歳	3,084	17	12 (0.4)	0 (0.0)	1	-	1 [0]	- [-]	0	-	9	-	1	-	0	-
	60～64歳	4,650	27	18 (0.4)	0 (0.0)	7	-	1 [1]	- [-]	0	-	8	-	0	-	2	-
	65～69歳	8,641	24	59 (0.7)	0 (0.0)	14	-	5 [4]	- [-]	0	-	35	-	0	-	5	-
	70～74歳	13,928	31	113 (0.8)	0 (0.0)	44	-	4 [4]	- [-]	2	-	55	-	0	-	8	-
	75～79歳	12,756	30	104 (0.8)	0 (0.0)	39	-	6 [4]	- [-]	3	-	53	-	0	-	3	-
	80歳以上	12,328	12	155 (1.3)	0 (0.0)	67	-	5 [3]	- [-]	5	-	63	-	4	-	11	-
	計	62,001	150	483 (0.8)	0 (0.0)	180	0	22 [16]	0 [-]	10	0	234	0	5	0	32	0

男女計	104,094	1,757	923 (0.9)	3 (0.2)	335	0	63 [32]	2 [2]	22	0	428	0	11	0	64	1
-----	---------	-------	-------------	-----------	-----	---	-----------	---------	----	---	-----	---	----	---	----	---

2. 年齢階層別結果状況(職域)

区分	受診者	要精検者 [※] (%)	区分	受診者	要精検者 [※] (%)		
男	～39歳	54	0 (0.0)	女	～39歳	53	0 (0.0)
	40～44歳	18	0 (0.0)		40～44歳	12	0 (0.0)
	45～49歳	10	0 (0.0)		45～49歳	7	0 (0.0)
	50～54歳	17	0 (0.0)		50～54歳	3	0 (0.0)
	55～59歳	9	0 (0.0)		55～59歳	5	0 (0.0)
	60～64歳	14	0 (0.0)		60～64歳	8	0 (0.0)
	65～69歳	11	0 (0.0)		65～69歳	4	0 (0.0)
	70～74歳	9	0 (0.0)		70～74歳	10	0 (0.0)
	75～79歳	5	0 (0.0)		75～79歳	4	0 (0.0)
	80歳以上	1	0 (0.0)		80歳以上	0	- (-)
	計	148	0 (0.0)		計	106	0 (0.0)
男女計	254	0 (0.0)					

(6) 乳がん検診

＝検診方法＝

1) 検診項目

- ・問診＋マンモグラフィデジタル撮影
- ・問診＋視触診＋マンモグラフィデジタル撮影
- ・問診＋マンモグラフィデジタル撮影＋超音波

マンモグラフィは40歳代二方向（内外斜位方向 MLO＋頭尾方向 CC）/50歳以上一方向（内外斜位方向 MLO）を左右一枚ずつ撮影を行う。

2) 判定方法

マンモグラフィ、視触診＋マンモグラフィ

- ・・・乳がん検診マンモグラフィ読影認定医師による二重読影（ダブルチェック）
その結果に基づいて比較読影を行う

マンモグラフィ＋超音波

- ・・・乳がん検診総合判定医による二重読影（ダブルチェック）
その結果に基づいて比較読影を行う

3) 判定区分

異常なし・・・所見なし

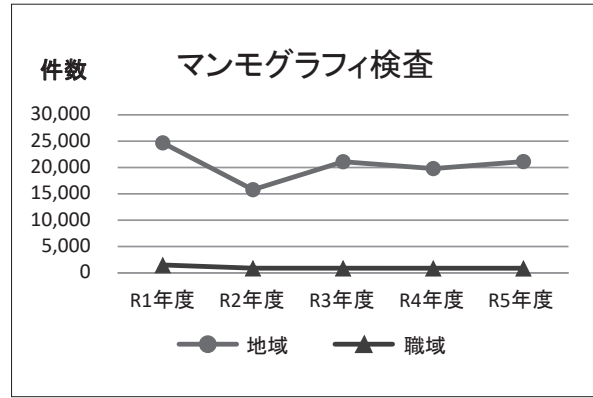
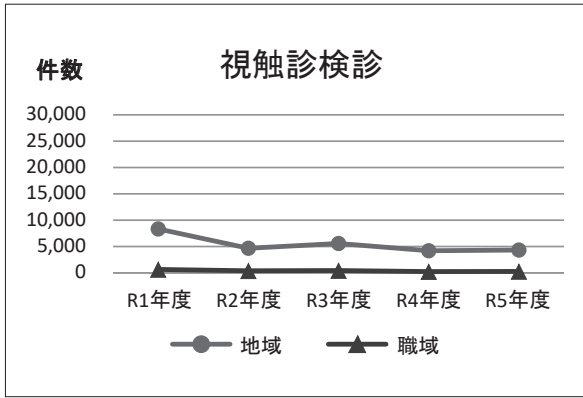
要精検・・・疑わしい所見が見られるため精密検査の必要がある

＝実施状況＝

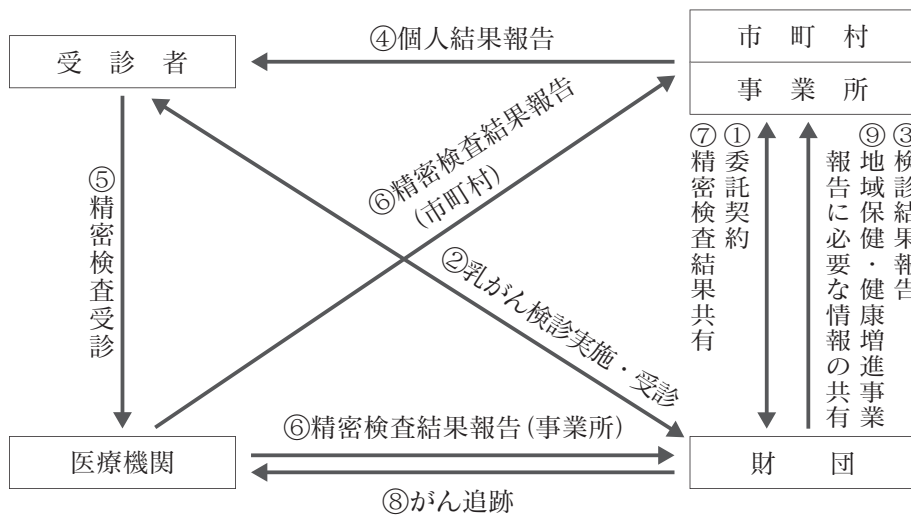
受診数の年次推移

(件)

区 分		R 1 年度	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度
視触診検診	地 域	8,337	4,670	5,577	4,197	4,331
	職 域	648	394	440	242	269
	合 計	8,985	5,064	6,017	4,439	4,600
マンモグラフィ検査	地 域	24,678	15,790	21,101	19,798	21,128
	職 域	1,494	887	884	881	877
	合 計	26,165	16,677	21,985	20,679	22,005
超音波検査		1,532	631	1,576	1,404	1,383



= 検診スキーム =



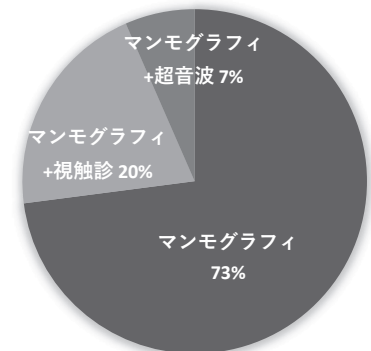
R5年度 乳がん検診 (R7.3.31現在)

検査方法別受診者割合 (地域)

1. 検査実施状況(地域)

※1:視触診のみでの受診者は集計から除外
 ※2:マンモグラフィ+超音波の判定は総合判定

区分	受診者 ^{※1}	要精検者(%) ^{※2}	精検受診者(%)
マンモグラフィ	15,415	561 (3.6)	549 (97.9)
マンモグラフィ+視触診	4,329	175 (4.0)	170 (97.1)
マンモグラフィ+超音波	1,383	46 (3.3)	43 (93.5)
計	21,127	782 (3.7)	762 (97.4)



2. 年齢階層別結果状況(地域)

区分	受診者 ^{※1}	要精検者(%) ^{※2}	異常なし	がん[早期]	がん疑い	乳がん以外の疾患	未受診者	未把握者
総 数	～39歳	0	- (-)	-	- [-]	-	-	-
	40～44歳	2,267	120 (5.3)	28	7 [7]	0	80	1 4
	45～49歳	2,456	124 (5.0)	28	12 [5]	0	78	1 5
	50～54歳	2,557	112 (4.4)	37	4 [4]	0	70	0 1
	55～59歳	2,387	85 (3.6)	32	4 [4]	0	47	0 2
	60～64歳	2,447	72 (2.9)	27	10 [8]	0	33	1 1
	65～69歳	2,792	73 (2.6)	31	12 [9]	0	29	1 0
	70～74歳	3,335	104 (3.1)	43	12 [10]	0	49	0 0
	75～79歳	1,984	71 (3.6)	33	10 [7]	0	26	2 0
	80歳以上	902	21 (2.3)	14	2 [1]	0	4	0 1
	計	21,127	782 (3.7)	273	73 [55]	0	416	6 14

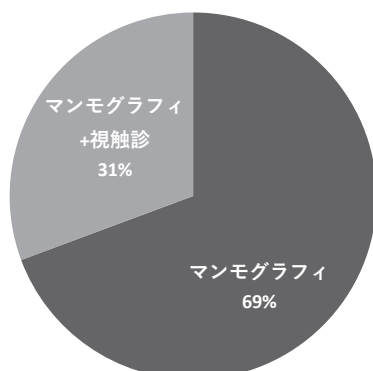
3. 実施状況(職域)

区分	受診者 ^{※1}	要精検者(%) ^{※2}
マンモグラフィ	608	23 (3.8)
マンモグラフィ+視触診	269	8 (3.0)
計	877	31 (3.5)

4. 年齢階層別結果状況(職域)

区分	受診者 ^{※1}	要精検者(%) ^{※2}
総 数	～39歳	183 6 (3.3)
	40～44歳	134 4 (3.0)
	45～49歳	100 3 (3.0)
	50～54歳	112 8 (7.1)
	55～59歳	83 3 (3.6)
	60～64歳	79 3 (3.8)
	65～69歳	59 2 (3.4)
	70～74歳	77 0 (0.0)
	75～79歳	37 0 (0.0)
	80歳以上	13 2 (15.4)
計	877 31 (3.5)	

検査方法別受診者割合 (職域)



(7) 大腸がん検診

=検診方法=

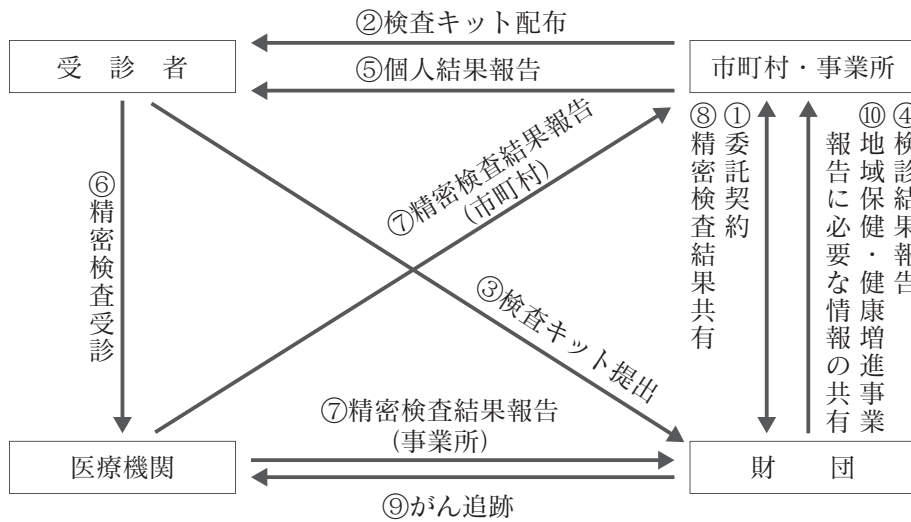
1) 検診項目

- ・問診
- ・検査（免疫便潜血検査・便採取は二日法）

2) 判定区分

- 異常なし・・・免疫学的便潜血反応検査において2日とも陰性
- 要精検・・・免疫学的便潜血反応検査において1日あるいは2日とも陽性

=検診スキーム=

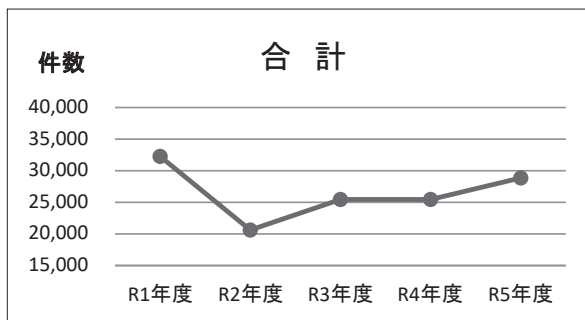
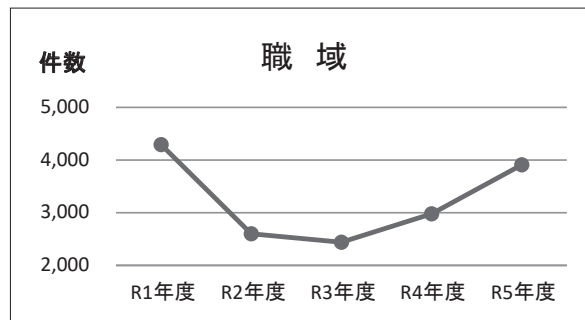
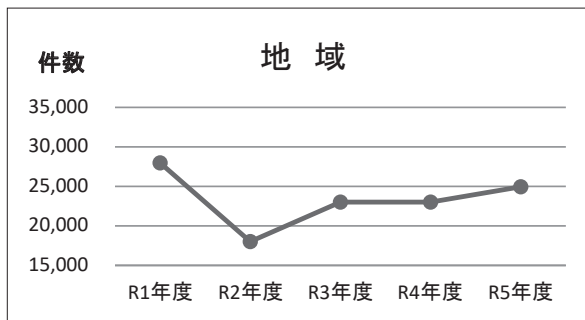


=実施状況=

受診数の年次推移

(件)

区分	R 1 年度	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度
地域	27,975	18,015	23,012	22,493	24,950
職域	4,293	2,600	2,440	2,979	3,910
合計	32,268	20,615	25,452	25,472	28,860



R5年度 大腸がん検診 (R7.3.31現在)

1. 年齢階層別結果状況(地域)

区分		受診者	要精検者(%)	異常なし	がん〔早期〕	がん疑い	大腸がん 以外の疾患	未受診者	未把握者
男	～39歳	1	0 (0.0)	-	- [-]	-	-	-	-
	40～44歳	400	16 (4.0)	3	0 [0]	1	6	0	6
	45～49歳	474	10 (2.1)	3	0 [0]	0	4	0	3
	50～54歳	608	23 (3.8)	5	0 [0]	0	14	1	3
	55～59歳	606	30 (5.0)	7	2 [1]	0	13	1	7
	60～64歳	770	31 (4.0)	8	1 [1]	0	17	1	4
	65～69歳	1,633	65 (4.0)	7	5 [2]	0	42	2	9
	70～74歳	2,269	130 (5.7)	15	4 [2]	0	84	8	19
	75～79歳	2,052	124 (6.0)	11	4 [2]	0	91	5	13
	80歳以上	1,830	126 (6.9)	7	10 [6]	0	86	5	18
計	10,643	555 (5.2)	66	26 [14]	1	357	23	82	

区分		受診者	要精検者(%)	異常なし	がん〔早期〕	がん疑い	大腸がん 以外の疾患	未受診者	未把握者
女	～39歳	0	- (-)	-	- [-]	-	-	-	-
	40～44歳	900	30 (3.3)	11	0 [0]	0	12	2	5
	45～49歳	1,021	31 (3.0)	12	1 [1]	0	7	1	10
	50～54歳	1,144	29 (2.5)	12	2 [1]	0	11	0	4
	55～59歳	1,186	31 (2.6)	12	2 [0]	0	10	1	6
	60～64歳	1,421	52 (3.7)	17	2 [2]	0	24	1	8
	65～69歳	2,140	44 (2.1)	10	1 [0]	0	27	2	4
	70～74歳	2,832	91 (3.2)	20	11 [3]	0	46	5	9
	75～79歳	2,117	75 (3.5)	12	2 [0]	0	50	3	8
	80歳以上	1,650	95 (5.8)	17	4 [3]	0	51	9	14
計	14,411	478 (3.3)	123	25 [10]	0	238	24	68	

男女計	25,054	1,033 (4.1)	189	51 [24]	1	595	47	150
-----	--------	---------------	-----	-----------	---	-----	----	-----

2. 年齢階層別結果状況(職域)

区分		受診者	要精検者(%)	区分		受診者	要精検者(%)
男	～39歳	23	0 (0.0)	女	～39歳	31	0 (0.0)
	40～44歳	14	3 (21.4)		40～44歳	16	2 (12.5)
	45～49歳	9	0 (0.0)		45～49歳	21	0 (0.0)
	50～54歳	10	0 (0.0)		50～54歳	28	0 (0.0)
	55～59歳	14	0 (0.0)		55～59歳	19	3 (15.8)
	60～64歳	18	1 (5.6)		60～64歳	20	0 (0.0)
	65～69歳	21	1 (4.8)		65～69歳	12	1 (8.3)
	70～74歳	3	0 (0.0)		70～74歳	1	0 (0.0)
	75～79歳	4	0 (0.0)		75～79歳	1	0 (0.0)
	80歳以上	0	- (-)		80歳以上	0	- (-)
計	116	5 (4.3)	計	149	6 (4.0)		

男女計	265	11 (4.2)
-----	-----	------------

(8) 前立腺がん検診

=検診方法=

1) 検診項目

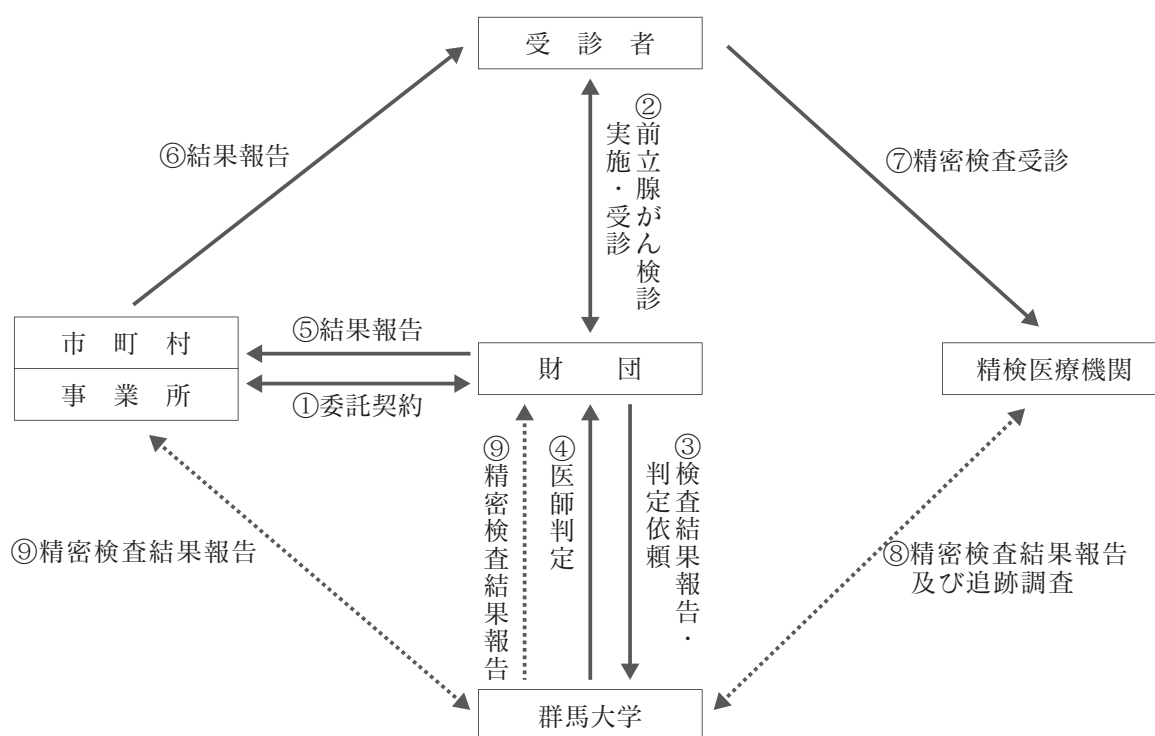
- ・問診
- ・前立腺特異抗原検査 (PSA 法)

2) 判定区分

- 異常なし・・・右表の基準値以下の場合
- 要 精 検・・・右表の基準値を超えた場合

年齢 (歳)	PSA 基準値 (ng/ml)
～49	2.09
50～64	3.09
65～69	3.59
70～	4.09

=検診スキーム=

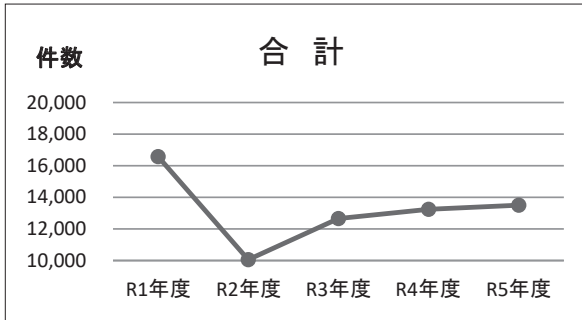
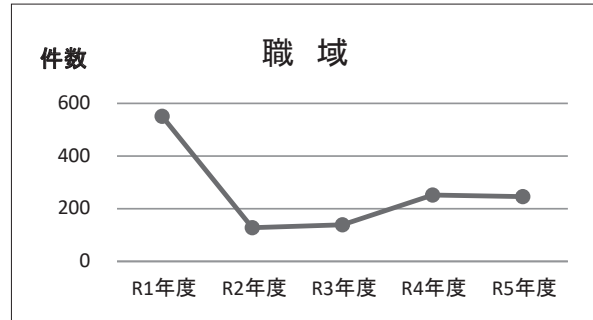
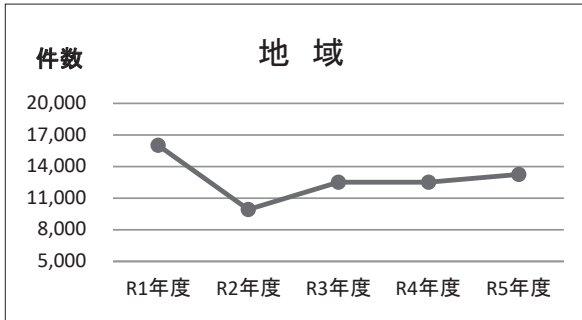


=実施状況=

受診数の年次推移

(件)

区分	R 1 年度	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度
地域	16,025	9,927	12,518	12,990	13,257
職域	551	128	139	252	246
合計	16,576	10,055	12,657	13,242	13,503



前立腺がん検診 年齢階層別集計表

(地域)

(件)

年齢	受診者数	異常なし	要精検
40～44歳	3	3	0
45～49歳	103	91	12
50～54歳	832	799	33
55～59歳	898	830	68
60～64歳	1,314	1,182	132
65～69歳	2,508	2,250	258
70～79歳	5,738	5,168	570
80歳以上	1,804	1,539	265
合計	13,200	11,862	1,338

※結果判定処理した件数（資料作成時に精査した件数）を掲載

(職域)

(件)

年齢	受診者数	異常なし	要精検
40～44歳	0	0	0
45～49歳	4	4	0
50～54歳	9	9	0
55～59歳	6	6	0
60～64歳	6	6	0
65～69歳	6	4	2
70～79歳	9	7	2
80歳以上	0	0	0
合計	40	36	4

※結果判定処理した件数（資料作成時に精査した件数）を掲載

(9) 骨密度検診

=検診方法=

1) 検診項目

- ・問診
- ・超音波パルス透過法

(アロカ(株)、AOS-100SAの装置を使用し、超音波パルス透過法にて右足踵骨部分を測定)

2) 判定方法

下記判定基準に基づき、医師による最終判定を行う。

3) 判定区分

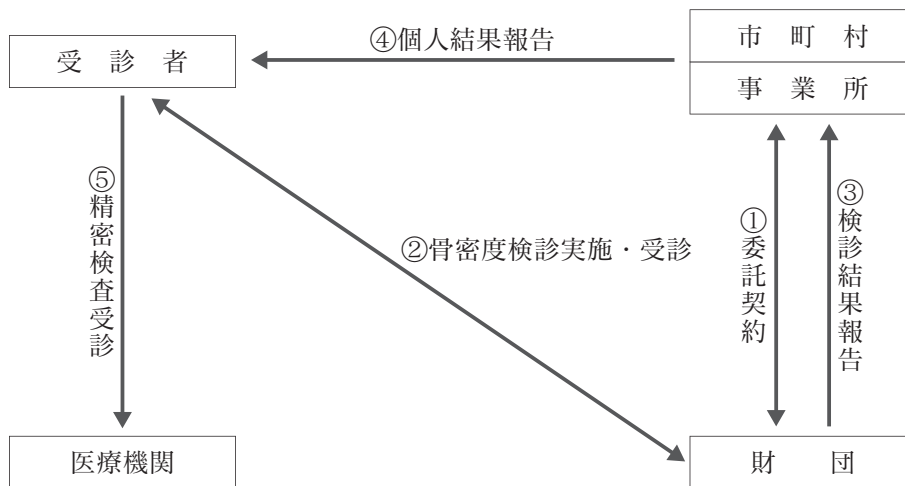
女性 ×10⁶

区 分	異常なし	要指導	要精検
18歳以上	2.428以上	2.158~2.427	2.157以下

男性 ×10⁶

区 分	異常なし	要指導	要精検
18歳以上	2.630以上	2.350~2.629	2.349以下

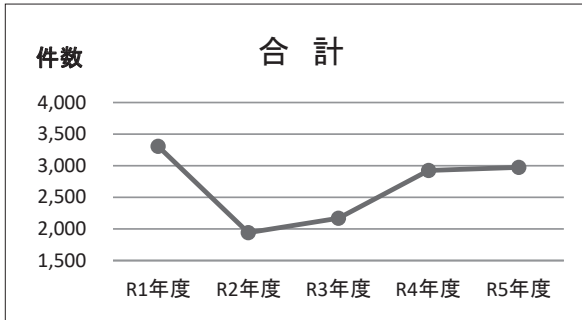
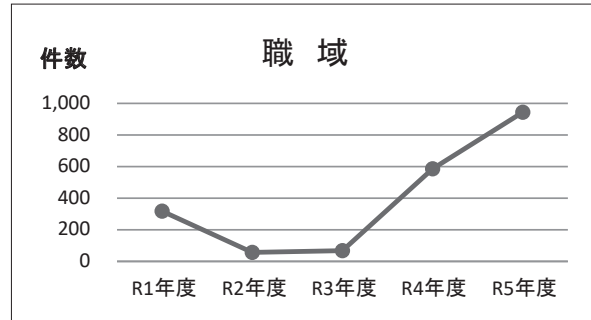
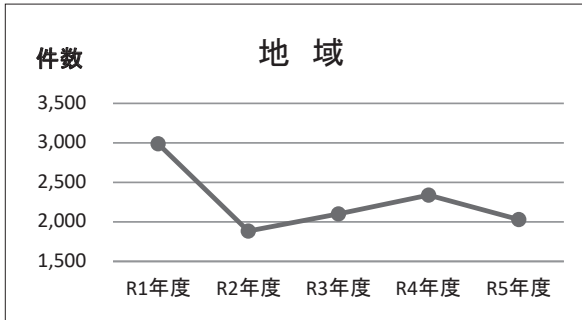
=検診システム=



=実施状況=

受診数の年次推移 (件)

区 分	R 1年度	R 2年度	R 3年度	R 4年度	R 5年度
地 域	2,989	1,884	2,101	2,339	2,030
職 域	318	57	68	586	944
合 計	3,307	1,941	2,169	2,925	2,974



骨密度検診年齢階層別（判定区分別）集計表
（地域）女性のみ

(件)

性別	年齢	受診人数	異常なし	要指導	要精検
女	20歳未満	0	0	0	0
	20～24歳	12	12	0	0
	25～29歳	7	5	2	0
	30～34歳	36	34	2	0
	35～39歳	37	30	7	0
	40～44歳	175	138	36	1
	45～49歳	147	109	36	2
	50～54歳	197	151	42	4
	55～59歳	217	113	77	27
	60～64歳	305	114	130	61
	65～69歳	352	100	170	82
	70～74歳	476	110	214	152
	75～79歳	30	5	13	12
80歳以上	39	5	10	24	
女性計		2,030	926	739	365

※結果判定処理した件数を掲載

(職域) 女性のみ

(件)

性別	年齢	受診人数	異常なし	要指導	要精検
女	20歳未満	0	0	0	0
	20～24歳	0	0	0	0
	25～29歳	79	76	3	0
	30～34歳	81	70	10	1
	35～39歳	79	68	11	0
	40～44歳	87	70	17	0
	45～49歳	121	104	17	0
	50～54歳	173	124	43	6
	55～59歳	235	144	69	22
	60～64歳	47	18	22	7
	65～69歳	34	8	17	9
	70～74歳	8	2	1	5
	75～79歳	0	0	0	0
	80歳以上	0	0	0	0
女性計		944	684	210	50

※結果判定処理した件数を掲載

(職域) 男性のみ

(件)

性別	年齢	受診人数	異常なし	要指導	要精検
男	20歳未満	0	0	0	0
	20～24歳	0	0	0	0
	25～29歳	0	0	0	0
	30～34歳	0	0	0	0
	35～39歳	0	0	0	0
	40～44歳	0	0	0	0
	45～49歳	0	0	0	0
	50～54歳	0	0	0	0
	55～59歳	0	0	0	0
	60～64歳	0	0	0	0
	65～69歳	0	0	0	0
	70～74歳	0	0	0	0
	75～79歳	0	0	0	0
	80歳以上	0	0	0	0
男性計		0	0	0	0

※結果判定処理した件数を掲載

(10) 歯周疾患検診

■ 歯周疾患検診

＝検診方法＝

1) 検診項目

- ・問診
- ・診察
- 現在歯の状況、喪失歯の状況
- 歯周組織の状況（C P I 検査）
- 口腔清掃状態、その他の所見
- ・ブラッシング指導

2) 判定方法

現在歯の状況、喪失歯の状況及び歯周組織の状況等に応じ総合的に判定

3) 判定区分

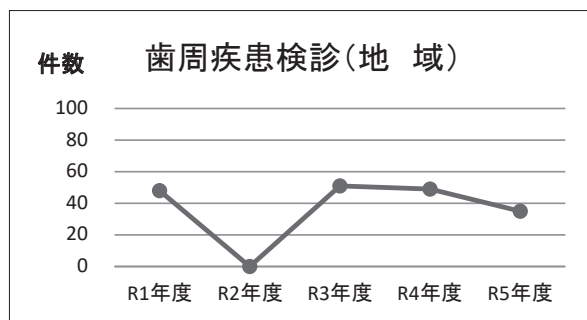
- 異常なし・・・所見がない
- 要 観 察・・・歯肉に軽度の炎症（出血）の所見があるもの
- 要 精 検・・・疑わしい所見がみられるため専門医の受診の必要があるもの

＝実施状況＝

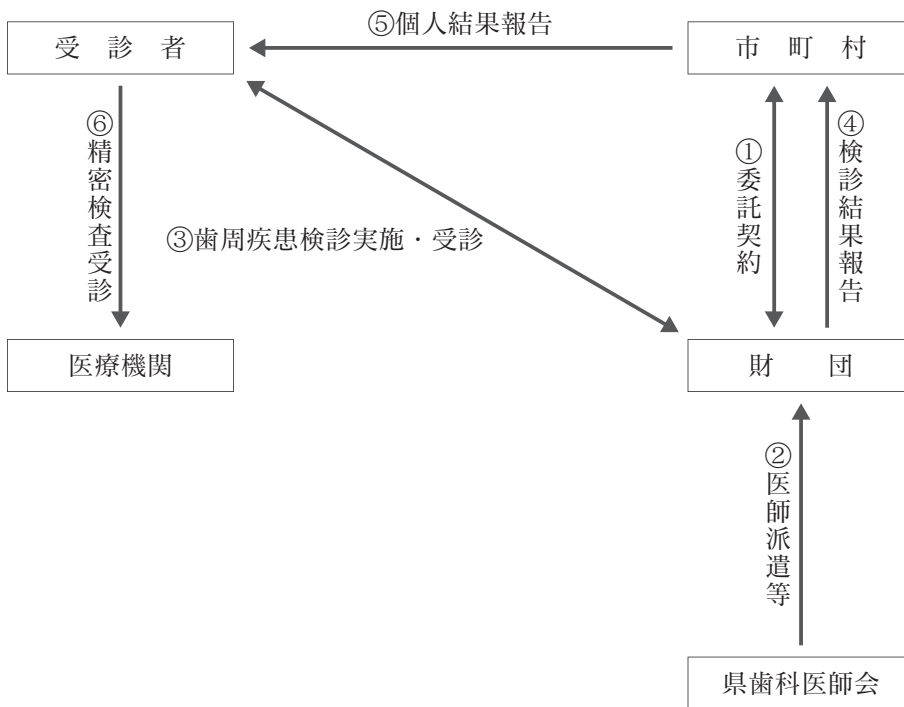
受診数の年次推移

(件)

区 分		R 1 年度	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度
歯周疾患検診	地 域	48	0	51	49	35



＝検診スキーム＝



■ 歯科検診

＝検診方法＝

1) 検診項目

・診察

2) 判定方法

歯科医師の診察による総合的な判定

3) 判定区分

現状維持・・・所見がない

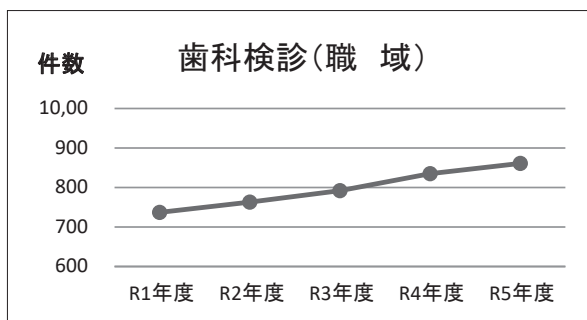
要治療・・・疑わしい所見がみられるため専門医の受診の必要があるもの

＝実施状況＝

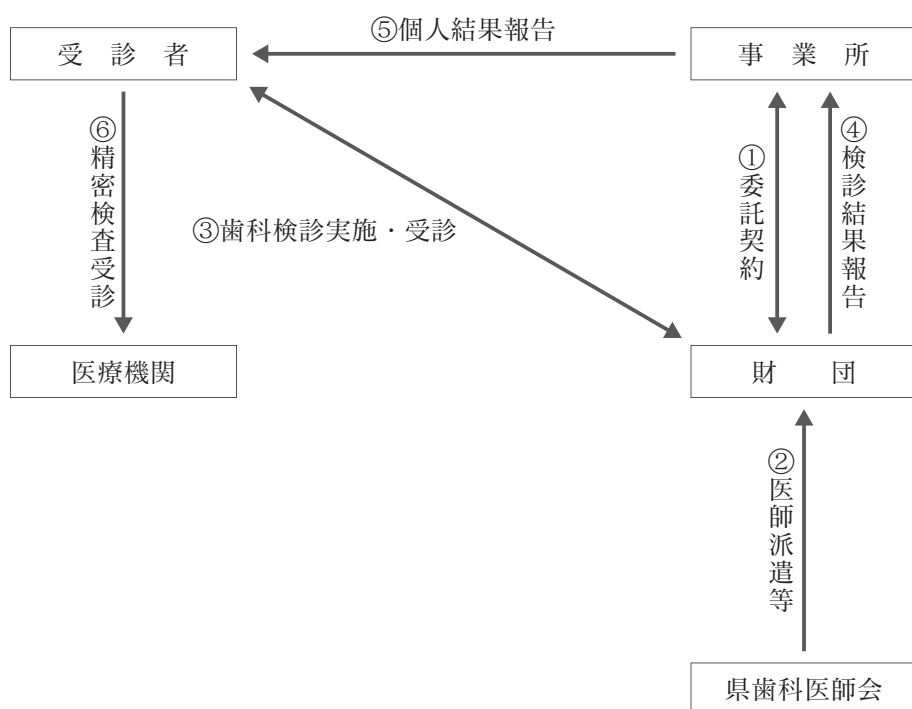
受診数の年次推移

(件)

区分		R 1年度	R 2年度	R 3年度	R 4年度	R 5年度
歯科検診	職域	737	763	792	835	861



= 検診スキーム =



■ 唾液検査による歯周病検診

= 検診方法 =

1) 検診項目

- ・ 問診
- ・ 行動
- ・ 生化学検査

唾液中のヘモグロビン (F-Hb) と乳酸脱水素酵素 (LDH) の判定

2) 判定方法

問診、ヘモグロビン、LDH による総合判定

3) 判定区分

異常なし・・・所見なし

要 指 導・・・初期の歯周病が始まっている可能性あり

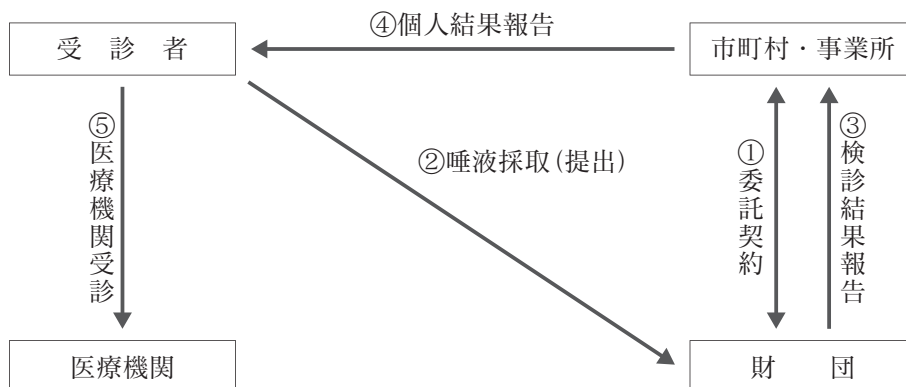
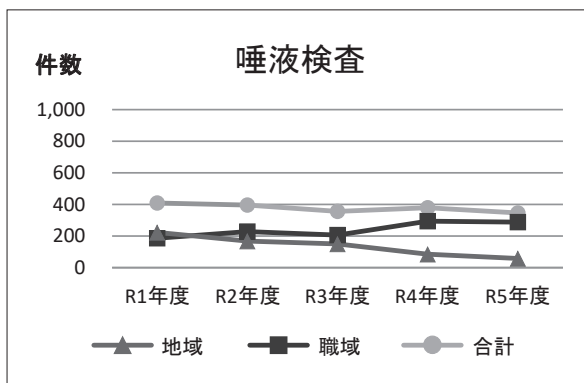
要 医 療・・・歯周病が進行しており、治療を要する可能性あり

＝実施状況＝

受診数の年次推移

(件)

区 分		R 1 年度	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度
唾液検査	地 域	223	168	150	85	58
	職 域	186	228	206	294	288
	合 計	409	396	356	379	346



(11) 心身の健康づくり事業

■ ストレスチェック

＝概要＝

労働者の心理的負荷の程度を把握するため、常時50人以上を使用する事業者には実施が義務づけられている。

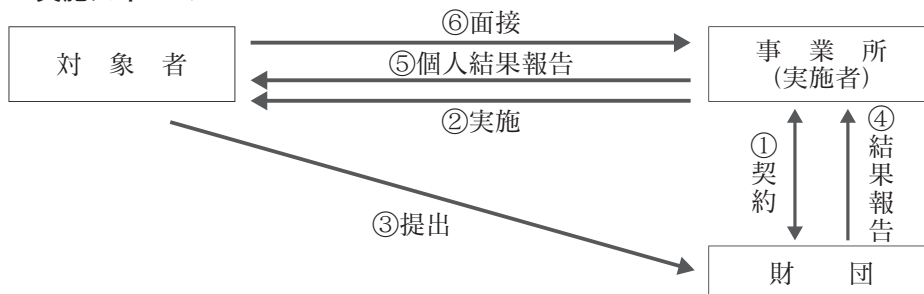
＝実施状況＝

受診数の年次推移

(件)

区 分	R 1年度	R 2年度	R 3年度	R 4年度	R 5年度
ストレスチェック	14,136	14,044	14,785	15,010	14,439

＝実施スキーム＝



■ 個別カウンセリング

＝概要＝

財団と委託契約を締結した事業所の従業員や一般県民（自己負担あり）などに対し個別カウンセリングを実施。

相談内容は、本人の問題のみならず、職場のこと、家族のこと等幅広く相談を受ける。

- ・ 相談日：月2回（第2・4金曜日）
- ・ 相談時間：60分 / 回（事前予約制・1日3枠）

＝実施状況＝

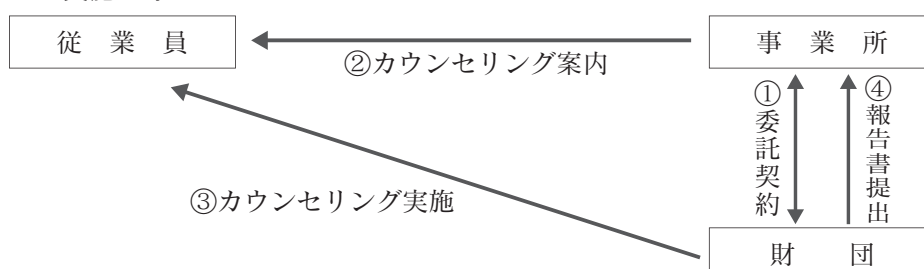
年次推移

(件)

区 分	R 1年度	R 2年度	R 3年度	R 4年度	R 5年度
個別カウンセリング	4	2	6	9	1

・ 契約事業所数：4事業所

＝実施スキーム＝



(12) 特定保健指導・一般保健指導

1) 特定保健指導

＝概要＝

メタボリックシンドロームは生活習慣病の大きな一因となっている。内臓脂肪を減らし、メタボリックシンドロームを予防・改善するために、一人ひとりのライフスタイルに合わせた生活習慣の改善を支援する。

①階層化後

＝概要＝

特定健診後日、特定健診の結果から生活習慣病の危険因子の数に応じて保健指導対象者の階層化を行い、特定保健指導を行う。

＝実施方法＝

- ・個別指導：事業所は遠隔面接を実施

＝実施状況＝

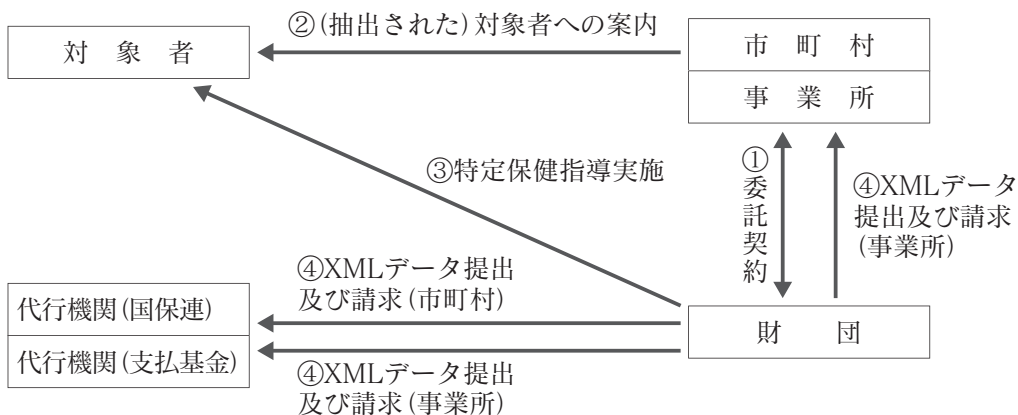
年次推移

(件)

区 分		R 1年度	R 2年度	R 3年度	R 4年度	R 5年度
地 域	動機付け支援	167	125	112	121	146
	積極的支援	27	29	34	35	29
職 域	動機付け支援	128	89	91	93	92
	積極的支援	168	117	114	94	81
合 計	動機付け支援	295	214	203	214	238
	積極的支援	195	146	148	129	110

・受託団体数：7市町村・6事業所

＝実施スキーム＝



②初回分割型

=概要=

平成30年度の第3期特定保健指導から、健診当日に全ての健診結果が揃わなくても、初回面接の分割実施ができるようになった。

=実施方法=

健診当日の腹囲またはBMI、血圧、服薬なし等の条件から特定保健指導の対象者と見込まれる者に個別支援を実施

=実施状況=

年次推移（地域）

(件)

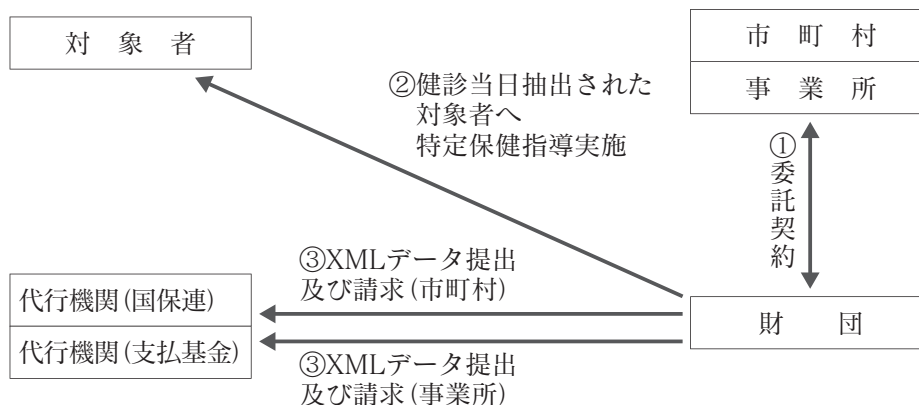
区 分		R 1 年度	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度
特定保健指導	初回面接実施数	545	406	716	904	864
階層化後	動機付け支援	329	245	455	555	548
	積極的支援	108	87	151	232	186
	情報提供 他	65	52	82	94	109
	医療優先	43	22	28	23	21
受託団体数		5市町村	6市町村	9市町村	11市町村	14市町村

年次推移（職域）

(件)

区 分		R 1 年度	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度
特定保健指導	初回面接実施数			51	35	30
階層化後	動機付け支援			34	26	22
	積極的支援			17	9	8
	情報提供 他			0	0	0
	医療優先			0	0	0
受託団体数				1事業所	1事業所	1事業所

=実施スキーム=



2) 一般保健指導

=概要=

財団と委託契約をした事業所の従業員等働く人に対し定期健康診断の結果の見方の説明や生活習慣の振り返り及び改善のアドバイスをすることで労働者の健康の保持増進をサポートする。

=実施方法=

- ・ 個別支援：事業所は遠隔面接を実施
- ・ その他：人間ドックの結果説明

=実施状況=

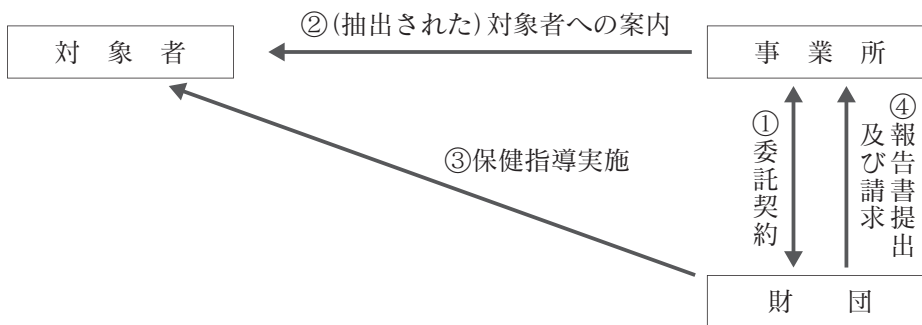
年次推移

(件)

区分	R 1年度	R 2年度	R 3年度	R 4年度	R 5年度
職域	435	376	327	411	260

・ 受託団体数：3事業所

=実施スキーム=



(13) 健康サポート事業

=概要=

医療費の抑制や県民の健康志向の高まり、各企業の社員の総合的な健康管理に対する需要が高まっているため、健康診断のみならず健康教育や健康相談等、企業の総合的な健康管理をサポートする。

=実施方法=

1) 総合支援事業

月1回定期訪問し、産業保健活動を実施する専門職として、関係スタッフ（産業医等）と連携し、活動を支援する。

①健康管理スタッフとの連携・支援

産業保健計画策定の協力、安全衛生委員会の参加、衛生教育等

②従業員への支援

健康相談、メンタルヘルス対策（個別カウンセリング）

③その他

- ・年1回、定期健康診断実施後、健診結果の全国的・全県的分析資料の提供
- ・個別支援メニューのうち、1年間に2講座実施
- ・骨密度測定（簡易）の実施
- ・定期訪問時に、簡易検査機（ストレスチェック・血管年齢・脳年齢等）貸出
- ・財団が主催する行事イベント等の案内及び招待

2) 個別支援事業

保健（メンタルヘルス含む）、運動、栄養の分野での専門職による研修会・勉強会（21講座）を受託実施する。

=実施状況=

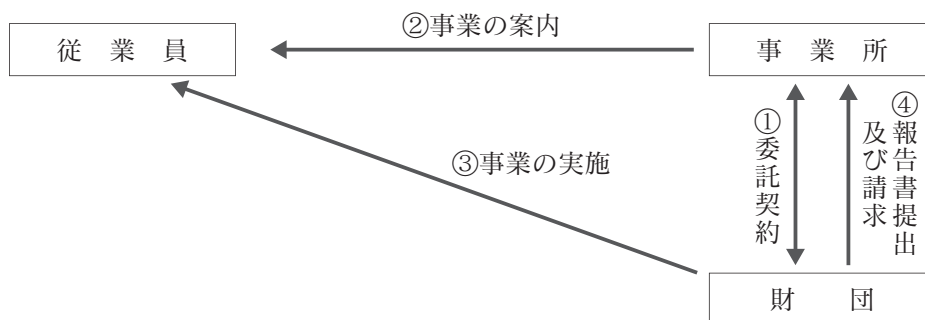
年次推移

(件)

区 分	R 1年度	R 2年度	R 3年度	R 4年度	R 5年度
保健（禁煙）	45	—	—	—	—
保健（肝臓病）	—	—	—	—	—
メンタルヘルス	271	200	136	276	152
運動	—	—	—	24	26

- ・総合支援事業：0団体
- ・個別支援事業：メンタルヘルス 1団体1講座
運動 1団体1講座

=実施スキーム=



(14) 腸内細菌検査・ノロウイルス検査・新型コロナウイルス検査

=検査方法=

1) 赤痢菌・サルモネラ属菌(腸チフス・パラチフスを含む)・腸管出血性大腸菌 O157・O26・O111検査

リアルタイム PCR で対象遺伝子を検出し、疑陽性の場合は分離培養を行い、TSI 培地、CLIG 培地、LIM 培地、ID テストを用いて生化学的性状を確認後、一致したものに免疫血清検査を用いて同定を行う。また、腸管出血性大腸菌についてはベロ毒素の検査を実施。

2) ノロウイルス検査

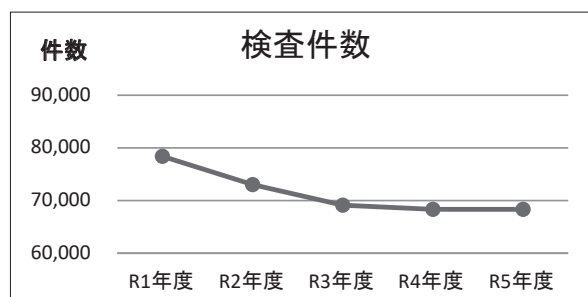
PCR 法を用いてノロウイルス遺伝子型 I 型 (G I) と II 型 (G II) を検出する。

3) 新型コロナウイルス検査 (外注検査)

=実施状況=

(件)

年度	R 1 年度	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度
検査件数	78,404	73,031	69,122	68,336	67,333



検査実績 (定期)

(件)

区 分		陰性	陽性	検査不能	合計
検査件数		39,541	14	0	39,555
検査内容	赤痢菌	39,555	0	0	39,555
	サルモネラ属菌	39,541	14	0	39,555
	腸管出血性大腸菌O157	39,555	0	0	39,555
	腸チフス	1,960	0	0	1,960
	パラチフス	1,960	0	0	1,960
	腸管出血性大腸菌O26	3,836	0	0	3,836
	腸管出血性大腸菌O111	1,409	0	0	1,409
	腸管出血性大腸菌O128	1	0	0	1

検査実績

(件)

区 分		陰性	陽性	検査不能	合計
検査件数		1,353	5	0	1,353
検査内容	ノロウイルス G I	1,353	0	0	1,353
	ノロウイルス G II	1,348	5	0	1,353

検査実績

(件)

区 分		陰性	陽性	検査不能	合計
検査件数		1	0	0	1
検査内容	新型コロナウイルス	1	0	0	1

(15) 病理検査

■ 細胞診検査

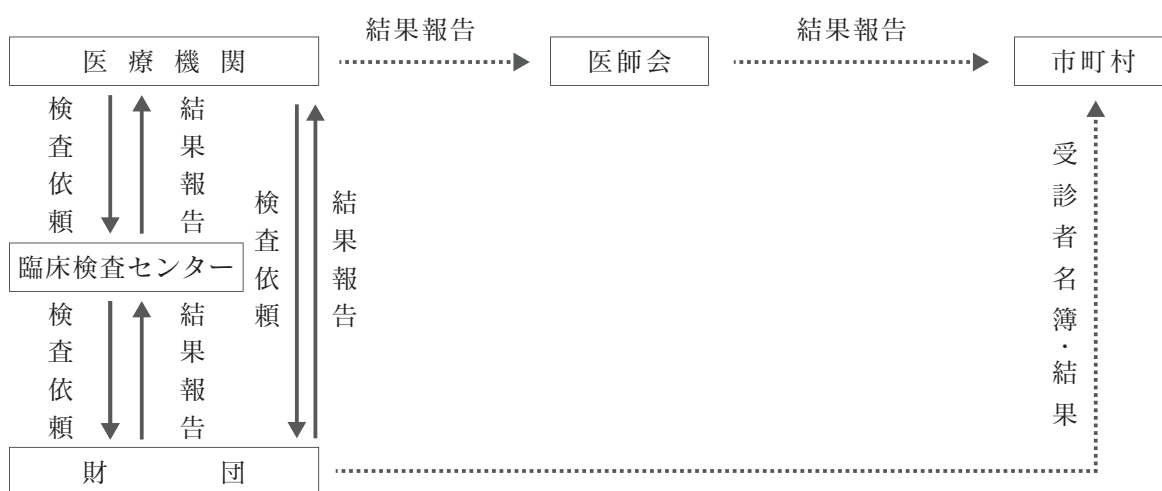
＝検査方法＝

液状化検体：搬入された検体（バイアル）を専用機器にかけて前処理後、スライドガラスに細胞を塗抹し、染色を行い顕微鏡下で観察し判定する。

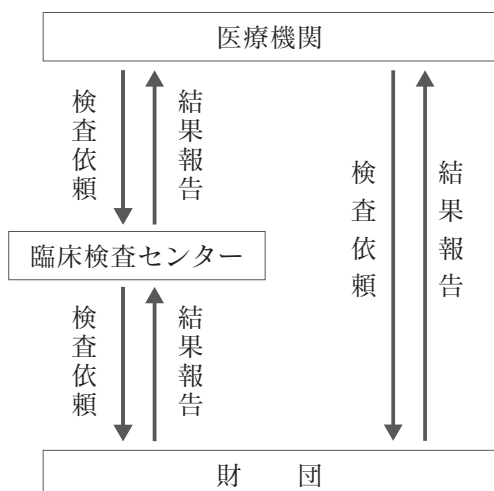
その他の検体：搬入された検体からガラス標本を作製し、染色を行い顕微鏡下で細胞を観察し判定する。

＝検査スキーム＝

1) 子宮頸がん個別検診



2) 受託検査

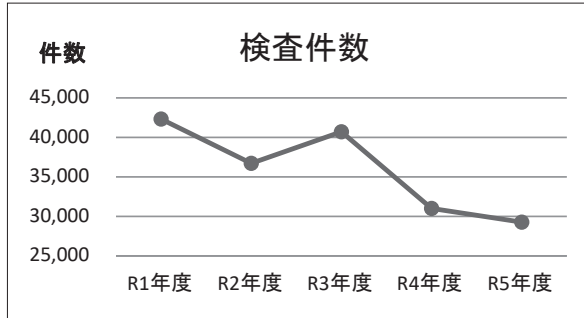


＝実施状況＝

検査件数の年次推移

(件)

区分	R 1 年度	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度
検査件数	42,323	36,718	40,710	31,009	29,272



■ 組織診検査

＝検査方法＝

搬入された検体に対して必要により切り出し等の前処理を行い、パラフィン包埋・薄切・染色の各過程を経てガラス標本を作製し、病理医が顕微鏡下で観察して診断する。

＝検査スキーム＝

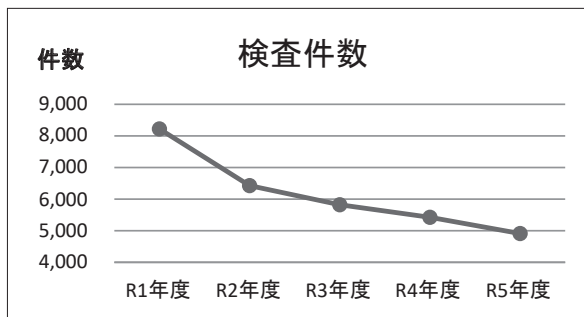
細胞診受託検査と同様

＝実施状況＝

検査件数の年次推移

(件)

区分	R 1 年度	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度
検査件数	8,221	6,427	5,822	5,425	4,911



(16) 学校保健検査

■ 尿検査

＝検査方法＝

1) 収集 対象者が、「早朝尿」を採尿容器に約10mL採取。

2) 第1回検尿

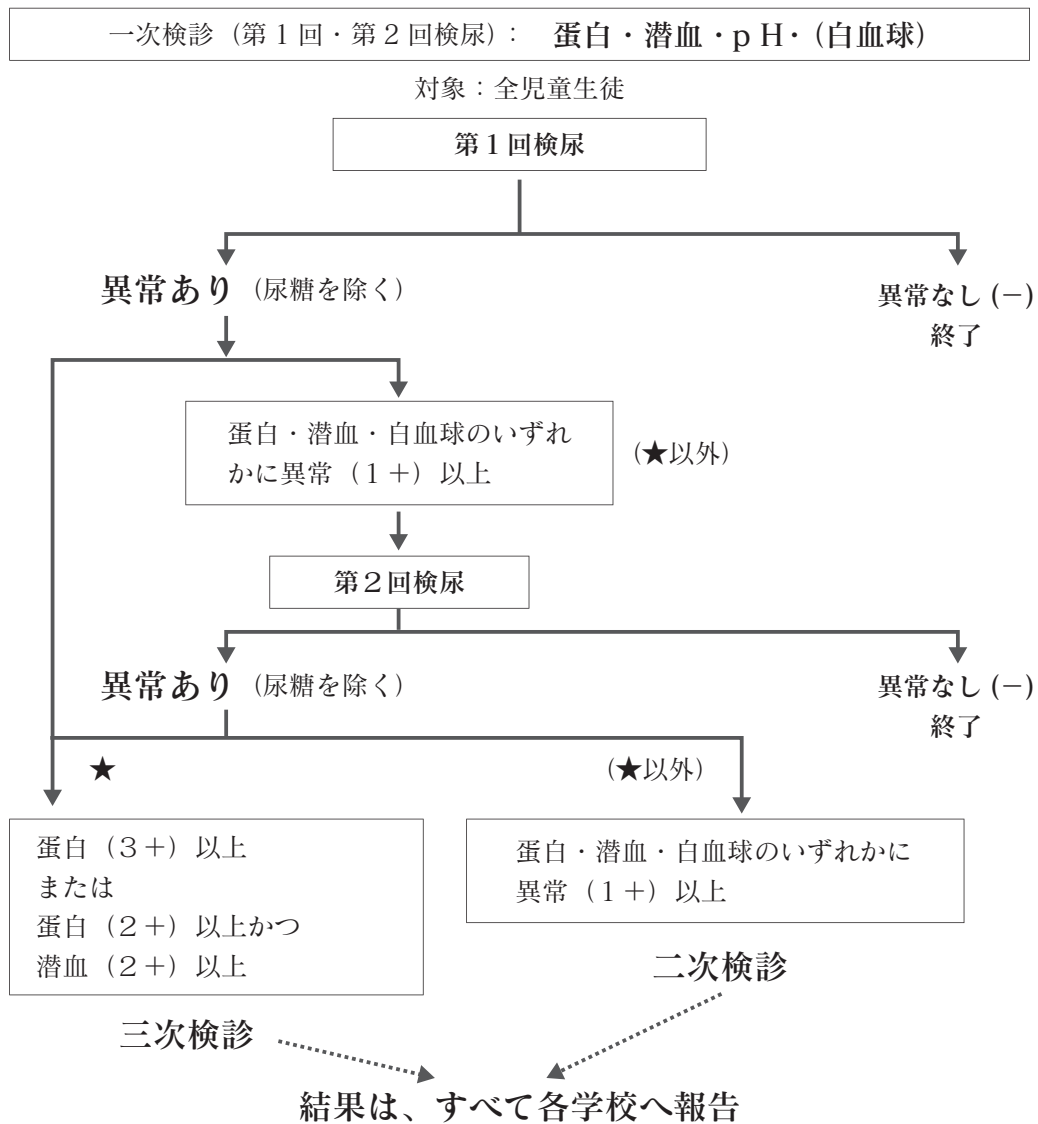
蛋白・潜血・糖を試験紙法で目視による半定量検査を実施。蛋白疑陽性の尿に対しては、スルホサリチル酸法で確認。

3) 第2回検尿

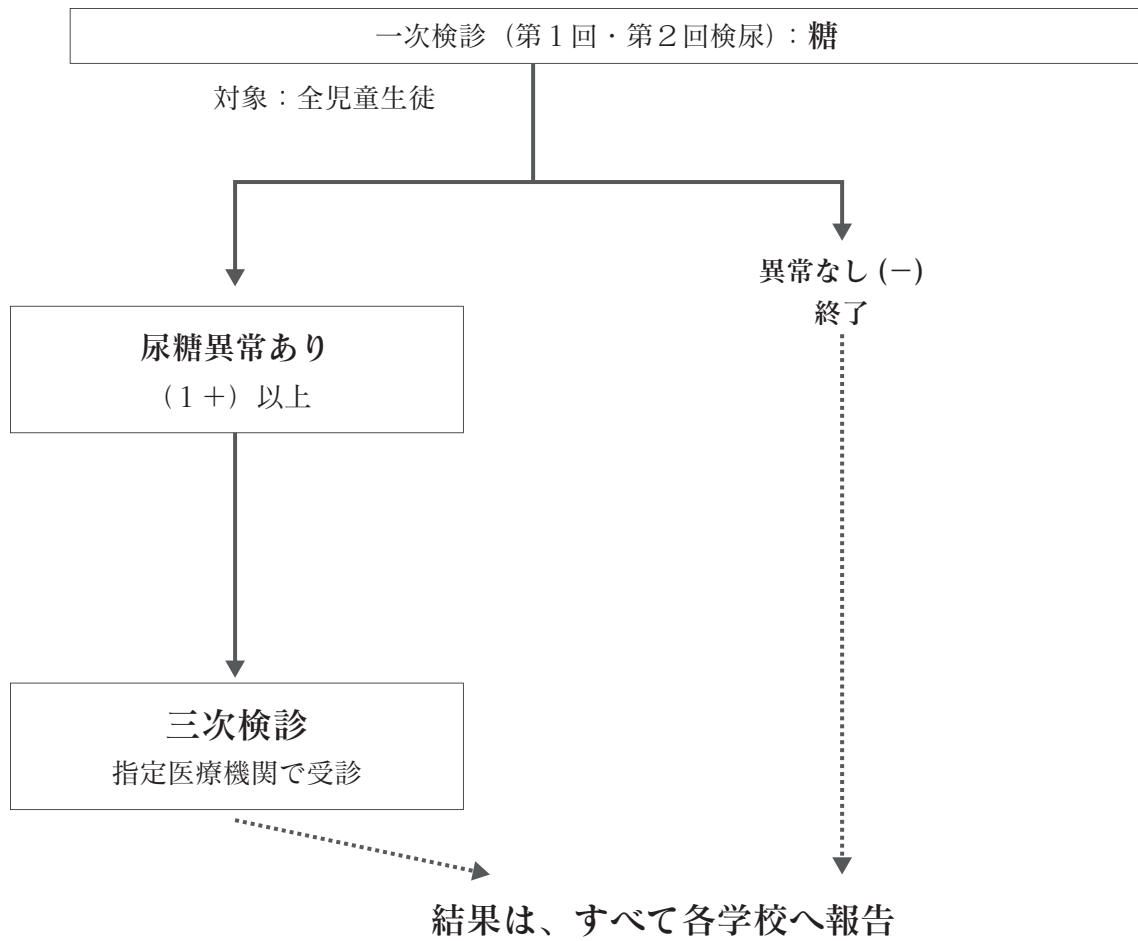
第1回検尿の陽性者で直接三次検診となる者以外は、第1回検尿と同様の検査項目・検査方法を実施。蛋白・潜血陽性尿（1+）以上で二次検診となる者に対しては尿沈渣を実施。

＝検査システム＝

1) 腎臓検診フロー



2) 糖検診フロー

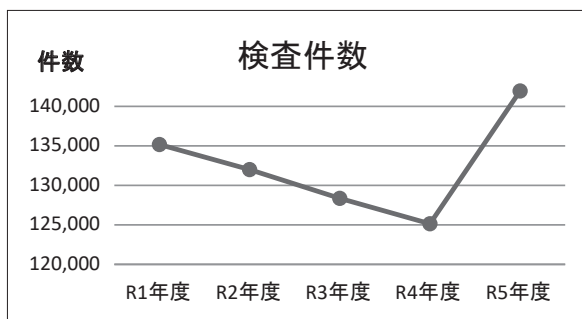


＝検査実績＝

検査件数の年次推移

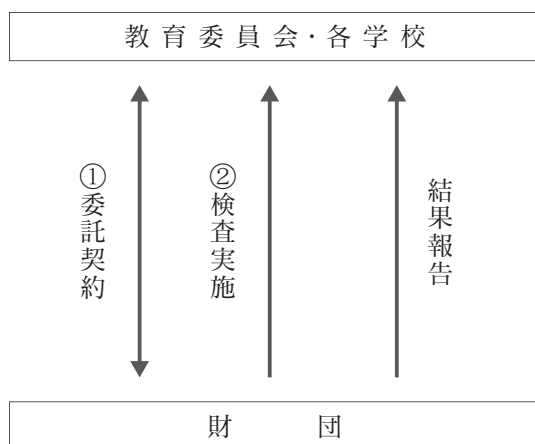
(件)

区分	R 1 年度	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度
検査件数	135,172	131,989	128,360	125,142	141,950



血液検査

=検査スキーム=

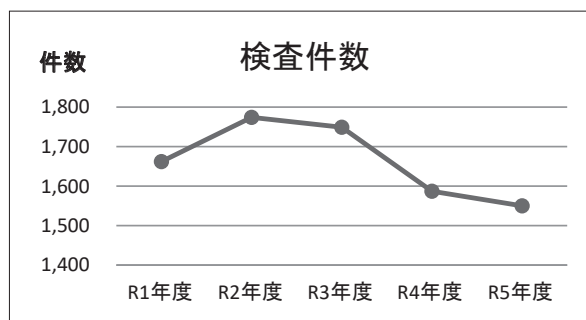


=実施状況=

受診者数の年次推移

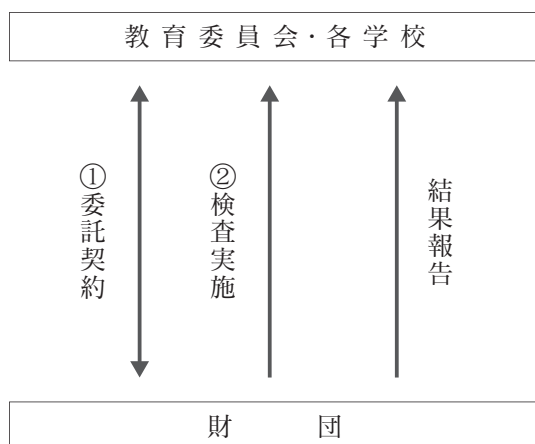
(件)

区分	R 1年度	R 2年度	R 3年度	R 4年度	R 5年度
受診者数	1,662	1,774	1,749	1,587	1,550



貧血検査

=検査システム=



=検査内容=

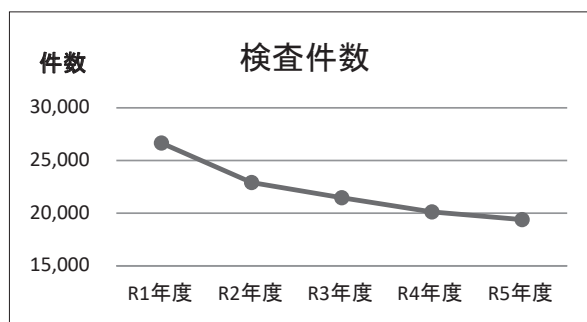
- ・ 血色素量 (Hb)
- ・ 赤血球容積 (Ht)

=実施状況=

受診者数の年次推移

(件)

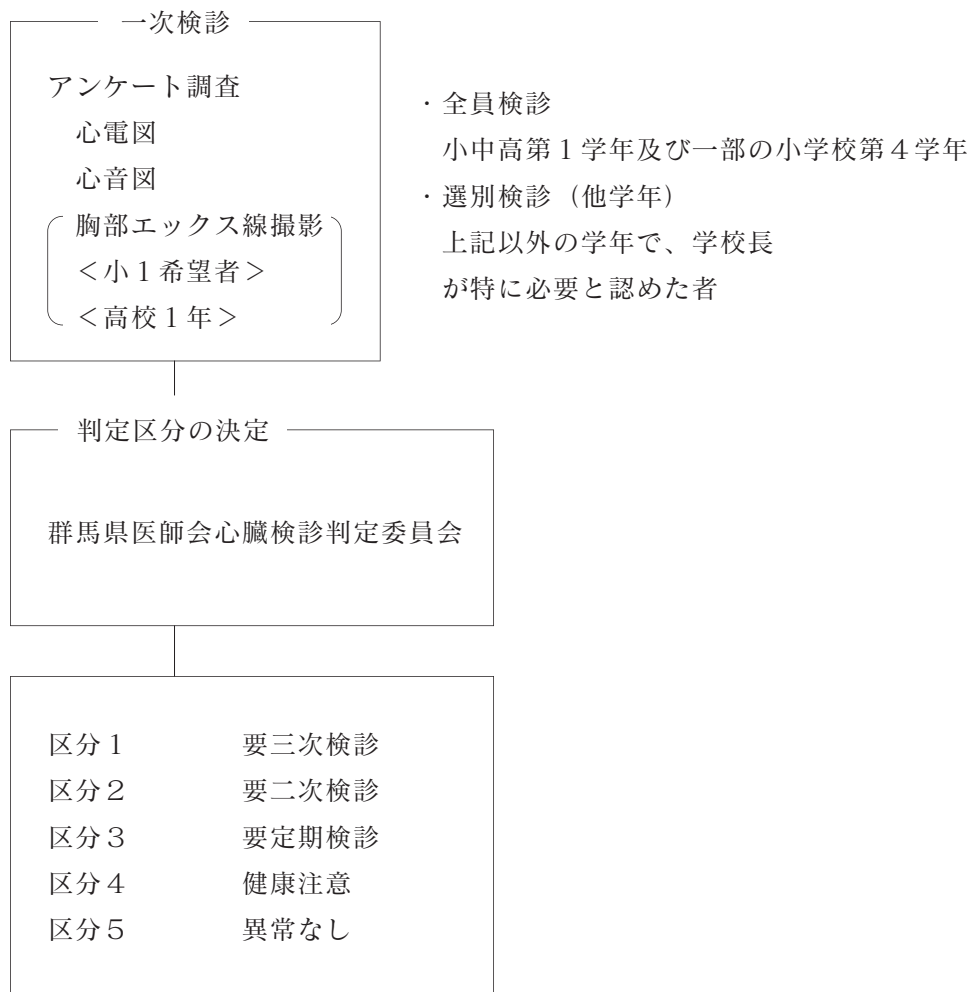
区分	R 1年度	R 2年度	R 3年度	R 4年度	R 5年度
受診者数	26,659	22,910	21,467	20,121	19,389



心臓検診

=検診方法=

一次検診として、①「心臓検診用調査票及び健康診断票」による問診、②省略4誘導心電図または標準12誘導心電図、③2点心音図、④胸部エックス線撮影（希望者）を行い、①～④を基に群馬県内の小児循環器の専門医で組織された群馬県医師会心臓検診判定委員会において判定区分を決定する。

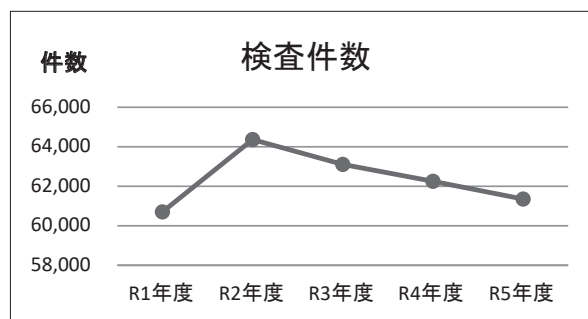


=実施状況=

受診数の年次推移

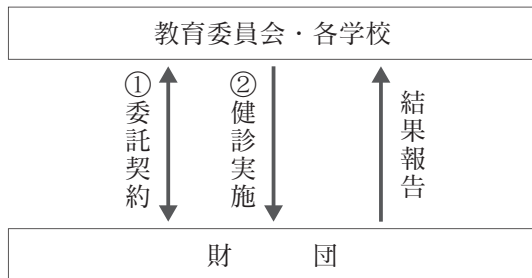
(件)

区分	R 1年度	R 2年度	R 3年度	R 4年度	R 5年度
受診者数	60,703	64,366	63,108	62,252	61,354

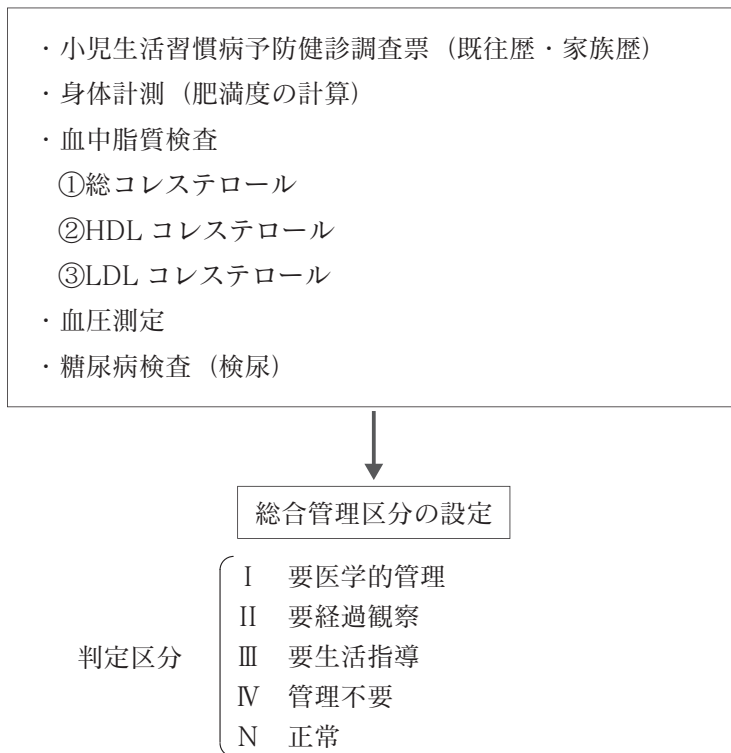


小児生活習慣病予防健診

= 健診システム =



= 健診項目および判定区分 =

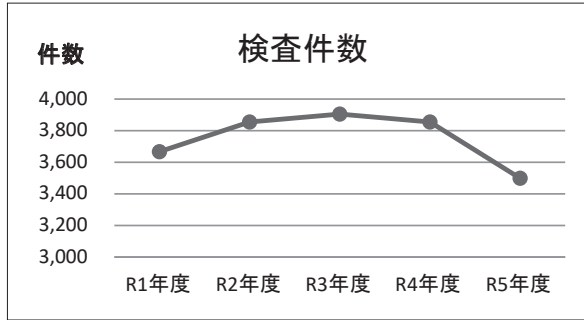


＝実施状況＝

受診数の年次推移

(件)

区分	R 1 年度	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度
受診者数	3,667	3,855	3,905	3,855	3,499



(17) 先天性代謝異常等検査

=検査方法=

県内の医療機関等で出生した新生児から採取した血液ろ紙をもとに、先天性代謝異常18疾患と内分泌異常2疾患を主に対象として検査を実施。

タンデムマス法

(アミノ酸代謝異常症)

- ①フェニルケトン尿症、②メープルシロップ尿症、③ホモシスチン尿症、④シトルリン血症Ⅰ型、⑤アルギニノコハク酸尿症

(有機酸代謝異常症)

- ⑥メチルマロン酸血症、⑦プロピオン酸血症、⑧イソ吉草酸血症、⑨メチルクロトニルグリシン尿症、⑩ヒドロキシメチルグルタル酸 (HMG) 血症、⑪複合カルボキシラーゼ欠損症、⑫グルタル酸血症Ⅰ型

(脂肪酸代謝異常症)

- ⑬中鎖アシル CoA 脱水素酵素 (MCAD) 欠損症、⑭極長鎖アシル CoA 脱水素酵素 (VLCAD) 欠損症、⑮三頭酵素 (TFP) 欠損症 / 長鎖3-ヒドロキシアシル CoA 脱水素酵素 (LCHAD) 欠損症、⑯カルニチンパルミトイルトランスフェラーゼ - I (CPT1) 欠損症、⑰カルニチンパルミトイルトランスフェラーゼ - II (CPT2) 欠損症

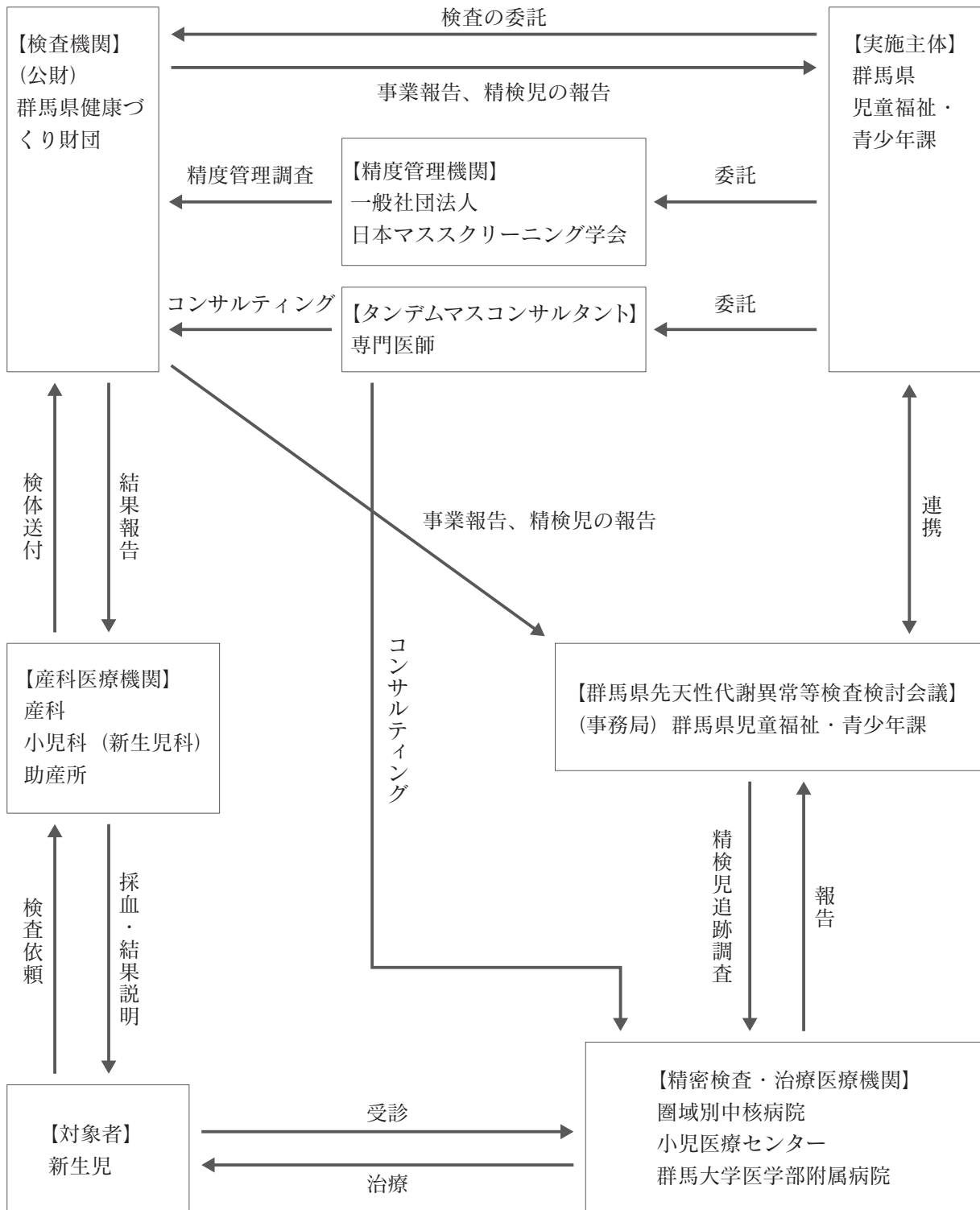
酵素化学的測定法

- ⑱ガラクトース血症

免疫化学的測定法

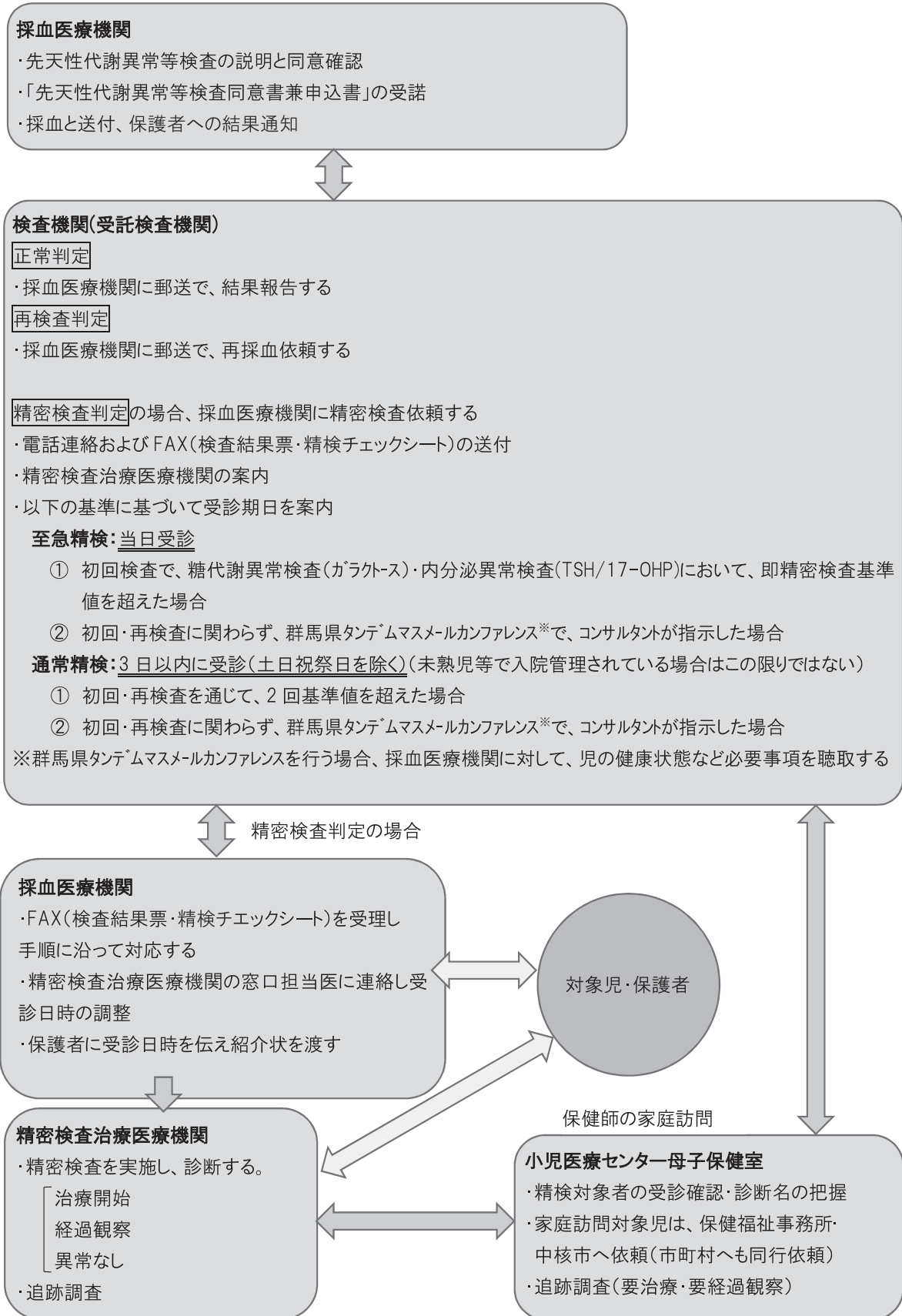
- ⑲先天性甲状腺機能低下症、⑳先天性副腎過形成症

=検査システム=



先天性代謝異常等検査の精密検査時の対応

VI. 検査から精検・治療まで(フローチャート)

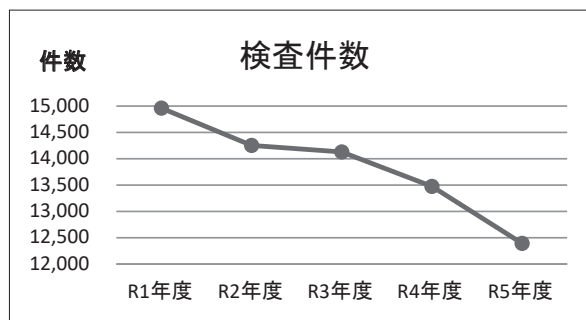


＝検査実績＝

検査件数の年次推移

(件)

区分	R 1 年度	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度
検査件数	14,961	14,253	14,129	13,475	12,393



(18) 食品検査

■ 食品検査

＝概要＝

主に食品関係業者からの依頼で、食中毒菌や汚染指標菌などの細菌学検査、栄養成分や食品添加物などの理化学検査を実施。

＝検査方法＝

食品衛生法等の関係法令及び食品衛生検査指針に基づき実施。

＝検査システム＝

一般社団法人群馬県食品衛生協会が作成した自主検査実施計画表に基づき、依頼者が同協会各支部へ持ち込んだ検体を職員が出向き回収する。

その他の検査は、依頼者が直接財団に持参するか、宅配便等を利用して検体が搬入される。

施設の拭き取り検査等は、職員が現場に出向き採取する。

検体の搬入・受領から検査実施、検査成績書の発送に至る全ての過程において、標準作業書に基づいて実施し、記録することで検査の履歴を残す。その履歴を遡上することが可能（トレーサブル）なシステムとなっている。

＝登録検査機関＝

政府の代行機関として、食品衛生法第 26 条各項に基づく命令検査を行うことができる検査機関

- ・平成 16 年 2 月 27 日付けで法改正に伴い指定検査機関からみなし登録検査機関へ移行
(法 26 条各項の細菌学的検査区分、理化学的検査区分)
- ・平成 21 年 1 月 16 日付けで登録更新
- ・平成 22 年 3 月 31 日付けで理化学的検査区分の登録を廃止
- ・平成 26 年 1 月 8 日付けで登録更新
- ・平成 31 年 1 月 22 日付けで登録更新（登録満了：令和 6 年 2 月 26 日）

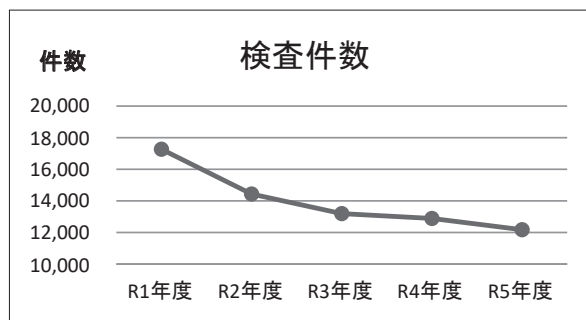
なお、当財団は群馬県唯一の登録検査機関である。

＝検査状況＝

検査件数の年次推移

(件)

区分	R 1 年度	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度
検査件数	17,269	14,434	13,194	12,888	12,175



(19) 水質検査

■ 計量証明検査

＝概要＝

計量証明事業登録機関として、浄化槽放流水の浄化槽法効率化11条検査及び事業場からの排出水検査等を実施。

＝検査方法＝

水質汚濁防止法等の関係法令及び日本工業規格（JIS K 0102）等に基づき実施。

＝検査システム＝

浄化槽法効率化11条検査は、現地調査と BOD 検査用の放流水採取を浄化槽保守点検業者に所属する指定採水員が行い、採取した放流水の BOD 検査を計量証明事業登録機関が、書類検査と総合判定を浄化槽法の指定検査機関である公益財団法人群馬県環境検査事業団が行う群馬県独自のシステムである。

事業場の排出水は、事業者又は浄化槽保守点検業者が採取した検体を直接財団に持参するか、宅配便等を利用して搬入する。要望があれば、職員が現場に出向き採取する。

■ 浴槽水水質検査

＝概要＝

主にホテル、旅館及び公衆浴場等の浴槽水について、事業者又は浴槽設備維持管理業者からの依頼でレジオネラ属菌等の検査を実施。

＝検査方法＝

レジオネラ属菌は、公衆浴場における浴槽水等のレジオネラ属菌検査方法（令和元年9月19日薬生衛発0919第1号別添）により実施。その他の項目は、水道法の水質基準に関する省令で定める方法等で実施。

＝検査システム＝

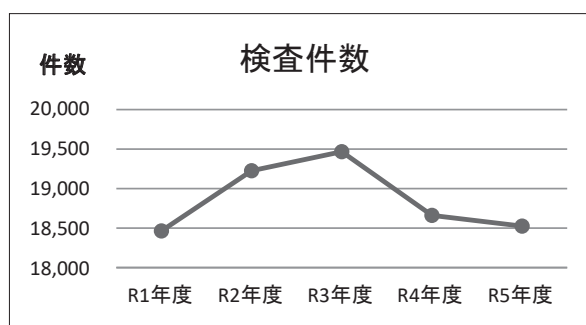
事業者又は浴槽設備維持管理業者が採取した検体を直接財団に持参するか、宅配便等を利用して搬入する。要望があれば、職員が現場に出向き採取する。

＝実施状況＝

検査件数の年次推移

(件)

区分	R 1 年度	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度
計量証明	17,034	17,863	18,005	17,061	16,943
浴槽水水質検査	1,430	1,363	1,462	1,600	1,582
合計	18,464	19,226	19,467	18,661	18,525



(20) 施設内健診

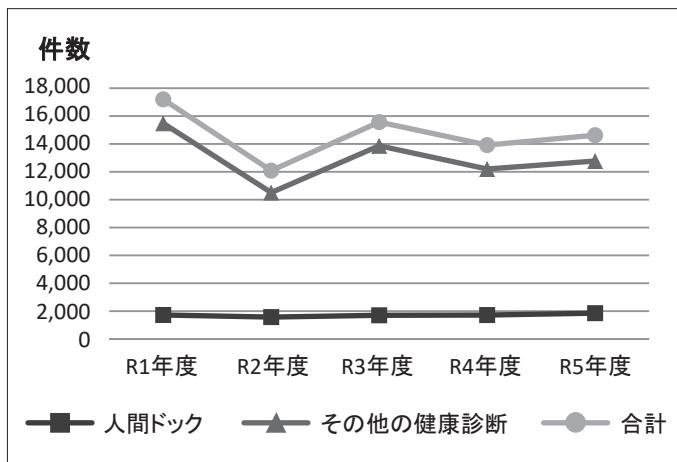
■ 各種健康診断

=実施状況=

受診数の年次推移

(件)

区 分		R 1年度	R 2年度	R 3年度	R 4年度	R 5年度
ヘルスチェック	人間ドック	1,722	1,573	1,701	1,718	1,853
	その他の健康診断	15,481	10,511	13,868	12,202	12,774
	合 計	17,203	12,084	15,569	13,920	14,627



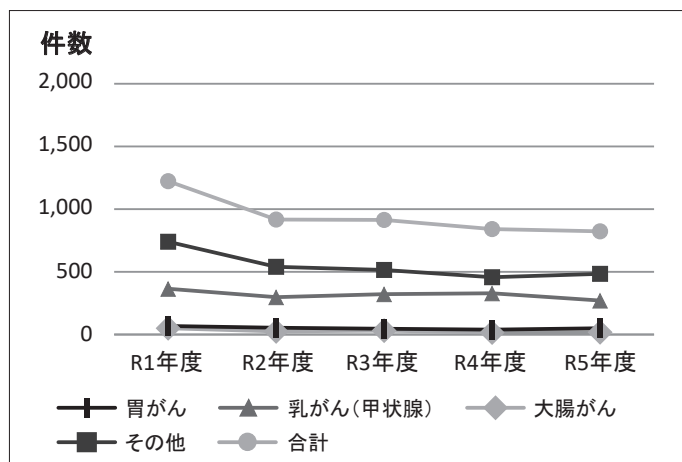
■ 精密検査

=実施状況=

受診数の年次推移

(件)

区 分		R 1年度	R 2年度	R 3年度	R 4年度	R 5年度
精密検査	胃がん	68	54	46	39	50
	乳がん・(甲状腺)	365	298	322	329	271
	大腸がん	50	25	31	16	18
	その他	740	540	515	457	484
	合計	1,223	917	914	841	823



＝日帰り人間ドック検査項目＝

- 診 察 ●問診 ●聴打診・視診
- 計 測 ●身長 ●体重 ●BMI ●腹囲 ●肥満度 ●視力 ●聴力／オーディオ
●血圧
- 血 中 脂 質 ●HDL コレステロール ●LDL コレステロール ●中性脂肪
●総コレステロール ●Non-HDL コレステロール
- 肝 機 能 ●AST (GOT) ●ALT (GPT) ●r -GTP ●A L P
●総蛋白 ●アルブミン ●A / G比 ●総ビリルビン ●L D H
●H B s 抗原 ●H C V抗体 ●血清アミラーゼ
- 血 液 一 般 ●赤血球数 ●血色素量 ●ヘマトクリット
●白血球数 ●血小板数 ●血液像 ●M C V ●M C H ●M C H C
- 代 謝 ●尿糖 ●空腹時血糖 ●ヘモグロビンA 1c ●随時血糖 ●尿酸
- 炎症反応 ●C R P
- 肺 機 能 ●肺機能 (肺活量、%肺活量、一秒量、一秒率)
- 梅 毒 ●RPR 法 ●TPHA 法
- 尿・腎機能 ●尿蛋白 ●尿潜血 ●尿中ウロビリノーゲン ●尿 P H
●尿沈渣 ●尿比重 ●クレアチニン eGFR ●尿素窒素
- 眼底・眼圧 ●眼底 ●眼圧
- 心 電 図 ●心電図
- 消化器検査 ●便潜血反応 (免疫法2回)
●胃部バリウム (X線) ※内視鏡検査に変更可能 (追加料金が発生します)
●腹部超音波
- 胸 部 ●胸部レントゲン2方向 ●胸部レントゲン1方向

=オプション検査=

女性オプション検査

- 子宮頸がん検診／子宮頸部細胞診、内診
- 乳がん／視触診、マンモグラフィ2方向撮影、乳エコー検査
- 乳がん腫瘍マーカー（CA15-3）
- 子宮頸がん腫瘍マーカー（SCC 抗原）
- 卵巣がん腫瘍マーカー（CA125）

その他

- 胸部低線量ヘリカルCT ●肺機能検査 ●喀痰細胞診 ●BNP ●ピロリ菌抗体
- ABC 検診 ●内臓脂肪測定 ●腹部超音波 ●HBs 抗原／HCV 抗体
- HIV 抗原／抗体 ●骨塩定量（DXA法） ●甲状腺ホルモン
- View39（アレルギー検査） ●FloraScan（フローラスキャン）
- 1日推定塩分摂取量 ●ヘモグロビンA1c
- LOX-index（ロックスインデックス） ●腫瘍マーカー（CYFRA・シフラ）
- 腫瘍マーカー（CEA） ●腫瘍マーカー（AFP） ●腫瘍マーカー（CA19-9）
- 腫瘍マーカー（PSA）

2 発見がん追跡調査結果

(1) R4年度 発見胃がん追跡調査結果（地域）（R7.3.31現在）

<胃X線検査>

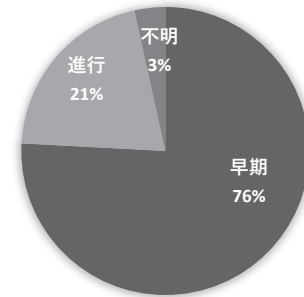
1. 検査実施状況

区分	受診者	要精検者(%)	精検受診者(%)
男	8,944	782 (8.7)	679 (86.8)
女	9,570	381 (4.0)	354 (92.9)
男女計	18,514	1,163 (6.3)	1,033 (88.8)

2. 精検結果内訳

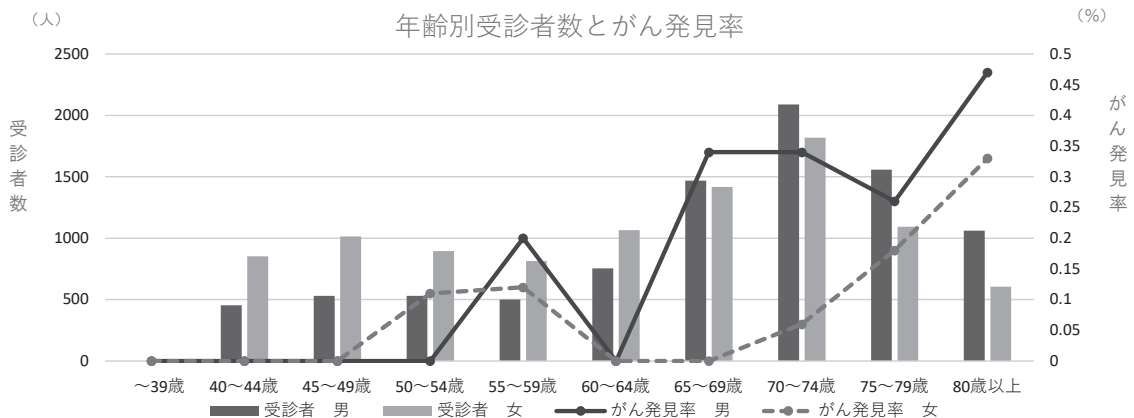
区分	がん	がん			がん以外の疾患	異常なし	未受診	未把握	計	
		早期	進行	不明						
男	22	17	5	0	0	568	89	28	75	782
女	7	5	1	1	1	286	60	2	25	381
男女計	29	22	6	1	1	854	149	30	100	1,163

早期・進行割合



3. 年齢階層別結果状況

区分	受診者	要精検者(%)	精検受診者(%)	発見がん(%)	陽性反応的中度(%)	未受診者	未把握者	
男	～39歳	0	- (-)	- (-)	- (-)	-	-	
	40～44歳	454	15 (3.3)	15 (100.0)	0 (0.00)	(0.0)	0	0
	45～49歳	529	19 (3.6)	12 (63.2)	0 (0.00)	(0.0)	1	6
	50～54歳	531	30 (5.6)	25 (83.3)	0 (0.00)	(0.0)	1	4
	55～59歳	501	30 (6.0)	25 (83.3)	1 (0.20)	(3.3)	1	4
	60～64歳	754	54 (7.2)	48 (88.9)	0 (0.00)	(0.0)	3	3
	65～69歳	1,468	137 (9.3)	121 (88.3)	5 (0.34)	(3.6)	6	10
	70～74歳	2,089	204 (9.8)	177 (86.8)	7 (0.34)	(3.4)	6	21
	75～79歳	1,557	171 (11.0)	149 (87.1)	4 (0.26)	(2.3)	8	14
	80歳以上	1,061	122 (11.5)	107 (87.7)	5 (0.47)	(4.1)	2	13
計	8,944	782 (8.7)	679 (86.8)	22 (0.25)	(2.8)	28	75	
女	～39歳	0	- (-)	- (-)	- (-)	(-)	-	-
	40～44歳	853	31 (3.63)	29 (93.5)	0 (0.00)	(0.0)	0	2
	45～49歳	1,013	26 (2.57)	24 (92.3)	0 (0.00)	(0.0)	0	2
	50～54歳	895	30 (3.35)	27 (90.0)	1 (0.11)	(3.3)	0	3
	55～59歳	813	13 (1.6)	12 (92.3)	1 (0.12)	(7.7)	0	1
	60～64歳	1,065	37 (3.47)	37 (100.0)	0 (0.00)	(0.0)	0	0
	65～69歳	1,417	61 (4.3)	56 (91.8)	0 (0.00)	(0.0)	1	4
	70～74歳	1,818	80 (4.4)	76 (95.0)	1 (0.06)	(1.3)	1	3
	75～79歳	1,092	59 (5.4)	53 (89.8)	2 (0.18)	(3.4)	0	6
	80歳以上	604	44 (7.28)	40 (90.9)	2 (0.33)	(4.5)	0	4
計	9,570	381 (3.98)	354 (92.9)	7 (0.07)	(1.8)	2	25	
男女計	18,514	1,163 (6.3)	1,033 (88.8)	29 (0.16)	(2.5)	30	100	



(2) R4年度 発見子宮頸がん検診追跡調査結果（地域）（R7.3.31現在）

1. 検査実施状況

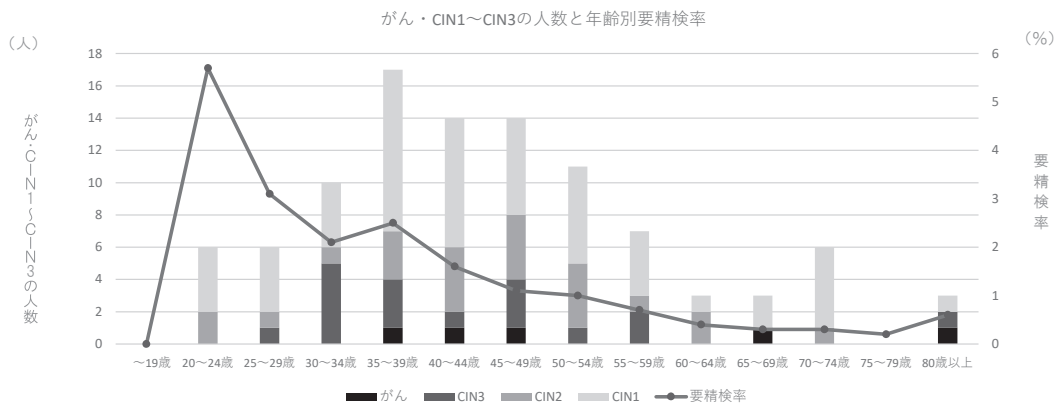
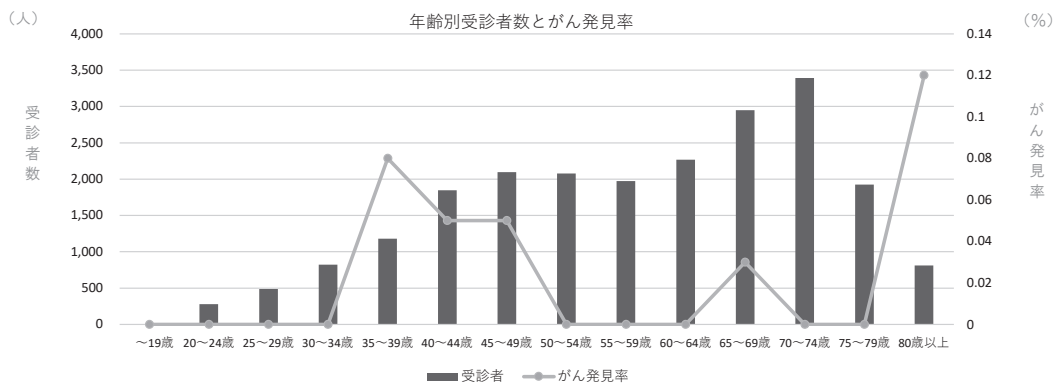
受診者	要精検者(%)	精検受診者(%)
22,111	201 (0.9)	185 (92.0)

2. 精検結果内訳

子宮頸がん	早期	進行	不明	AIS	CIN3	CIN2	CIN1	CIN分類不明	子宮頸がんの疑いまたは未確定	子宮頸がん以外のがん(子宮体がん)	その他	異常なし	未受診	未把握	計
5	2	3	0	1	17	23	55	0	24	1	21	38	2	14	201

3. 年齢階層別結果状況

区分	受診者	要精検者(%)	精検受診者(%)	がん	AIS	CIN3	CIN2	CIN1	子宮頸がん以外のがん(子宮体がん)	未受診	未把握
～19歳	0	- (-)	- (-)	-	-	-	-	-	-	-	-
20～24歳	279	16 (5.7)	11 (68.8)	0	0	0	2	4	0	1	4
25～29歳	486	15 (3.1)	13 (86.7)	0	0	1	1	4	0	1	1
30～34歳	823	17 (2.1)	16 (94.1)	0	0	5	1	4	0	0	1
35～39歳	1,179	29 (2.5)	27 (93.1)	1	0	3	3	10	0	0	2
40～44歳	1,847	30 (1.6)	29 (96.7)	1	1	1	4	8	0	0	1
45～49歳	2,097	24 (1.1)	22 (91.7)	1	0	3	4	6	0	0	2
50～54歳	2,079	21 (1.0)	20 (95.2)	0	0	1	4	6	0	0	1
55～59歳	1,975	13 (0.7)	13 (100.0)	0	0	2	1	4	0	0	0
60～64歳	2,268	9 (0.4)	9 (100.0)	0	0	0	2	1	0	0	0
65～69歳	2,951	9 (0.3)	8 (88.9)	1	0	0	0	2	1	0	1
70～74歳	3,393	9 (0.3)	9 (100.0)	0	0	0	1	5	0	0	0
75～79歳	1,924	4 (0.2)	3 (75.0)	0	0	0	0	0	0	0	1
80歳以上	810	5 (0.6)	5 (100.0)	1	0	1	0	1	0	0	0
計	22,111	201 (0.9)	185 (92.0)	5	1	17	23	55	1	2	14



(3) R4年度 発見肺がん追跡調査結果(地域)(R7.3.31現在)

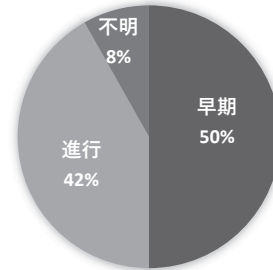
<肺X線検査・喀痰細胞診>

※ 要精検者 肺がん検診における胸部X線検査の判定基準:E(Dは除外)
肺がん検診における喀痰細胞診の判定基準 :D、E

1. 検査実施状況

区分	受診者		要精検者 [*] (%)		精検受診者(%)	
	X線	喀痰	X線	喀痰	X線	喀痰
男	41,980	1,809	526 (1.3)	1 (0.1)	483 (91.8)	1 (100.0)
女	62,051	144	607 (1.0)	1 (0.7)	576 (94.9)	0 (0.0)
男女計	104,031	1,953	1,133 (1.1)	2 (0.1)	1,059 (93.5)	1 (50.0)

早期・進行割合



2. 精検結果内訳

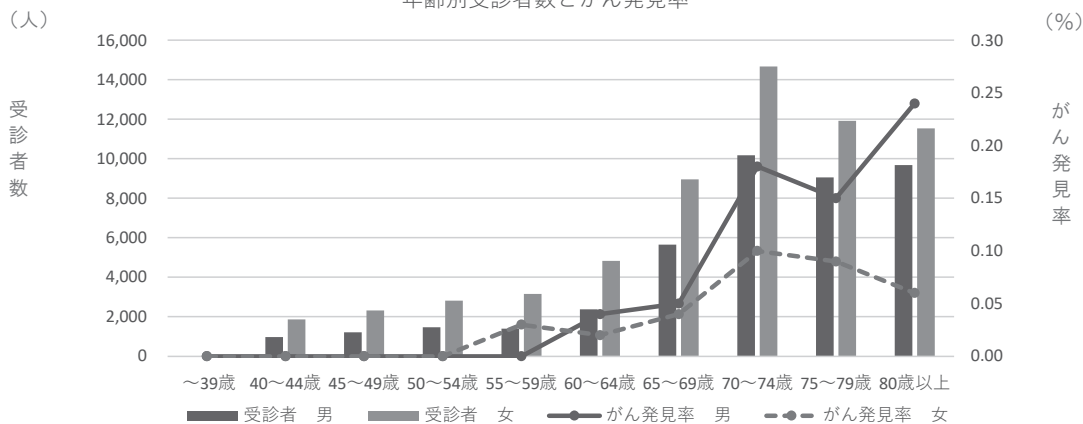
区分	がん	早期	進行	不明	がん疑い	がん以外の疾患	異常なし	未受診	未把握	計
女	39	22	15	2	13	300	224	10	21	607
男女計	98	49	41	8	22	557	382	21	53	1,133

3. 年齢階層別結果状況

区分	受診者		要精検者 [*] (%)		精検受診者(%)		発見がん [*] (%)		陽性反応の集中度(%)		未受診		未把握	
	X線	喀痰	X線	喀痰	X線	喀痰	X線	喀痰	X線	喀痰	X線	喀痰	X線	喀痰
男	5	0	0 (0.0)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	-	-	-	-
40~44歳	974	0	4 (0.4)	- (-)	4 (100)	- (-)	0 (0.00)	- (-)	(0.0)	(-)	0	-	0	-
45~49歳	1,214	0	6 (0.5)	- (-)	4 (66.67)	- (-)	0 (0.00)	- (-)	(0.0)	(-)	2	-	0	-
50~54歳	1,467	40	9 (0.6)	0 (0)	6 (66.67)	- (-)	0 (0.00)	- (-)	(0.0)	(-)	1	-	2	-
55~59歳	1,390	54	11 (0.8)	0 (0)	11 (100)	- (-)	0 (0.00)	- (-)	(0.0)	(-)	0	-	0	-
60~64歳	2,381	135	19 (0.8)	0 (0)	18 (94.74)	- (-)	1 (0.04)	- (-)	(5.3)	(-)	0	-	1	-
65~69歳	5,650	282	56 (1.0)	0 (0)	52 (92.86)	- (-)	3 (0.05)	- (-)	(5.4)	(-)	0	-	4	-
70~74歳	10,172	564	106 (1.0)	0 (0)	96 (90.57)	- (-)	18 (0.18)	- (-)	(17.0)	(-)	3	-	7	-
75~79歳	9,050	446	138 (1.5)	0 (0)	125 (90.58)	- (-)	14 (0.15)	- (-)	(10.1)	(-)	4	-	9	-
80歳以上	9,677	288	177 (1.8)	1 (0.3)	167 (94.35)	1 (100.0)	23 (0.24)	0 (0.00)	(13.0)	(0.0)	1	0	9	0
計	41,980	1,809	526 (1.3)	1 (0.1)	483 (91.83)	1 (100.0)	59 (0.14)	0 (0.00)	(11.2)	(0.0)	11	0	32	0

区分	受診者		要精検者 [*] (%)		精検受診者(%)		発見がん [*] (%)		陽性反応の集中度(%)		未受診		未把握	
	X線	喀痰	X線	喀痰	X線	喀痰	X線	喀痰	X線	喀痰	X線	喀痰	X線	喀痰
女	3	0	0 (0.0)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	-	-	-	-
40~44歳	1,860	0	0 (0.0)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	-	-	-	-
45~49歳	2,318	0	3 (0.1)	- (-)	3 (100.0)	- (-)	0 (0.00)	- (-)	(0.0)	(-)	0	-	0	-
50~54歳	2,809	11	9 (0.3)	0 (0.0)	9 (100.0)	- (-)	0 (0.00)	- (-)	(0.0)	(-)	0	-	0	-
55~59歳	3,157	18	6 (0.2)	0 (0.0)	5 (83.3)	- (-)	1 (0.03)	- (-)	(16.7)	(-)	0	-	1	-
60~64歳	4,822	27	33 (0.7)	0 (0.0)	31 (93.9)	- (-)	1 (0.02)	- (-)	(3.0)	(-)	0	-	2	-
65~69歳	8,955	18	66 (0.7)	1 (5.6)	59 (89.4)	0 (0.0)	4 (0.04)	- (-)	(6.1)	(-)	1	0	6	1
70~74歳	14,675	30	160 (1.1)	0 (0.0)	155 (96.9)	- (-)	15 (0.10)	- (-)	(9.4)	(-)	0	-	5	-
75~79歳	11,917	35	132 (1.1)	0 (0.0)	122 (92.4)	- (-)	11 (0.09)	- (-)	(8.3)	(-)	6	-	4	-
80歳以上	11,535	5	198 (1.7)	0 (0.0)	192 (97.0)	- (-)	7 (0.06)	- (-)	(3.5)	(-)	3	-	3	-
計	62,051	144	607 (1.0)	1 (0.7)	576 (94.9)	0 (0.0)	39 (0.06)	- (-)	(6.4)	(-)	10	-	21	-
男女計	104,031	1,953	1,133 (1.1)	2 (0.1)	1,059 (93.5)	1 (50.0)	98 (0.09)	0 (0.00)	(8.6)	(0.0)	21	0	53	1

年齢別受診者数とがん発見率

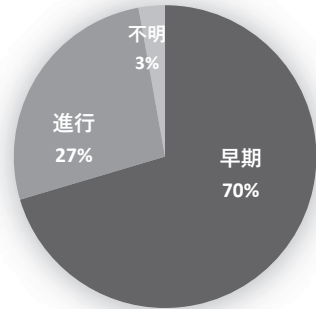


(4) R4年度 発見乳がん追跡調査結果（地域）（R7.3.31現在）

1. 検査実施状況 ※1:視触診のみでの受診者は集計から除外
※2:マンモグラフィ+超音波の判定は総合判定(H30~)

区分	受診者 ^{※1}	要精検者 ^{※2} (%)	精検受診者(%)
マンモグラフィ	14,198	565 (4.0)	548 (97.0)
マンモグラフィ+視触診	4,196	196 (4.7)	191 (97.4)
マンモグラフィ+超音波	1,404	55 (3.9)	55 (100.0)
計	19,798	816 (4.1)	794 (97.3)

早期・進行割合

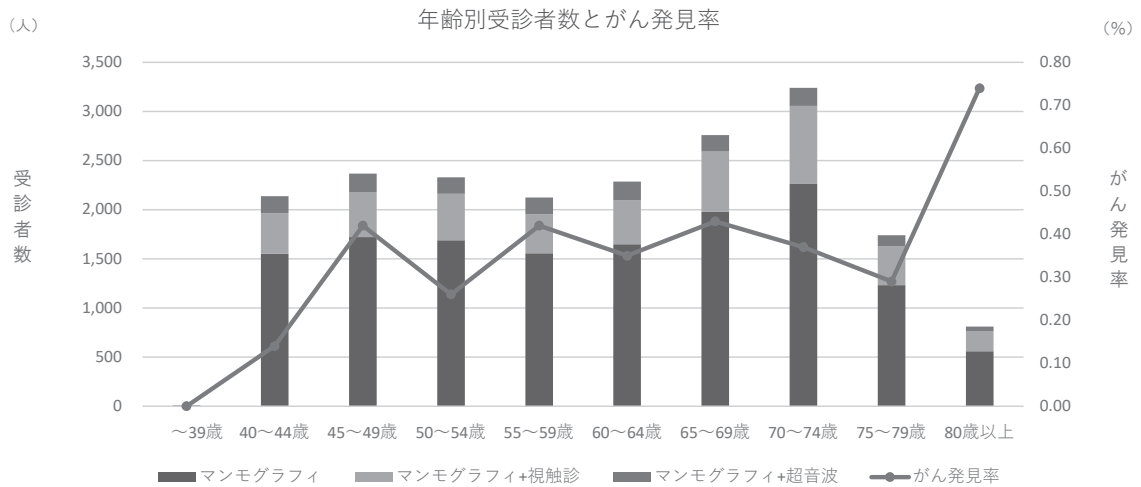


2. 精検結果内訳

区分	がん	早期	進行	不明	がん 疑い	がん 以外の 疾患	異常 なし	未 受診	未 把握	計
マンモグラフィ	50	36	14	0	0	311	187	4	13	565
マンモグラフィ+視触診	16	12	3	1	0	98	77	0	5	196
マンモグラフィ+超音波	5	2	2	1	0	36	14	0	0	55
計	71	50	19	2	0	445	278	4	18	816

3. 年齢階層別結果状況

区分	受診者 ^{※1}	要精検者 ^{※2} (%)	精検受診者(%)	発見がん(%)	陽性反応 的中度(%)	未受診者	未把握者
総 数	~39歳	6	1 (16.7)	1 (100.0)	0 (0.00) (0.0)	0	0
	40~44歳	2,137	129 (6.0)	127 (98.4)	3 (0.14) (2.3)	0	2
	45~49歳	2,367	118 (5.0)	114 (96.6)	10 (0.42) (8.5)	1	3
	50~54歳	2,330	92 (3.9)	89 (96.7)	6 (0.26) (6.5)	0	3
	55~59歳	2,123	93 (4.4)	87 (93.5)	9 (0.42) (9.7)	1	5
	60~64歳	2,287	107 (4.7)	107 (100.0)	8 (0.35) (7.5)	0	0
	65~69歳	2,759	86 (3.1)	81 (94.2)	12 (0.43) (14.0)	1	4
	70~74歳	3,239	97 (3.0)	96 (99.0)	12 (0.37) (12.4)	0	1
	75~79歳	1,741	63 (3.6)	62 (98.4)	5 (0.29) (7.9)	1	0
	80歳以上	809	30 (3.7)	30 (100.0)	6 (0.74) (20.0)	0	0
	計	19,798	816 (4.1)	794 (97.3)	71 (0.36) (8.7)	4	18

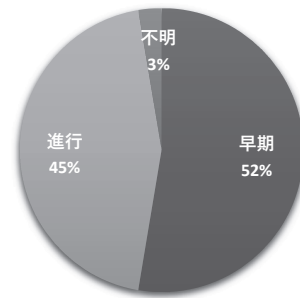


(5) R4年度 発見大腸がん追跡調査結果（地域）（R7.3.31現在）

1. 検査実施状況

区分	受診者	要精検者(%)	精検受診者(%)
男	9,698	458 (4.7)	362 (79.0)
女	12,894	388 (3.0)	330 (85.1)
男女計	22,592	846 (3.7)	692 (81.8)

早期・進行割合



2. 精検結果内訳

区分	がん	がん			がん疑い	がん以外の疾患	異常なし	未受診	未把握	計
		早期	進行	不明						
男	26	12	13	1	1	271	64	16	80	458
女	12	8	4	0	0	215	103	17	41	388
男女計	38	20	17	1	1	486	167	33	121	846

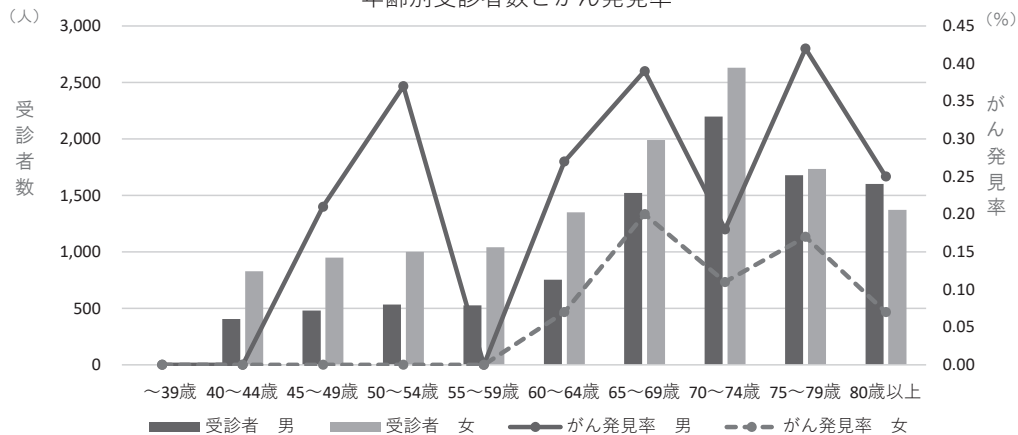
3. 年齢階層別結果状況

区分	受診者	要精検者(%)	精検受診者(%)	発見がん(%)	陽性反応的中度(%)	未受診者	未把握者
男	～39歳	0	- (-)	- (-)	- (-)	-	-
	40～44歳	406	8 (1.97)	5 (62.5)	0 (0.00) (0.0)	0	3
	45～49歳	481	13 (2.7)	11 (84.6)	1 (0.21) (7.7)	1	1
	50～54歳	534	16 (3)	14 (87.5)	2 (0.37) (12.5)	0	2
	55～59歳	527	26 (4.93)	19 (73.1)	0 (0.00) (0.0)	2	5
	60～64歳	752	24 (3.19)	19 (79.2)	2 (0.27) (8.3)	1	4
	65～69歳	1,521	67 (4.4)	55 (82.1)	6 (0.39) (9.0)	1	11
	70～74歳	2,198	91 (4.14)	71 (78.0)	4 (0.18) (4.4)	2	18
	75～79歳	1,678	99 (5.9)	81 (81.8)	7 (0.42) (7.1)	2	16
	80歳以上	1,601	114 (7.12)	87 (76.3)	4 (0.25) (3.5)	7	20
計	9,698	458 (4.72)	362 (79.0)	26 (0.27) (5.7)	16	80	

区分	受診者	要精検者(%)	精検受診者(%)	発見がん(%)	陽性反応的中度(%)	未受診者	未把握者
女	～39歳	0	- (-)	- (-)	- (-)	-	-
	40～44歳	829	25 (3.0)	20 (80.0)	0 (0.00) (0.0)	1	4
	45～49歳	949	27 (2.8)	20 (74.1)	0 (0.00) (0.0)	3	4
	50～54歳	999	24 (2.4)	22 (91.7)	0 (0.00) (0.0)	2	0
	55～59歳	1,041	24 (2.3)	22 (91.7)	0 (0.00) (0.0)	1	1
	60～64歳	1,350	27 (2.0)	22 (81.5)	1 (0.07) (3.7)	1	4
	65～69歳	1,990	55 (2.8)	51 (92.7)	4 (0.20) (7.3)	2	2
	70～74歳	2,629	84 (3.2)	71 (84.5)	3 (0.11) (3.6)	2	11
	75～79歳	1,735	58 (3.3)	50 (86.2)	3 (0.17) (5.2)	1	7
	80歳以上	1,372	64 (4.7)	52 (81.3)	1 (0.07) (1.6)	4	8
計	12,894	388 (3.0)	330 (85.1)	12 (0.09) (3.1)	17	41	

男女計	22,592	846 (3.7)	692 (81.8)	38 (0.17) (4.5)	33	121
-----	--------	-------------	--------------	---------------------	----	-----

年齢別受診者数とがん発見率



3 普及啓発事業

(1) 機関誌の発行

機関誌「健やかぐんま」を年4回発行し、事業の紹介と県民の健康づくりに関する意識の高揚を図った。

- ・発行部数 第40号 7,700部（4月発行）
第41号 7,700部（7月発行）
第42号 8,000部（11月発行）
第43号 7,700部（1月発行）
- ・主要配布先 市町村、保健所・保健福祉事務所、県都市医師会、県歯科医師会、県薬剤師会、医療機関、県内小・中・高等学校・大学、図書館、事業所、報道機関等

(2) 結核予防週間（9月24日～30日）関連

- ① 新聞広告掲載
9月24日 朝日新聞、上毛新聞に結核予防週間のスローガン等を掲載した。
- ② ポスター等の配布
結核予防週間ポスター（600部）及びパンフレット（1,350部）を保健福祉事務所、市町村、関係機関等に配布し広報活動を行った。
- ③ ライトアップ
9月26日～30日に、臨江閣のライトアップを行い結核予防週間を周知した。

(3) がん征圧月間（9月1日～30日）関連

- ① 新聞広告掲載
朝日新聞（8月28日）、上毛新聞（8月31日）にがん征圧運動のスローガン等を掲載した。
- ② ポスター等の配布
がん予防（禁煙）ポスター（1,430部）・がん征圧月間ポスター（1,430部）を保健福祉事務所、市町村、郡市医師会等に配布した。

(4) リレー・フォー・ライフ・ジャパンぐんま

がん患者やその家族を支援し、地域全体でがんと向き合い、がん征圧を目指すチャリティーイベントである「リレー・フォー・ライフ・ジャパンぐんま」は、平成25年（2013年）に群馬県で初めて開催され、回を重ねることに関心が高まり、参加者、参加チーム、募金額等も全国有数の大規模な大会となっている。

11回目の開催は5年ぶりに本来の形である夜越えを実施し、ALSOK ぐんま総合スポーツセンターふれあいグラウンドに67チーム、約4,562人の参加者が集まり、リレーのたすきを繋いだ。集めた募金、協賛金、チーム参加費は、日本対がん協会へ寄付し、がん医療の発展や患者支援、検診の啓発に役立てられた。

- ・募金（収入）総額
6,025,254円（昨年4,820,121円）

- ・日本対がん協会への寄付
1,536,974円（昨年1,684,576円）

(5) 臓器移植普及推進月間（10月1日～30日）の事業

公益社団法人日本臓器移植ネットワークが主催するグリーンライトアップキャンペーンに合わせ、10月16日のグリーンリボンデーを含む数日間群馬県庁昭和庁舎と臨江閣（前橋市）を移植医療を象徴するグリーンにライトアップした。

また、高崎駅構内に「臓器移植普及推進月間」として10月1日から30日までの間、デジタルサイネージを掲載した。

(6) 「第11回群馬県地域保健研究発表会」の開催

県内地域保健関係者の場として、令和6年3月19日、群馬県庁29階291会議室において「第11回 群馬県地域保健研究発表会」を群馬県との共催により開催した。

関係者83人が参加し、17人の発表者が日頃の研究成果を発表した。

当財団からは、放射線課から発表が行われた。発表演題は「出張型マンモグラフィ検診における安全対策の検討」であった。

(7) 健康づくり助成「あさを賞」の交付

令和5年12月18日、県民の健康増進又は、疾病予防等健康づくりに役立つ調査研究を行った個人又はグループに対して、健康づくり助成「あさを賞」の助成を行うための選考委員会を開催した。

今回の応募のあった7事業のうち6事業に対し、総額1,830千円の助成を交付決定した。

(8) 民間組織の育成強化

- ① 「ひまわりの会」（会員14人）に対し、事務局として支援を行い、その活動を通じ、がん予防、がん検診受診による早期発見の重要性の周知に努めた。
- ② 群馬県地域婦人団体連合会（群馬県結核予防婦人会）と協力し、地域に密着した複十字シール運動や結核予防活動を行った。
- ③ 群馬県内のがん予防と早期発見の推進等を目的として平成19年3月に設立した「群馬県がん患者団体連絡協議会」（会員16団体）に対し、活動費の助成や事務局として会の活動の支援を行い、その活動を通じ、がん予防、早期発見の推進、医療、ケアの向上に向けた活動に努めた。

(9) 結核予防複十字シール運動の推進

結核や肺がん・COPDを含む胸部に関する疾病をなくすため、これらの病気に対する知識の啓発と予防意識高揚を図るとともに、事業資金確保のため結核予防会が全国的に行う募金活動を、群馬県支部である当財団も実施した。

① 募金額、募金方法

ア 募金額：2,736,115円

イ 募金方法：群馬県結核予防婦人会と協力し、群馬県、市町村等へ直接依頼を行ったほか、

事業所等へ郵送募金をした。

② 全国一斉複十字シール運動キャンペーンの開催

令和5年8月1日、群馬県結核予防婦人会とともに、唐木群馬県健康福祉部長を表敬訪問し、「複十字シール運動」の趣旨や、県内の結核の現状を説明するとともに、キャンペーンで配布するグッズを渡し、複十字シール運動への一層の協力を依頼した。

なお、運動期間は、8月1日～12月31日であり、募金の使途は、胸部疾患予防思想の啓発事業、開発途上国への結核対策援助等である。

(10) 賛助会員の募集

がん予防対策や臓器移植推進、または当財団が実施する公益事業資産確保のため、財団賛助会員の加入促進に努めた結果、次のとおりの成果を得た。

・法人会員（一口 10,000円）	51件	510,000円
・団体会員（一口 5,000円）	40件	200,000円
・個人会員（一口 1,000円）	20件	20,000円
	合計	730,000円

(11) 臓器移植推進募金活動

臓器移植の推進と事業資金確保のため、募金活動を積極的に展開した結果、次のとおりの成果を得た。

① 募金額、募金方法

ア 募金額：548,479円

イ 募金方法：群馬県、市町村、警察等へ直接依頼を行った。

(12) 健康教育資料の提供

① 機関誌等の配布

中央関係団体が発行する次の各機関誌等を市町村、医療機関等を配布した。

機関誌名	発行団体	配布部数
予防医学ジャーナル	予防医学事業中央会	312部
複十字	結核予防会	1,254部
対がん協会報	日本対がん協会	2,470部
健康の輪	全国結核予防婦人団体連絡協議会	180部

② 教育資料の貸出し

健康に関する教育推進のために市町村、団体等に対し、乳がん教育用パネル、乳がん教育用視触診モデル等の無料貸出しを行った。

資材	貸出団体数
乳がん教育用パネル	5団体
乳がん教育用視触診モデル	6団体
骨粗しょう症モデル	4団体

(13) 実習生等の受け入れ

5月8日～12日	群馬パース大学保健課学部検査技術学科 臨地実習	4人
6月9日	群馬大学医学部チームワークトレーニング	9人
8月29日～9月2日	高崎健康福祉大学農学部インターンシップ	1人
9月26日～28日	芳賀中学校職場体験	6人
10月18日～20日	大胡中学校職場体験	5人
1月10日	群馬大学医学部保健学科 検査技術科学専攻3年生	35人
2月9日～22日	群馬県立県民健康科学大学導入実習	41人
3月5日	高崎健康福祉大学保健医療学部看護学科	20人

4 県受託事業

(1) がん登録事業

① 受託事業の内容

がん対策に必要な情報の収集及び登録
 登録した情報の管理及び集計・分析
 遡り調査、住所異動確認調査、生存確認調査
 病院等への予後情報提供、研究利用目的データの提供
 その他、事業の推進に必要な事項

② 令和5年委託費

12,021,724円

③ 令和5年度実績

処理件数

届出件数 24,091件

届出施設数 103施設

医療機関別届出状況

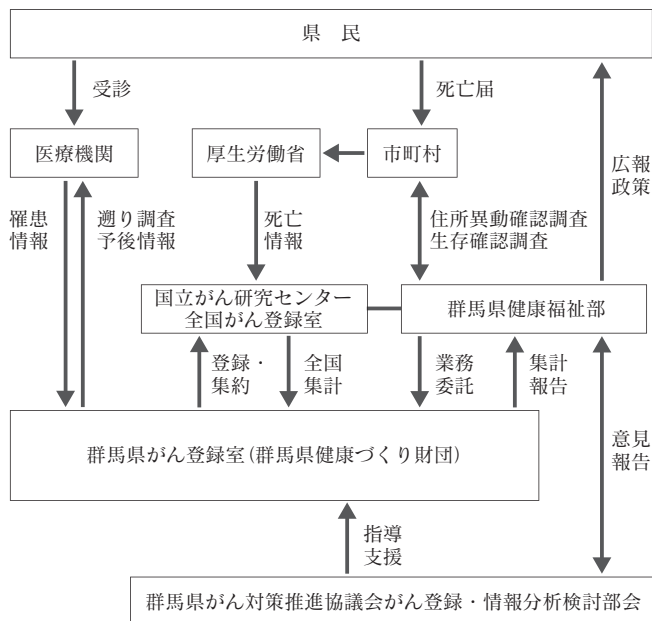
都道府県・地域がん診療連携拠点病院（9施設） 15,316件（64%）

群馬県がん診療連携推進病院（8施設） 4,192件（17%）

民間病院（57施設） 3,967件（16%）

診療所（29施設） 616件（3%）

●事業概要図「全国がん登録」



(2) 臓器移植推進事業

① 事業内容

- ・臓器提供意思表示推進活動
- ・臓器移植の推進
- ・その他

② 令和5年度委託費

930,450円

③ 令和5年度実績

ア 臓器移植啓発資材の配布と携帯推進

- ・新成人への臓器提供意思表示カード等配布業務

リーフレット 6,370枚

小冊子 3,940枚

- ・カード付リーフレット等の設置

県内の施設・企業等に対してカード付リーフレット等の啓発素材の設置を依頼

(令和5年度は文化ホールへ依頼)

イ 臓器移植の普及啓発

- ・講師等派遣事業

県内教育機関、企業、団体へ講師を派遣し臓器移植に関する講演を行う。

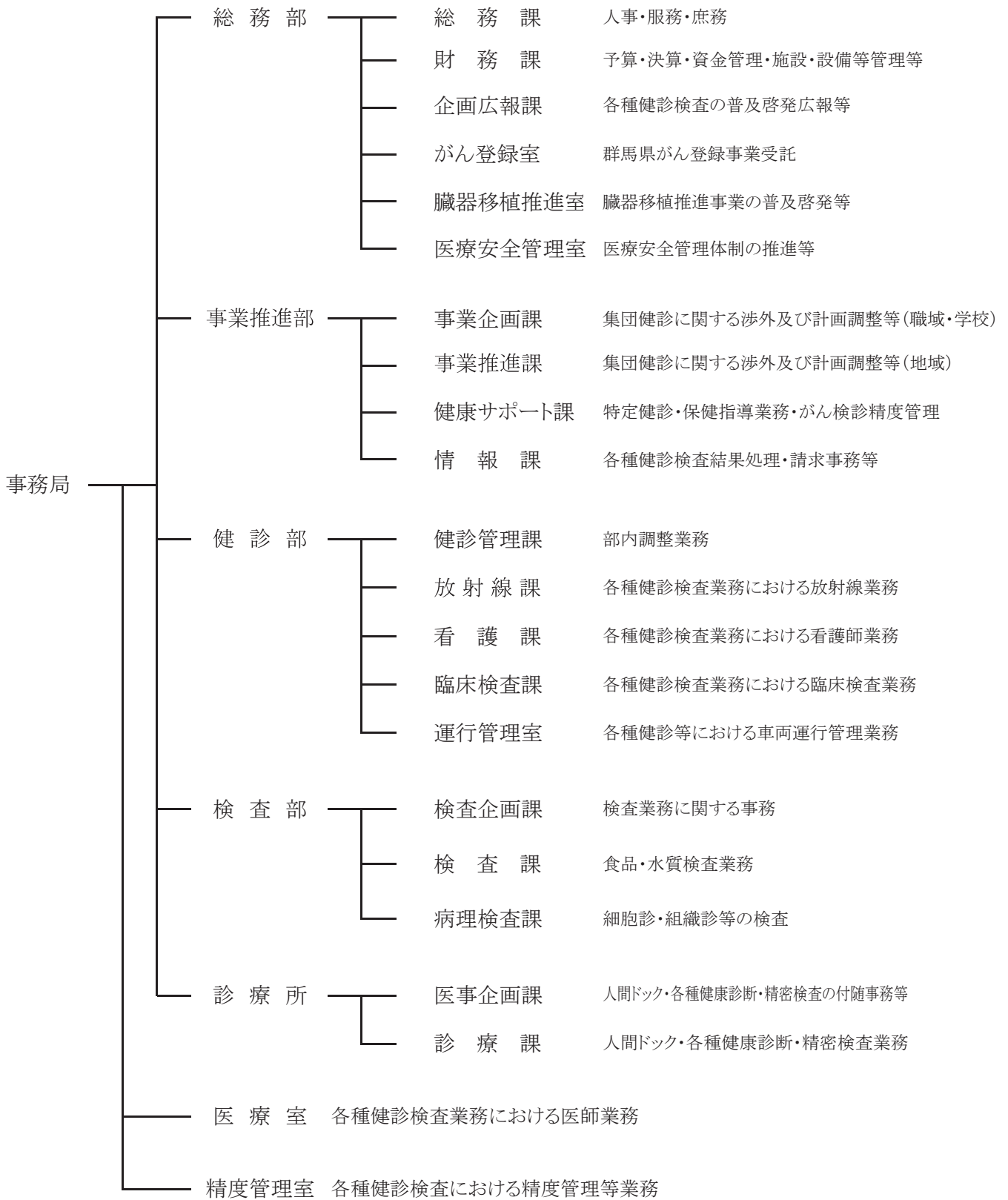
講師派遣 12ヵ所

- ・臓器移植に必要な検査（太田記念病院におけるHLA検査）への支援

HLA検査助成 13件

第2部 資料

1 組織図



2 理事会・評議員会

(1) 理事会

第1回理事会

日 時：令和5年6月14日（水） 午後2時30分～3時30分

場 所：群馬メディカルセンター 2階大ホール

出席理事等：理事10名、監事2名

審 議 事 項：第1号 令和4年度事業報告について

第2号 令和4年度収支決算について

第3号 検診車・移動診療車の整備事業による胸部X線デジタル検診車の整備
について

第2回理事会

日 時：令和6年3月12日（火） 午後2時30分～3時35分

場 所：群馬県健康づくり財団 6階大会議室

出席理事等：理事12名、監事1名

審 議 事 項：第1号 令和6年度事業計画について

第2号 令和6年度収支予算について

第3号 組織規程の一部改正について

第4号 就業規程の一部改正について

第5号 給与規程の一部改正について

第6号 検診車・移動診療車の整備事業による胸部X線デジタル検診車の整備
に関する事業計画の変更について

第7号 利益相反取引の承認について

第8号 評議員会の招集について

役員名簿

令和5年6月29日付（敬称略）

役 職	氏 名	職 名	在任期間
理 事 長	須 藤 英 仁	群馬県医師会長	H28.6.29～
副 事 理 長	西 松 輝 高	群馬県医師会副会長	H28.6.29～
副 事 理 長	村 山 利 之	群馬県歯科医師会長	H25.6.1～
副 事 理 長	田 尻 耕 太 郎	群馬県薬剤師会長	R3.6.24～
専 理 務 事	友 松 寛	群馬県健康づくり財団事務局長	R4.4.1～
常 理 務 事	唐 木 啓 介	群馬県健康福祉部長	R5.6.29～
理 事	今 泉 友 一	群馬県医師会理事	R5.6.29～
理 事	清 宮 和 之	群馬県医師会理事	R2.6.25～
理 事	佐 野 公 永	群馬県歯科医師会常務理事	H28.3.26～
理 事	濱 崎 景	群馬大学大学院医学系研究科 公衆衛生学教授	R3.6.24～
理 事	清 水 聖 義	群馬県市長会長	H25.4.1～
理 事	茂 原 荘 一	群馬県町村会長	H29.6.28～
理 事	吉 田 典 之	上毛新聞社専務取締役	R2.6.25～
理 事	内 堀 剛 夫	群馬銀行常務取締役	R4.6.24～
理 事	神 山 智 子	群馬県看護協会会長	R5.6.29～
監 事	小 林 由 美 子	群馬県会計管理者兼会計局長	R5.6.29～
監 事	川 島 崇	群馬県医師会副会長	H28.6.29～
監 事	櫻 井 裕 之	東和銀行取締役副頭取執行役員	R2.6.25～

(2) 評議員会

第1回評議員会

日 時：令和5年6月29日（木） 午後1時25分～2時25分

場 所：群馬県健康づくり財団 6階大会議室

出席評議員：11名

審 議 事 項：第1号 令和4年度事業報告について

第2号 令和4年度収支決算について

第3号 評議員の選任について

第4号 理事及び監事の選任について

第2回評議員会

日 時：令和6年3月22日（金） 午後1時30分～2時35分

場 所：群馬県健康づくり財団 6階大会議室

出席評議員：14名

審 議 事 項：① 令和6年度事業計画について

② 令和6年度収支予算について

③ 組織規程の一部改正について

④ 就業規程の一部改正について

⑤ 給与規程の一部改正について

評議員名簿

令和5年6月29日付（敬称略）

役職	氏名	職名	在任期間
評議員	須田 浩充	前橋市医師会長	R3.6.24～
評議員	岡本 克実	高崎市医師会長	R3.6.24～
評議員	松下 洋一	群馬県市長会事務局課長	R4.6.24～
評議員	河野 哲也	群馬県町村会事務局長	R5.6.29～
評議員	瀬古 聖一	群馬県医師会事務局長	R2.6.25～
評議員	天田 彰義	群馬県薬剤師会副会長	R3.6.24～
評議員	六本木 雅嗣	群馬県歯科医師会事務局長	H25.6.1～
評議員	大嶋 亘	群馬県看護協会事務局長	R2.6.25～
評議員	神保 京子	群馬県栄養士会長	H30.6.28～
評議員	五十嵐 博	群馬県診療放射線技師会長	R5.6.29～
評議員	井田 伸一	群馬県臨床検査技師会長	R2.6.25～
評議員	久保田 晋	群馬県食品衛生協会会長	R4.6.24～
評議員	高田 勉	群馬県スポーツ協会理事兼事務局長	R1.6.27～
評議員	中村 多美子	群馬県健康福祉部感染症・がん疾病対策課長	R2.6.25～
評議員	橋 憲市	群馬県教育委員会事務局健康体育課長	R3.6.24～
評議員	宮崎 忠司	群馬県保健福祉事務所長会副会長	R5.6.29～

3 各専門委員会

がん検診専門委員会

【胃がん検診専門委員会】

第1回委員会

- 日 時：令和5年9月5日（火）午後7時～8時
場 所：リモート開催
出席者：13名（委員4名、事務局9名）
内 容：(1) 令和5年度市町村別実績状況
(2) プロセス指標に基づく精度管理について

第2回委員会

- 日 時：令和6年2月19日（月）午後7時～8時
場 所：リモート開催
出席者：13名（委員4名、事務局9名）
内 容：(1) 令和5年度市町村別実績状況
(2) プロセス指標に基づく精度管理について
(3) 令和6年度検診実施計画

【子宮頸がん検診専門委員会】

第1回委員会

- 日 時：令和5年9月19日（火）午後6時30分～7時30分
場 所：リモート開催
出席者：15名（委員5名、事務局10名）
内 容：(1) 令和5年度市町村別実施状況
(2) プロセス指標に基づく精度管理について
(3) 不適検体状況について

第2回委員会

- 日 時：令和6年3月19日（火）午後6時30分～7時30分
場 所：リモート開催
出席者：14名（委員4名、事務局10名）
内 容：(1) 令和5年度市町村別実施状況
(2) プロセス指標に基づく精度管理について
(3) 不適検体状況について
(4) 令和6年度検診実施計画

【乳がん検診専門委員会】

第1回委員会

日 時：令和5年9月25日（月）午後7時30分～8時30分

場 所：現地開催

出席者：19名（委員5名、事務局14名）

内 容：(1) 令和5年度市町村別実施状況について
(2) プロセス指標に基づく精度管理について

第2回委員会

日 時：令和6年3月12日（火）午後7時30分～8時30分

場 所：現地開催

出席者：17名（委員4名、事務局13名）

内 容：(1) 令和5年度検診実績状況
(2) プロセス指標に基づく精度管理について
(3) 令和3～5年度乳がん検診（大泉町）検診結果について
(4) 令和6年度実施計画

【肺がん検診専門委員会】

第1回委員会

日 時：令和5年9月11日（月）午後6時45分～7時45分

場 所：リモート開催

出席者：15名（委員5名、事務局10名）

内 容：(1) 令和5年度市町村別実施状況について
(2) プロセス指標に基づく精度管理について

第2回委員会

日 時：令和6年2月26日（火）午後6時45分～7時45分

場 所：リモート開催

出席者：15名（委員5名、事務局10名）

内 容：(1) 令和5年度検診実績状況
(2) プロセス指標に基づく精度管理について
(3) 令和6年度検診実施計画

委員名簿

令和5年6月29日付（敬称略）

胃がん検診専門委員会 委員名簿

No.	氏 名	所 属	備 考
1	萩原 廣明	医療法人榮和会 萩原内科医院 院長	
2	吉川 守也	吉川医院 院長	
3	竹吉 泉	一般財団法人榛名荘 榛名荘病院	
4	茂木 文孝	公益財団法人群馬県健康づくり財団 診療所 院長	

子宮頸がん検診専門委員会 委員名簿

No.	氏 名	所 属	備 考
1	永山 雅之	永山医院 院長、群馬県産婦人科医会 会長	
2	長島 勇	産科婦人科館出張 佐藤病院	
3	岩瀬 明	群馬大学大学院 医療系研究科 産婦人科学講座 教授	
4	鹿沼 達哉	公益財団法人群馬県健康づくり財団 医療室医療顧問	
5	杉原 志朗	公益財団法人群馬県健康づくり財団 検査部病理検査課 医療顧問	

肺がん検診専門委員会 委員名簿

No.	氏 名	所 属	備 考
1	斎藤 龍生	独立行政法人国立病院機構 渋川医療センター 名誉院長	
2	飯塚 邦彦	医療法人ゆかり たかまえ病院	
3	清宮 和之	医療法人社団 清宮医院 院長	
4	茂木 文孝	公益財団法人群馬県健康づくり財団 診療所 院長	
5	杉原 志朗	公益財団法人群馬県健康づくり財団 検査部病理検査課 医療顧問	

乳がん検診専門委員会 委員名簿

No.	氏 名	所 属	備 考
1	藤 井 孝 明	群馬大学大学院 総合外科学講座 准教授 群馬大学医学部附属病院 乳腺・内分泌外科 診療教授	
2	竹 尾 健	マンモプラス竹尾クリニック 院長	
3	鯉 淵 幸 生	独立行政法人国立病院機構 高崎総合医療センター 副院長	
4	遠 藤 敬 一	公益財団法人群馬県健康づくり財団 医療室 医療顧問	
5	茂 木 文 孝	公益財団法人群馬県健康づくり財団 診療所 院長	

4 各種許認可・登録等状況

- (1) 登録衛生検査所
- (2) 全国健康保険協会指定機関
- (3) 計量証明事業登録機関
- (4) 食品衛生登録検査機関
- (5) 日本消化器がん検診学会認定指導施設
- (6) 日本臨床細胞学会施設認定
- (7) マンモグラフィ検診施設認定
- (8) 日本臨床研修協力施設

5 各種学会認定医

氏 名	種 別
津久井 智	社会医学系専門医協会認定指導医、専門医 日本医師会認定産業医 ・ 難病指定医
茂木 文孝	日本内科学会認定内科医 ・ 日本消化器がん検診学会総合認定医
黒岩 敬	日本消化器内視鏡学会認定消化器内視鏡専門医 日本消化器病学会認定消化器病専門医 日本内科学会認定内科医 ・ 日本医師会認定産業医 臨床研修指導医
安部 聡子	日本内科学会認定内科医 ・ 日本医師会認定産業医 日本内科学会総合内科専門医 ・ 臨床研修指導医 難病指定医
大木 俊英	日本医師会認定産業医 ・ 肺がん CT 検診機構認定医師
山口 好是	日本医師会認定産業医 ・ 日本内科学会認定内科医
杉原 志朗	日本病理学会病理専門医 ・ 日本臨床細胞学会細胞診専門医会細胞診専門医
遠藤 敬一	日本乳癌学会乳腺専門医
平井 利和	日本医師会認定産業医 ・ 肺がん CT 検診認定医師 日本呼吸器外科学会指導医 ・ 日本外科学会専門医
鹿沼 達哉	日本産科婦人科学会専門医

6 職員資格関係（各種学会認定職種）

(1) 細胞検査士（日本臨床細胞学会 認定）

宮岡 孝 松井 通代 松村 純一 渡辺 敦子 外山 秀人
小澤美奈津 梶原 栄子 田村 晴美

(2) 胃がん検診専門技師（日本消化器がん検診学会 認定）

品川 勇 引田 輝久 金古 努 佐藤 猛 阿久澤雅敏
高柳 篤文 山口 透 蛭川 雅秀 蛭間 涉 塩原 龍彦

(3) 内視鏡技師（日本消化器内視鏡学会 認定）

根岸 幸子

(4) 検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師（日本乳がん検診精度管理中央機構 認定）

大川 浩代 横堀 絵美 石川 瞳 黛 由希子 新井奈津美
野村 桃加 高橋 裕美 新井 典子 狩野 実夏

(5) 乳がん検診超音波検査実施技師（日本乳がん検診精度管理中央機構 認定）

前野 恵子 大塚恵美子 清水 真理 松村 美栄 長部 千恵
登坂かおり 梶原 栄子 高橋 佳子 佐々木杏菜

(6) 超音波検査士（日本超音波医学会 認定）

土屋 仁

(7) 肺がん CT 認定技師（肺がん CT 検診認定機構 認定）

引田 輝久

7 機器整備の状況

機械器具

分類	機器名	製造会社名	規格・型式	数量	
胸部検診	肺野ファントム	(株)京都科学	PBU-SS-2	1	
循環器健診	視力計	(株)東洋メディカル	NS-050	1	
	視力計	(株)東洋メディカル	NS-050	1	
	視力計	(株)ニデック	NV-300	2	
	視力計	(株)トーマーコーポレーション	CA-1000	6	
	オートレフラクトメーター	(株)ニデック	AR-310A	2	
	オートレンズメーター	(株)タカギセイコー	LM-50α	1	
	オートレンズメーター	(株)ニデック	LM-600P	1	
	無散瞳眼底カメラ	(株)トプコン	TRC-NW300	1	
	無散瞳眼底カメラ	キャノンライフケアソリューションズ(株)	CR-2AF	4	
	聴力計	GN リサウンドジャパン(株)	DA-301	4	
	聴力計	リオン(株)	オージオメーター AA-54A	1	
	聴力計	東日本リオン(株)	AA-57	2	
	聴力計 (三分法)	東日本リオン(株)	AA-58	5	
	身長体重計	(株)エー・アンド・テイ	AD-6228P	1	
	身長体重計	(株)エー・アンド・テイ	AD-6228AP	2	
	身長体重計	(株)インボディ・ジャパン	BSM370	2	
	身長体重計	(株)エー・アンド・テイ	AD-6350	2	
	身長体重計	(株)タニタ	TBF-215	1	
	体内脂肪計	(株)タニタ	TBF-310	1	
	車椅子用体重計	(株)タニタ	PW-650A	1	
	体重計	(株)タニタ	WB-260A	3	
	心電計	フクダ電子(株)	FCP-7641	1	
	心電計	フクダ電子(株)	FCP-8700	4	
	血圧計	フクダコーリン(株)	BP-103i II	10	
	血圧計	フクダコーリン(株)	HPB-1600-3	16	
	ポータブル超音波診断装置	GEヘルスケア・ジャパン(株)	LOGIQe	1	
	ポータブル超音波診断装置	GEヘルスケア・ジャパン(株)	LOGIQeV2	1	
	ポータブル超音波診断装置	東芝メディカルシステムズ(株)	Viamo	2	
	ポータブル超音波診断装置	日立ヘルスケアシステムズ(株)	Nobles	1	
	子宮頸がん検診	オートクレーブ	(株)ウドノ医機	KRECA-559V/SP	1
	乳がん検診	減圧沸騰洗浄機	三浦工業(株)	RQ-50E	1
		ドライイメージャー	富士フイルムメディカル(株)	DRYPIX4000	1
	骨密度検診	超音波骨密度測定装置	(株)日立製作所	AOS-100NW	1
骨密度検診	超音波骨密度測定装置	富士フイルムヘルスケア(株)	AOS-100SA	1	
腸内細菌検査	リアルタイム PCR 装置	タカラバイオ(株)	Thermal Cyclers Dice Real Time System III (Cy5) With PC	1	
	低温恒温機	東京理化工機(株)	LTI-1001SD	1	
	恒温培養器	アドバンテック(株)	CV-600	2	
	薬品保冷庫	三洋電機(株)	MPR-510	1	
	薬用冷蔵庫	日本フリーザー(株)	NC-ME50ECHC	1	
	薬品保冷庫	三洋電機(株)	MPR-511	2	
	業務用冷蔵庫	ホンサキ(株)	HR-150ST	1	
	乾熱滅菌器	(株)平山製作所	DM-600M	1	
	高圧蒸気滅菌器	(株)平山製作所	HV-85	1	
	高圧蒸気滅菌器	(株)平山製作所	HVN-85	1	
	安全キャビネット	日本エアーテック(株)	BHC-1004 II A	1	
	液状化検体細胞診標本作製装置	日本BD(株)	BD トータリス マルチプロセッサ & スライドプレップ	1	
	固定包埋装置	サクラファインテックジャパン(株)	VIP-5-F10	1	
	パラフィン包埋ブロック作成装置	サクラファインテックジャパン(株)	ティシュー・テック TEC5	1	
パラフィン包埋ブロック作成装置	サクラファインテックジャパン(株)	ティシュー・テック TEC プラス	1		
滑走式マイクローム	サクラファインテックジャパン(株)	IVS-410	3		
パラフィン溶融器	(株)ヒラサワ	テーハー式・パラフィン溶融器 SC-CP	1		
自動染色装置	自井松器機(株)	TSC-120W	1		
自動染色装置	(株)タバタエンジニアリング	TS-800	1		
超低温フリーザー	パナソニック(株)	MDF-C8V1-PJ	1		
プレバート自動封入装置	明星電気(株)	RCM-3650- III	1		
プレバート自動封入装置	明星電気(株)	RCM-3650	1		
プレバート自動封入装置	明星電気(株)	RCM-450V	1		
生物顕微鏡	オリンパス(株)	BX50	3		
生物顕微鏡	オリンパス(株)	BX40	4		
生物顕微鏡	オリンパス(株)	BX45	2		
生物顕微鏡	(株)ニコン	E400	6		
生物顕微鏡	(株)ニコン	55i	2		
生物顕微鏡	カールツァイス(株)	AxioScope2plus	1		
生物顕微鏡	カールツァイス(株)	AxioScopeA1	1		
学校保健検査	心電計	フクダ電子(株)	FCP-7641	8	
	全自動血圧計	フクダコーリン(株)	HBP-103i II	6	
	尿化学分析装置	シーメンスヘルスケア(株)	クリニテック アドバンタス	1	
	多本架低速冷却遠心機	(株)トミー精工	LX-140	1	
	システム顕微鏡	(株)ニコン	E400	3	
	システム顕微鏡	オリンパス(株)	BX41	3	
	システム顕微鏡	エービー・サイエックス(株)	API3200	1	
先天性代謝異常常検査	高速液体クロマトグラフ	(株)島津製作所	LC-20Asystem	1	
	窒素ガス発生装置	システム・インスツルメンツ(株)	T07E-SDA	1	
	蛍光マイクロプレートリーダー	コロナ電気(株)	MTP-600F	1	
	吸光マイクロプレートリーダー	コロナ電気(株)	MTP-310	1	
	恒温器	ヤマト科学(株)	IC-802	1	
	卓上多本架遠心機	(株)久保田製作所	KN-70	1	
	プレートウォッシャー (96ウェル処理)	バイオテック(株)	FLX405	1	
	プレートウォッシャー (8ウェル処理)	バイオテック(株)	AMW-8R	1	
	新生児拡大スクリーニング検査機器	サーモフィッシャーサイエンティフィック	QuantStudio 5 リアルタイム PCR システム	1	
	全自動蒸留水製造装置	アドバンテック(株)	GS-200	1	
	バイオメディカルフリーザー	PHC(株)	MDF-MU539H-PJ	1	
	薬用保冷庫	三洋電機(株)	MPR-411F	1	
	低温インキュベーター	パナソニック(株)	MIR554	1	
	送風循環縦型乾燥機	アドバンテック(株)	FG220	1	

分類	機器名	製造会社名	規格・型式	数量
	高圧蒸気滅菌器	(株)平山製作所	HV-50	1
	ドラフトチャンバー	(株)ダルトン	DS-11K-1500	1
食品検査	高速液体クロマトグラフ	日本ウォーターズ(株)	ACQUITY Arc システム	1
	ガスクロマトグラフ	(株)島津製作所	GC-2010AF	1
	原子吸光分析装置	サーモフィッシャーサイエンティフィック(株)	iCE3500Z	1
	高速液体クロマトグラフ質量分析計	日本ウォーターズ(株)	ACQUITY TQD	1
	ガスクロマトグラフ質量分析計	(株)島津製作所	GCMS-QP2010	1
	ケルダール分解装置	フォス・ジャパン(株)	DT-20B	1
	ケルダール自動蒸留滴定装置	フォス・ジャパン(株)	ケルテック 8400	1
	マルチプレンダーミル	(株)日本精機製作所	BLAS-502	1
	蒸留水製造装置	アドバンテック東洋(株)	PF362NC	1
	水蒸気蒸留装置	宮本理工工業(株)	STM-3W	1
	ホモジナイザー	(株)エスエムテ	PH91	1
	スクラパ式ドラフトチャンバー	(株)ダルトン	DF-17DK	1
	ロータリー式エバポレーター	東京理化学器械(株)	N-1000	1
	電気マッフル炉	(株)いすゞ製作所	STR-26K	1
	ワッフル炉	ヤマト科学(株)	FO711	1
	パーティカルシェーカー	(株)スギヤマゲン	VS-S	1
	真空定温乾燥器	アドバンテック(株)	VR-320	1
	凍結乾燥機	東京理化学器械(株)	FD-5N	1
	食物繊維分析装置	フォス・ジャパン(株)	Fibertec 1023、1024	1
	超純水製造装置	メルク(株)	Direct-Q3UV	1
	アルミブロック恒温槽	東京理化学器械(株)	MG2000	1
	電子天秤	ザルトリウス・ジャパン(株)	AC211S-MS	1
	マルチパイオクーラー	日本フリーザー(株)	KGT-4056HC	1
	バイオメディカルクーラー	日本フリーザー(株)	UKS-5000BF3	1
	バイオメディカルクーラー	三洋電機(株)	MDF-U537	1
	低温インキュベーター	東京理化学器械(株)	LTI-700E	3
	低温恒温器	ヤマト科学(株)	IQ820	1
	インキュベーター	ヤマト科学(株)	IN604	1
	冷凍冷蔵庫	パナソニック(株)	SRR-U1261C2	1
	高圧蒸気滅菌器	(株)平山製作所	HV-85 II LB	1
	恒温水槽	トーマス科学器械	T-105	1
	乾熱滅菌器	ヤマト科学(株)	SG-800	1
	自動秤量希釈装置	IUL	スマートダイリユーター 10DL0300	1
	ホモジナイザー	(株)セントラル科学貿易	マスティケーター PD 型	1
	システム顕微鏡	オリンパス(株)	BH2	1
	薬用冷蔵ショーケース	三洋電機(株)	MPR-1013	1
	バイオメディカルフリーザー	三洋電機(株)	MDF-U441	2
	プレハブ式冷蔵庫	(株)EBAC	防塵式大型低温室	1
水質検査	恒温培養器	アドバンテック(株)	CI-612	1
	薬用冷蔵ショーケース	パナソニック(株)	MPR-515	1
	ドラフトチャンバー	(株)ダルトン	PSG-75K-1500	1
	溶存酸素計	ザイレムジャパン(株)	4010-2W	1
	ミール全自動洗浄機	久保田商事(株)	PG8583	1
診療所健診	デジタルX線胸部撮影装置	東芝メディカルシステムズ(株)	MRAD-D50S/S5	1
	デジタルX線TV撮影装置	東芝メディカルシステムズ(株)	DREX-W20P/26	2
	マンモグラフィX線撮影装置	富士フイルムメディカル(株)	AMULET Innovality	1
	X線CTスキャナ装置	東芝メディカルシステムズ(株)	Alexion16 2.0M	1
	マンモ用画像読取装置	富士フイルムメディカル(株)	FCR PROPECT CS Plus	1
	X線フィルムデジタイザ	(株)日立製作所	CP-X600MAF+IET3 (RIS付)	1
	超音波診断装置	富士フイルムヘルスケア(株)	ARIETTA750	1
	超音波診断装置	(株)日立製作所	HI VISION Prirus	1
	視力計	(株)ニテック	NV-300	1
	眼底カメラ	(株)トプコン	TRC-NW300	1
	眼圧計	(株)トプコン	CT-90A	1
	聴力計	リオン(株)	AA-56	1
	身長体重計	(株)エー・アンド・デイ	AD-6551-A9	1
	心電計	フクダエム・イー工業(株)	C-630DXW	1
	スパイロメーター	チェスト(株)	HI-801	1
	血圧計	フクダコーリン(株)	BP-103I II	3
	子宮頸がん健診診察台	タカラベルモント(株)	DG-770N ES19	1
	オートクレーブ	三浦工業(株)	ST-6EL	1
	上部消化管ビデオスコープ	オリンパス(株)	XQ 260	3
	上部消化管ビデオスコープ	オリンパス(株)	XP 260N	2
	上部消化管ビデオスコープ	オリンパス(株)	XP 260NS	2
	上部消化管ビデオスコープ	オリンパス(株)	Q 260	1
	上部消化管ビデオスコープ	オリンパス(株)	PQ 260	1
	上部消化管ビデオスコープ	オリンパス(株)	XP 260NS	1
	上部消化管ビデオスコープ	オリンパス(株)	XP290N	3
	光源装置	オリンパス(株)	LUCERA CLV-260NBI	2
	光源装置	オリンパス(株)	LUCERA CLV-290	1
	ビデオ画像プロセッサ	オリンパス(株)	CV-260SL	2
	ビデオ画像プロセッサ	オリンパス(株)	CV-290	1
	高解像液晶モニター	オリンパス(株)	OE191H	2
	高解像液晶モニター	オリンパス(株)	OE262H	1
	画像記録装置	オリンパス(株)	EICP-S	3
	ビデオプリンター	オリンパス(株)	OEP-4 HDTV	2
	ビデオプリンター	オリンパス(株)	OEP-5	1
	内視鏡吸引機	オリンパスマーケティング(株)	KV-6	2
	胃内視鏡洗浄機	ASP Japan(同)	エンドクレンス Neo-S Advanced	5
	超音波洗浄機	オリンパス(株)	ENDOSONIC	1
	大腸ビデオスコープ	オリンパス(株)	CF-Q260A	2
	光源装置	オリンパス(株)	LUCERA CLV-260NBI	1
	ビデオ画像プロセッサ	オリンパス(株)	LUCERA CV-260SL	1
	高解像液晶モニター	オリンパス(株)	OE191H	1
	画像記録装置	オリンパス(株)	EICP-S	1
	ビデオプリンター	オリンパス(株)	OEP-4 HDTV	1
	大腸内視鏡吸引機	新鋭工業(株)	TAF-2000DSP	1
	大腸内視鏡洗浄機	オリンパス(株)	EW-30	1
	薬用冷蔵ショーケース	PHC(株)	MPR-S300H-PJ	1

検診車

分類	車名	初度登録年月	車体		搭載機器		備考
			製造会社名	規格・型式	製造会社名	規格・型式	
胸部検診車	コスモス3号	平成8年10月	日野自動車(株)	KC-FD2JGBA	X線装置	キヤノンメディカルシステムズ(株)	SREX-A32B/S2
	コスモス1号	平成13年10月	日野自動車(株)	KK-FD1JGDA	DR装置	キヤノンライフケアソリユーションズ(株)	CXDJ-40G Compact
	コスモス8号	平成15年3月	三菱ふそうトラック・バス(株)	KL-FK74HIZ	X線装置	日立メテイク	DHM-1530SX
	コスモス9号	平成17年12月	日野自動車(株)	ADG-FC7JGWW	DR装置	キヤノンライフケアソリユーションズ(株)	CXDJ-40G Compact
	コスモス13号	平成26年7月	日野自動車(株)	TKG-FC7JHAG	X線装置	日立製作所	RadnextCS
	コスモス16号	平成27年10月	日野自動車(株)	TKG-FC7JHAG	DR装置	キヤノンライフケアソリユーションズ(株)	CXDJ-40G Compact
	コスモス17号	令和3年8月	三菱ふそうトラック・バス(株)	2KG-FK75F	DR装置	日立製作所	RadnextCS
	カロライナ6号	平成7年3月	日産ディーゼル工業(株)	U-MK210EN 改	(心電計・眼底カメラ)	キヤノンライフケアソリユーションズ(株)	CXDJ-40G Compact
	カロライナ7号	平成13年3月	いすゞ自動車(株)	KK-FRD35H4	(心電計・眼底カメラ)	キヤノンライフケアソリユーションズ(株)	CXDJ-40G Compact
胃がん検診車	カロライナ8号	平成16年3月	三菱ふそうトラック・バス(株)	KK-FK64HH	(心電計・眼底カメラ)	キヤノンライフケアソリユーションズ(株)	SREX-A32B
	会場車1号	平成7年12月	トヨタ自動車(株)	KC-HZB50	(心電計・眼底カメラ)	キヤノンメディカルシステムズ(株)	CXDJ-401G Compact
	ひまわり21号	平成9年3月	三菱ふそうトラック・バス(株)	KC-FP515LX	X線装置	キヤノンメディカルシステムズ(株)	CXDJ-401G Compact
	ひまわり23号	平成12年3月	日産ディーゼル工業(株)	KC-CK52ALH	DR装置	キヤノンメディカルシステムズ(株)	CXDJ-401G Compact
	ひまわり26号	平成29年1月	日野自動車(株)	QPG-FH1ALDG	DR装置	日立製作所	ESPACIO AVANT
	ひまわり25号	平成21年1月	いすゞ自動車(株)	PDG-CY77Q8J	X線装置 (胃部)	東芝メディカルシステムズ(株)	SREX-D32C
	胃・胸部検診車				DR装置 (胃部)	富士フイルムヘルスケア(株)	ESPACIA AVANT
					X線装置 (胸部)	東芝メディカルシステムズ(株)	SREX-A32B/1型
					DR装置 (胸部)	キヤノンライフケアソリユーションズ(株)	CXDJ-40G Compact
子宮頸がん検診車	ビーナス10号	平成11年3月	日野自動車(株)	KG-HU3KLCA 改	子宮頸がん検診台	タカラベルモント(株)	DG-315
	ビーナス11号	平成15年3月	日野自動車(株)	KL-HU2PLEA	子宮頸がん検診台	タカラベルモント(株)	DG-770
マンモグラフィ検診車	ビーナス12号	令和5年1月	日野自動車(株)	2PG-GD2ABG	子宮頸がん検診台	タカラベルモント(株)	DG-770
	カトレア3号	平成17年3月	日産ディーゼル工業(株)	KL-CK53A 改	X線装置	キヤノンメディカルシステムズ(株)	MGU-1000D
	カトレア5号	平成17年4月	日産ディーゼル工業(株)	KL-CK53A 改	DR装置	キヤノンメディカルシステムズ(株)	MGU-1000D
	カトレア6号	平成25年3月	日野自動車(株)	QKG-FQ1EWBJ	X線装置	富士フイルムメディカル(株)	AMULET ELITE

8 全国大会等の状況

(1) 結核予防会関係行事

- ① 全国大会
 - ・期間：令和6年3月14日～15日
 - ・場所：リーガロイヤルホテル東京
- ② 関東甲信越地区ブロック会議
 - ・期間：令和5年11月10日
 - ・場所：メルヴェーユ（横浜市）
- ③ 全国支部事務局長会議
 - ・期間：令和6年1月23日
 - ・場所：アルカディア市ヶ谷
- ④ 結核予防関係婦人団体中央講習会
 - ・期間：令和6年2月7日～8日
 - ・場所：KKRホテル東京

(2) 予防医学事業中央会関係行事

- ① 予防医学事業推進全国大会
 - ・期間：令和5年10月26日～27日
 - ・場所：島根県松江市「ホテル一畑」
- ② 全国情報統計研修会開催
 - ・期間：令和5年8月24日～25日
 - ・場所：群馬県高崎市「エテルナ高崎」
- ③ 予防医学事業推進関東甲信越地区会議
 - ・期間：令和5年12月7日
 - ・場所：長野県長野市「ホテルメトロポリタン長野」
- ④ 技術研究会議
 - ・期間：令和6年3月7日～8日
 - ・場所：神奈川県横浜市「関東学院大学 横浜・関内キャンパス」

(3) 日本対がん協会関係行事

- ① がん征圧全国大会
 - ・期間：令和5年9月7日～8日
 - ・場所：山口県山口市「かめ福オンプレイス」
- ② 全国支部事務局会議
 - ・期間：令和5年7月14日
 - ・場所：国立がん研究センター

③ 関東甲信越支部連絡協議会

- ・ 期間：令和5年11月17日
- ・ 場所：茨城県水戸市「ホテルテラスザガーデン水戸」

(4) その他

四県会議

- ・ 期間：令和5年7月27日（木）
- ・ 場所：茨城県水戸市「水戸プラザホテル」

9 学会・研修会等参加状況

No.	主 催	研 修 名	期 間	場 所
1	群馬県職業能力開発協会 / 群馬県生産性本部	令和5年度リーダー研修	各日	県内
2	群馬県生産性本部	～仕事の基本と心構え～ 新入社員研修	4月5日	群馬県前橋市
3	公益財団法人日本電信電話ユーザ協会	ビジネスマナー研修 (初級)	4月18日	WEB
4	柴田化学株式会社	環境分析ウェビナー	4月14日	WEB
5	群馬県生産性本部	ビジネスコミュニケーション 基礎コース ～知と情熱のコミュニケーション～	7月4日	群馬県前橋市
6	公益財団法人日本対がん協会	第4回対がんセミナー	5月12日	WEB
7	日本がん登録協議会 (青森県)	日本がん登録協議会第32回学術集会	6月8日～6月10日	青森県青森市
8	群馬県生産性本部	DX の推進	6月21日	群馬県前橋市
9	日本臨床細胞学会	第64回日本臨床細胞学会総会 (春期大会)	6月16日～7月21日	WEB
10	群馬県公安委員会	安全運転管理者 (正・副) 講習	各日	群馬県前橋市
11	一般社団法人日本臨床衛生検査技師会	第72回日本医学検査学会 inGUNMA	5月20日	群馬県高崎市
12	公益財団法人日本電信電話ユーザ協会	メンタルヘルスオンラインセミナー	5月30日	群馬県前橋市
13	一般財団法人日本保健指導協会	第四期特定健診・特定保健指導の見直しについて	5月23日	WEB
14	社会福祉法人群馬県社会福祉協会	令和5年度会計研修 (基礎編)	7月5日	WEB
15	公益財団法人日本電信電話ユーザ協会	2023年度 e ラーニング研修	希望日時	WEB
16	群馬県消化器内視鏡技師会	内視鏡機器取扱い講習会	8月6日	群馬県高崎市
17	一般財団法人食品薬品安全センター 秦野研究所	第14回 FDSC 食品衛生精度管理セミナー	7月28日	東京都大田区
18	群馬県生産性本部	効率的・効果的な会議・ミーティングの進め方	7月5日	群馬県前橋市
19	公益社団法人群馬県医師会	令和5年度学校心臓検診講習会 (WEB 講演会)	7月26日	WEB
20	公益財団法人群馬県看護協会	現場で活かす感染対策の基礎知識	7月11日	群馬県前橋市
21	安中市役所健康づくり課予防係	安中市国保特定保健指導従事者研修会	6月23日	群馬県安中市
22	公益財団法人公益法人協会	会計セミナー「基礎編」	7月18日～7月19日	東京都千代田区

No.	主催	研修名	期間	場所
23	一般社団法人日本超音波検査学会	第48回日本超音波検査学会学術集会	6月10日～6月11日	大阪府 大阪市
24	国際医療リスクマネジメント学会	医療安全基礎講座2023	7月5日～7月7日	WEB
25	日本臨床細胞学会	第83回細胞検査士教育セミナー	9月15日～10月2日	WEB
26	日本人間ドック学会	第64回日本人間ドック学会学術大会	9月1日～9月2日	群馬県 高崎市
27	関東臨床細胞学会・群馬臨床細胞学会	第37回関東臨床細胞学会学術集会	9月16日	群馬県 高崎市
28	一般社団法人日本環境衛生センター	令和4年度環境測定分析統一精度管理調査結果説明会	6月23日	WEB
29	日本マスキング学会	第50回日本マスキング学会学術集会	8月25日～8月26日	WEB
30	公益財団法人群馬県看護協会	上手く伝わるプレゼンテーションの方法	8月31日	群馬県 前橋市
31	公益財団法人群馬県看護協会	看護と倫理（基礎編）～やさしい看護倫理／臨床における倫理とは何かを考える～	8月17日	群馬県 前橋市
32	栄研化学株式会社	みなとみらいフォーラム	6月9日	WEB
33	サーモフィッシャーサイエンティフィック株式会社	初めてのリアルタイムPCRセミナー1 もっと基礎からわかるリアルタイムPCR	8月4日	WEB
34	群馬県生産性本部	『職場を生き生きさせる5Sセミナー』	9月14日	群馬県 前橋市
35	群馬県産業保健総合支援センター	化学物質規制の見直しについて	7月27日	群馬県 前橋市
36	タカラバイオ株式会社	遺伝子検査基礎セミナー	7月27日	群馬県 前橋市
37	シグマアルドリッチジャパン・セントラル科学貿易・サイエックス	結果の妥当性を確保できるラボラトリであり続けるために-2023-	8月4日	群馬県 前橋市
38	公益財団法人群馬県看護協会	看護研究を支援するリーダー（先輩看護師）のための研修	9月1日	群馬県 前橋市
39	日本乳がん検診精度管理中央機構	乳腺超音波技術更新講習会	9月9日	東京都 港区
40	一般社団法人日本不整脈心電学会	心電図フロンティアセミナー2023秋（中・上級コース）	10月16日	WEB
41	日本消化器がん検診学会関東甲信越支部	第82回日本消化器がん検診学会関東甲信越地方会	9月23日～9月24日	長野県 長野市
42	一般社団法人日本家族計画協会	初回面談を成功させる動機づけ編	9月22日	WEB
43	群馬県生産性本部	部下育成のステッププランを考える	10月25日	群馬県 前橋市
44	群馬県生産性本部	目標設定と面接の実践コース	10月23日	群馬県 前橋市
45	日本婦人科がん検診学会	第32回日本婦人科がん検診学会総会・学術講演会	10月27日	WEB

No.	主 催	研 修 名	期 間	場 所
46	群馬県生産性本部	表計算ソフトを活用した統計データ解析	11月9日	群馬県前橋市
47	群馬県生産性本部	作業手順の作成によるノウハウの継承	11月8日	群馬県前橋市
48	日本臨床細胞医学会	第62回日本臨床細胞学会秋期大会	11月16日～12月11日	WEB
49	日本乳がん検診精度管理中央機構	検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師更新研修会	10月22日	東京都港区
50	ANA ビジネスソリューション株式会社	「アタリマエ」からの脱却～ANA 旅客乗務員の挑戦、Peach 誕生の秘話～	10月26日	WEB
51	がん対策推進企業アクション事務局	令和5年度がん検診受診率向上推進全国大会第14回全国健康増進協議会講演会	10月4日	WEB
52	群馬県衛生管理者協議会	令和5年度群馬県衛生管理者協議会全体会議・交流会	12月12日	群馬県前橋市
53	日本消化器内視鏡技師会	第40回関東消化器内視鏡技師学会	11月19日	東京都千代田区
54	群馬県健康福祉部健康長寿社会づくり推進課	令和5年度特定健診・特定保健指導実践者研修会 - 第4期特定健診・特定保健指導に向けて -	11月15日	WEB
55	一般社団法人AOAC日本	「食品表示基準の最新動向～栄養成分表示と分析法～」	10月24日	WEB
56	一般社団法人群馬県計量協会	環境白書研修会	11月8日	WEB
57	日本乳癌検診学会	第33回日本乳癌検診学会学術総会	11月24日～11月25日	WEB
58	日本乳がん検診精度管理中央機構	検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師更新研修会	11月11日	東京都港区
59	特定非営利活動法人超音波スクリーニングネットワーク	超音波スクリーニング研修講演会2023東京	12月25日～12月29日	WEB
60	一般社団法人食品衛生登録検査機関協会	令和5年度「器具・容器包装研修会」	11月17日	WEB
61	全国健康保険協会群馬支部	特定保健指導担当者合同会議	1月25日	群馬県前橋市
62	群馬県産業経済部労働政策課	障害者雇用研修会	2月21日	WEB
63	公益財団法人日本対がん協会	第44回保健師・看護師研修会（オンライン）	12月20日	WEB
64	日本不整脈心電学会	心電図検定2級試験	12月10日	東京都大田区
65	群馬県健康長寿社会づくり推進課健康増進係	令和5年度禁煙支援・受動喫煙防止対策支援者研修会	12月18日	WEB
66	群馬県生産性本部	『組織力強化のための管理』	1月23日	群馬県前橋市
67	公益財団法人日本電信電話ユーザ協会	2023年度「ビジネスマナー基礎研修」	1月10日～1月31日	WEB
68	公益財団法人予防医学事業中央会	令和5年度保健指導研修会	1月25日～1月26日	東京都新宿区

No.	主 催	研 修 名	期 間	場 所
69	セコムトラストシステムズ株式会社	BCP のはじめの一步 初動対応マニュアルの作り方ポイント解説無料 Web セミナー	1月17日	WEB
70	富士フィルム和光純薬株式会社	試薬の安全な取り扱い講習会	1月10日～3月30日	WEB
71	一般社団法人食品衛生登録検査機関協会	令和5年度「食品添加物研修会」	2月29日	WEB
72	株式会社ヒューマンキャピタル研究所	適性検査H c i - A s 活用勉強会	1月12日、1月17日	WEB
73	島津ダイアグノスティクス株式会社	レジオネラ属菌精度管理サーベイセミナー	1月26日	WEB
74	群馬県診療放射線技師会	令和5年度第3回群馬県がん検診エックス線撮影従事者講習会	12月12日	群馬県前橋市
75	日本乳がん検診精度管理中央機構	検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師更新研修会	2月24日	東京都
76	群馬県医師会及び群馬県臨床検査技師会	令和5年度群馬県臨床検査精度管理調査報告会	2月26日	群馬県前橋市
77	日本対がん協会・結核予防会 共催	令和5年度診療放射線技師研修会 zoom によるオンライン研修会	2月28日	WEB
78	マンモグラフィトレーニングスクール	マンモグラフィトレーニング講習会	2月20日	群馬県前橋市
79	群馬県健康福祉部健康長寿社会づくり推進課	令和5年度糖尿病予防研修会・慢性腎臓病予防研修会	2月6日、2月15日	WEB
80	自主研修	5 講座	各日	各所

10 研究発表

令和5年度（第11回）群馬県地域保健研究発表会（令和6年3月19日）	
演 題 名	発表者氏名
16. 出張型マンモグラフィ検診における安全対策の検討	新井 典子 (健診部放射線課 主任)

16 出張型マンモグラフィ検診における安全対策の検討

(公財)群馬県健康づくり財団

○新井 典子 高橋 裕美 石川 瞳
 黛 由希子 野村 桃加 新井 奈津美
 狩野 実夏 櫻井 瑠莉 湯浅 隆一
 佐藤 猛 荻野 順子 安部 聡子

はじめに

健(検)診現場においてヒヤリハット事例が発生した場合、迅速な判断と対応が必要である。2021年10月1日の診療放射線技師法施行規則省令改正で、「医師の立ち合いなしで診療放射線技師による乳房エックス線撮影が可能」となった。これを機に管理マニュアルを見直し、緊急時の対応を含めた安全対策の検討を行ったので報告する。

背景

当財団での令和4年度の対策型乳がん検診実施方法は、県内33市町村のうち、マンモグラフィ単独検診22市町村、視触診と併用10市町村、超音波と併用1市町村であった。

過去5年間で10市町村が視触診を廃止、マンモグラフィ単独検診へ移行した(図1)。医師不在で撮影する機会が増えている。

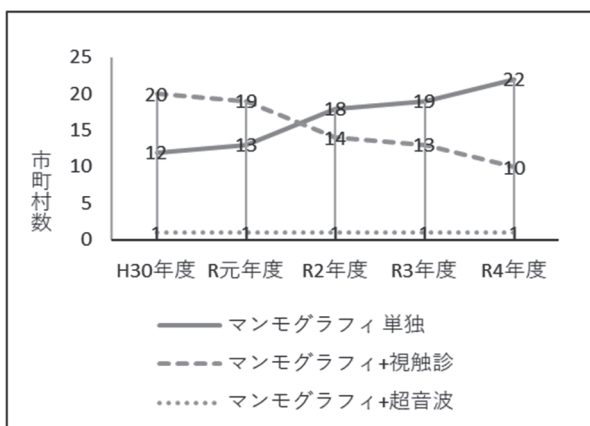


図1 乳がん検診実施方法の推移

過去5年間のマンモグラフィ検診は105,060件であり、ヒヤリハット報告件数は、そのうちの3件であった。体調不良が2件、撮影による

痛みが1件で、いずれも現場に医師が在席していた。

安全対策の検討

- ①現場の状況を記載するための健(検)診情報書を作成(図2)。財団と市町村あるいは事業所との情報共有ができるようになった。
- ②救急救命士の監修のもと、緊急時対応フローチャートを作成(図3)。救急搬送要請の判断、周囲への応援要請、受診者の状態確認など、対応の手順を簡易的に作成。
- ③救急救命士によるAED講習会の実施。救命処置の流れ、心肺蘇生法やAEDの使用方法を習得した。
- ④検診車内備品(血圧計、経口補水液、バスタオル)の整備。備品の点検や補充を行った。

健(検)診情報書

実施日 令和 年 月 日			
ふりがな 受診者氏名・年齢	性別	男・女	
実施主体名	健(検)診 種別		
主訴			
時間	経過概略		

(公財)群馬県健康づくり財団
 記録簿
 Tel. 027-269-7814

図2 健(検)診情報書

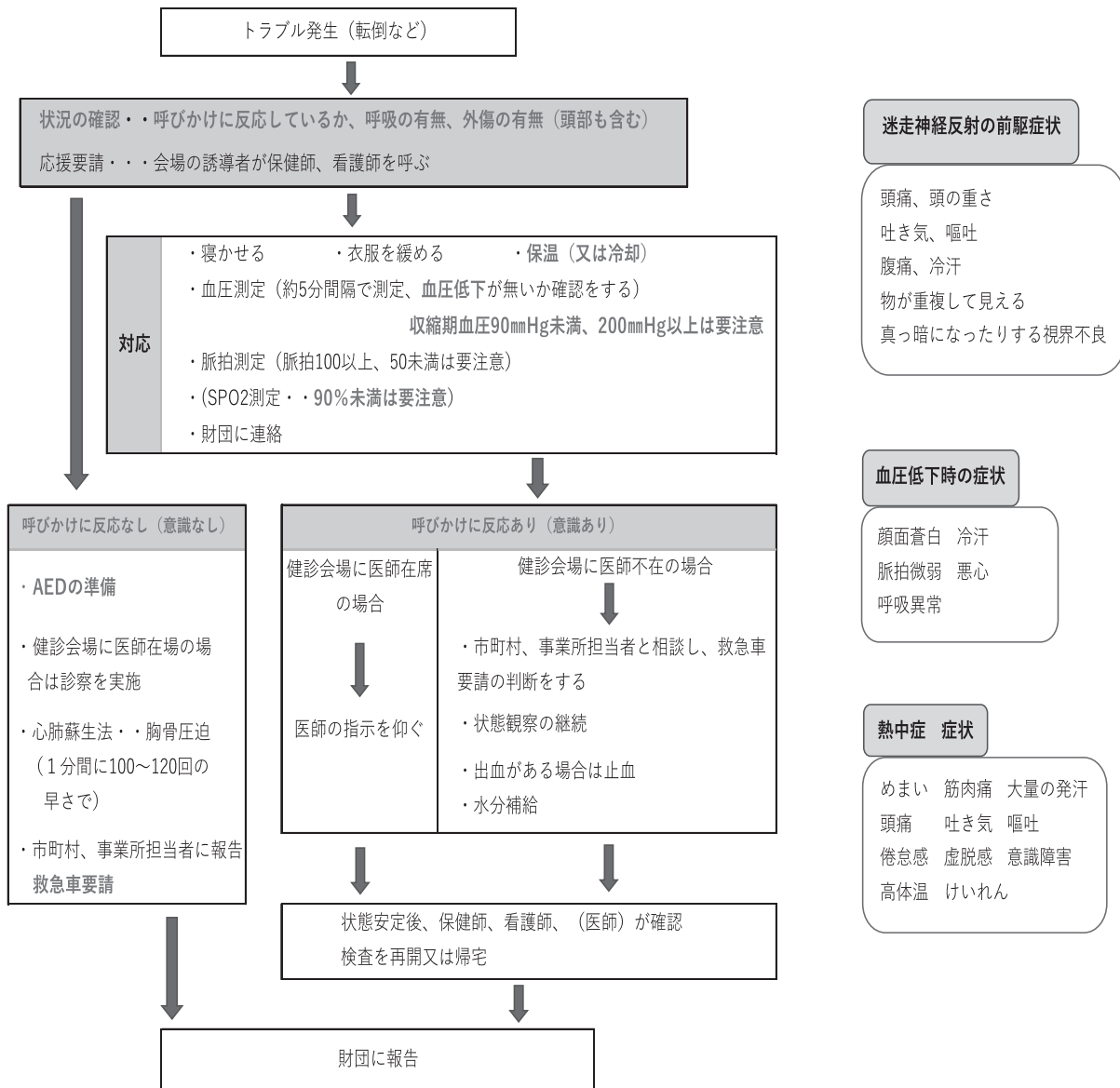


図3 緊急時対応フローチャート

まとめ

緊急時対応フローチャートを視覚化したことで、業務に携わる撮影技師の統一した対応が可能となった。また、健(検)診情報書の作成、備品の整備など、安全対策の検討を行ったことで、危機意識が高まった。

マンモグラフィ撮影は、緊張や乳房圧迫の痛みなどから、不安を感じる受診者がいる。そのため、接遇研修で学んだことを健(検)診現場で活用したり、撮影技術のレベルアップに努めた。また、撮影時に音楽を流すなどの緊張緩和に繋がる対応を行った。

今後の取り組み

今後も、健(検)診従事者が実際の現場で、ヒヤリハットや事故発生時に行動ができるよう、安全対策に関連した研修を継続していく。また、フローチャートを使用の際には使い勝手を評価し、見直しを行い、信頼のおける健(検)診機関であるよう努めていきたい。

11 表彰（職員）

(1) 結核予防会 永年勤続表彰（令和5年7月18日）

茂木 文孝 剣持 幹雄 蛭川 雅秀 外山 秀人

(2) 日本対がん協会 永年勤続表彰（令和5年9月8日）

倉林 明男

(3) 予防医学事業中央会 奨励賞（令和5年10月26日）

大野 悌典

(4) 群馬県健康づくり財団 永年勤続表彰（令和5年12月22日）

健診部 都丸 恵子

診療所 大野 悌典

健診部 長部 千恵

12 公益財団法人群馬県健康づくり財団の沿革

年 月 日	事 項
昭和	
14. 4.28	皇后陛下令旨～ 内閣総理大臣平沼騏一郎宮中で御内幣金50万円下賜
14. 5. 1	政府、閣議で結核予防会創立を決定
14. 5.22	財団法人結核予防会設立（東京）、総裁秩父宮勢津子妃殿下
15. 4.24	総裁秩父宮妃殿下支部長委嘱、本部長より支部会則（寄附行為）の承認 寄付行為制定 事務所群馬県庁予防課内に置く
15. 4.28	財団法人結核予防会群馬県支部設立、初代支部長 群馬県知事 熊野 英
16.10.27	結核予防会県支部、レントゲン自動車購入結核検診開始
17年	結核予防会県支部、ツベルクリン液、BCG ワクチンの取り扱いを開始
17. 8. 4	帝室林野局より山林の払下げ（5筆）を受ける（旧群馬郡金島大字金井字大野）
17.10.26	厚生大臣に財団法人設立の認可申請（認可17.10.31）
17.11. 9	前橋区裁判所に結核予防会設立登記申請
17.12.10	結核予防会、山林を日本医療団に対し一部売却（1筆）、残余は大日向荘官舎・施設に 一部貸与
20. 8.15	終戦 県から軍使用の指揮官車を払下げ X線間接撮影装置の運搬用に充てる
20.10月	結核予防会第一健康相談所、群馬県利根郡の農山村で巡回検診を開始 21年春から古馬牧村で、結核予防模範地区活動を始める
24. 3月	結核予防会第一健康相談所、群馬県北群馬郡渋川町の住民検診を開始
24.11.10	第1回結核予防週間開始
26. 4. 1	結核予防法施行
27. 5.25	結核予防会、前橋市堀川町に支部健康相談部を開設し結核健康相談を開始 結核予防会支部事務局を県予防課より移転
27. 7.31	結核予防法大改正
27.11. 1	結核予防会複十字シール封筒募金運動開始（運動期間11.1～12.20）
29. 4.10	結核予防会、群馬県からエックス線検診車1台借り受ける（間接撮影装置・放送装置 一式装備）
29. 4.15	結核予防会、同上により本格的な検診撮影を開始
30年	結核予防法の改正により、結核検診の対象が全国民に拡大 17年より取扱いのツベルクリン液、BCGワクチンの県下配布を30年度から、群馬薬業 （株）（前橋市）、（株）安藤震四郎商店（高崎市）をBCG販売について、県下代理店と定めて 委託する（31年度に浩和薬品（株）にも委託）
30. 9.17	財団法人日本寄生虫予防会設立
31. 4.20	結核検診対象拡大により、蓄電器放電式可搬型 X線間接撮影装置1台購入
31. 4月	結核予防会発行の図書販売あつ旋を開始
32.12.25	県下各保健所に地区支部設置、保健所長を支部長に各課長を幹事に委嘱し、結核検診 対象の拡大を機に、地区支部を設置
33. 2. 1	結核予防会、結核集団検診車事業強化のため、前橋市堀川町の健康相談部を閉鎖
33. 4.10	学校保健法の制定 就学時の健康診断の義務化
33. 6.10	学校保健法施行 就学時の健康診断の時期等明示
33. 8. 1	財団法人日本対ガン協会設立
33.10月	知事諮問機関「群馬県成人病特別対策委員会」設置（神田会長、羽生田副会長）
33.11.15	結核予防会本部から胸部 X線検診車1台配車受ける（特別競輪益金の配分）
35.10.10	財団法人結核予防会群馬県支部創立20周年小史刊行 「財団法人群馬県対がん協会設立発起人会」、寄付行為等審議、知事に設立認可申請
35.10.18	（財）日本対ガン協会、（財）群馬県対がん協会を同協会の群馬県支部に決定
35.10.27	財団法人群馬県対がん協会設立に関する補助金を県に申請、35.11.1付け100万円の 通知

年月日	事項
35.11.26	財団法人群馬県対がん協会設立（県衛生民生部予防課内に事務所置く） 初代会長 群馬県医師会長 羽生田 進
35.11.30	群馬県対がん協会、財団法人として前橋法務局に登記
36. 1月	群馬県医師会長羽生田 進、(財)群馬県衛生協会長に就任 協会事業 動物用薬品の販売、寄生虫予防活動
36. 3. 1	群馬県対がん協会事務所を県予防課内より群馬県医師会内に移転
36. 5. 2	群馬県対がん協会渋川支部誕生、その後各支部逐次結成、12保健所毎に発足
36.12.20	群馬県対がん協会、胃集団検診車「ひまわり1号車」完成 「ひまわり」の命名は対がん協会羽生田進初代会長（花言葉「健康」から）
37. 1.10	群馬県対がん協会の名称「がん」を「ガン」に変更
37. 4.13	群馬県対ガン協会、群馬会館内に「診療所」を開設
37. 4.25	群南村（現高崎市）を初日として巡回胃集団検診を開始
37. 7.10	群馬県対ガン協会「事務所」を群馬会館内に移転
38.11.20	群馬県対ガン協会設立3周年記念「第1回ガン対策推進県民大会」開催（群馬会館）
38.11.25	県と対ガン協会「保健婦研修会」共催、市町村、事業所対象以後毎年開催
39. 1.20	群馬県公衆保健協会設立趣意書 世話人代表羽生田 進（群馬県医師会長）
39. 2. 4	県と対ガン協会「支部・市町村等事務連絡会議」共催以後毎年開催
39. 7.10	対ガン協会ファイバースコープ等精密検査用医療器具購入、検査体制増強
39. 8.24	群馬県対ガン協会「ガン根治者（15名）座談会」開催（自治会館）
39. 9.21	「財団法人群馬県公衆保健協会」設立申請（協会長羽生田進名）
39.10.22	財団法人群馬県公衆保健協会設立許可（群馬県指令医第1,056号） 初代会長 群馬県医師会長羽生田 進、事務所：衛生研究所の一室借用
40. 6月	(財)群馬県衛生協会解散、財産事業の全て新設の「公衆保健協会」に引継ぐ
40. 8.18	母子保健法制定
40. 9.28	対ガン協会「東日本ガン対策連絡協議会」結成（関東・東北・北海道13対ガン団体）
41~42年	公衆保健協会、前橋市医師会中心に臨床検査開始（血液型検査、尿、糞便の潜血反応等）
41.10.21	群馬県対ガン協会「東日本ガン対策連絡協議会」総会開催（伊香保町）
41.10.22	第2回「東日本ガン征圧大会」開催（県婦人青少年センター）
42. 2.20	群馬県対ガン協会婦人科集団検診車「ビーナス1号車」完成
42. 4. 6	群馬県対ガン協会、高崎青年会議所と共催「ガン」と「交通事故」の「二大恐怖展」開催
42. 5. 6	結核予防会、前橋市光が丘町に事務所を建設し堀川町より事務局移転 (結核予防会総裁秩父宮妃殿下ご臨席、日本自転車振興会補助事業)
42.12.22	財団法人予防医学事業中央会設立
43. 5.16	群馬県対ガン協会、大泉町を初日として子宮ガン検診開始
43. 8.18	群馬県対ガン協会事務所・診療所を群馬会館から群馬メディカルセンター内に移転 群馬県公衆保健協会事務所を群馬メディカルセンター内へ移転
43年	群馬県公衆保健協会、前橋市と2分し検体回収開始、生化学検査・血清学検査、臨床検査、 し尿浄化槽放流水検査開始
44年	群馬県公衆保健協会、前橋市医師会の委託を受けて産業検診始まる
44.10.21	群馬県対ガン協会羽生田進会長「日本対ガン協会賞」受賞（奈良県開催のガン征圧全国大会席上）
44.11. 5	群馬県対ガン協会診療所内に据置式胃間接撮影装置を設置、胃施設集団検診を開始
45. 5. 1	群馬県公衆保健協会、機関紙「群馬の公衆保健」創刊号発行
45. 8月	群馬県対ガン協会病理組織検査開始
45. 9月	群馬県公衆保健協会、予防医学事業中央会の支部認定を受ける
45. 9.25~26	群馬県公衆保健協会「予防医学関東甲信越静地区会議」開催
45.10.27~28	東日本対ガン対策連絡協議会の企画調整研修会開催（水上町湯檜曾）
46. 2.12	「群馬県対ガン協会設立10周年記念大会」開催（群馬メディカルセンター）

年 月 日	事 項
46. 4月	群馬県公衆保健協会、浄化槽放流水、腸内細菌検査開始 児童・生徒の貧血（中学2年女子の貧血検査）検査開始
46. 7.31	群馬県公衆保健協会登録衛生検査所として群馬県知事から認可（登録番号第1号）
47.10.1	労働安全衛生法施行
48. 7.25	羽生田会長、衆参両院・関係政府機関に対し国のガン施策強化を陳情
49. 4月	結核予防会肺がん（読影）検診開始
49年	学校保健法の一部改正により児童生徒の腎疾患対策として尿検査義務付け 結核予防会、東毛地区の結核検診を利用した肺ガン検診（読影）技術協力
50. 5.21~22	「第26回結核予防全国大会」開催（県民会館）
50. 9.19	群馬県対ガン協会「関東甲信越胃集検学会地方学会」企画開催（県民会館）
51. 2.18~19	群馬県対ガン協会「東日本ガン対策連絡協議会検診担当部課長の検診研修会」開催
51. 3.15	公衆保健協会計量証明事業所として登録「計量法第123条の登録（登録番号環第10号）」
51. 9.20	群馬県公衆保健協会「協会10年の歩み」発行
52. 3. 9	群馬県公衆保健協会、日本医師会長から第10回「臨床検査精度管理調査」で表彰受ける
52. 4月	結核予防会、循環器検診開始
52. 9.14	群馬県対ガン協会池上直一専務理事「日本対ガン協会賞」受賞（ガン征圧全国大会席上）
52.11月	群馬県公衆保健協会、新生児代謝異常検査開始
53. 6. 4	群馬県公衆保健協会、食品業者（製品の自主検査）対象に食品衛生検査開始
53. 9.18	「ガン征圧全国大会」で対ガン協会工藤実総務課長が日本対ガン協会から特別感謝状を受ける
54.12.10	群馬県公衆保健協会、食品衛生法による「厚生大臣指定検査機関」の指定を受ける
55. 3.30	対ガン協会米国ピッカール社製精検用乳腺撮影用X線装置設置完了
55年	予防医学事業中央会関東甲信越地区会議開催（厚生年金会館）
55. 4.21	群馬県対ガン協会、高山村を初日として乳・甲状腺ガン集団検診開始
55. 9.26	「ガン治癒者の集い」開催、「ひまわりの会」結成（メディカルセンター）
55.11. 4~	検診車による「ガン征圧街頭普及事業」実施（全市町村重要地区11日間）
56. 3.30	「ピーナス1号車」を乳房集団検診車「しらゆり1号車」に改装完了
56. 6.11	「群馬県対ガン協会設立20周年記念大会」開催（県民会館）
56.11. 3	公衆保健協会羽生田進会長 勲二等瑞宝章 公衆保健協会清宮専務理事 藍綬褒章受章
56.11. 6	公衆保健協会原田検査部長 野口英世記念医学賞受賞
56.11.13~14	「日本対ガン協会関東甲信越支部連絡協議会」開催（水上町ホテル聚楽）
57. 4. 1	大腸ガン検診、肺ガン喀痰細胞診検査開始
57. 7. 6	群馬県対ガン協会「第18回東日本ガン征圧大会」開催（県民会館大ホール）
58. 2. 1	老人保健法施行、40万人以上が受診対象のため体制づくり開始
58. 2.19	群馬県公衆保健協会「第14回関東甲信越静学校心臓病予防研究会」開催
58. 4. 1	結核予防会、公衆保健協会協同事業で老健法検診開始 群馬県対ガン協会、前立腺ガン検診開始
58. 6. 8	群馬県対ガン協会、日本宝くじ協会より婦人科集団検診車の寄贈を受ける
58. 7. 1	群馬県医師会長鶴谷孔明、群馬県公衆保健協会会長に就任
58. 9.28	仙台市でガン克服者の全国組織「全国よろこびの会」設立総会塚本会長出席
58.12. 7	群馬県公衆保健協会「第18回公衆保健大会」開催
59. 3.28	群馬県公衆保健協会、県医師会長鶴谷孔明より「臨床検査精度管理の実施」で受賞
59. 8.30~31	「予防医学全国統計実務研修会」開催（水上町）
59. 9.19	第1回検診検査団体懇談会開催（3団体統合準備）
59. 9.22	群馬県対ガン協会「第28回日本消化器集団検診学会関東甲信越地方会」開催
59.10. 1	ひまわりの会、ガン闘病体験手記「笑顔のひまわり」300部発行
60. 1.18	第2回検診検査団体懇談会の開催

年 月 日	事 項
60年	結核予防会、コンピュータによるデータ管理開始
60. 8月	小学校1年生全員の心臓検診開始
60.10.11	県と共催「あなたが主役、これからの健康づくり県民大会」開催
60.12. 5	「群馬県対ガン協会創立25周年記念式典」開催
61. 2.20~21	群馬県対ガン協会「東日本ガン対策連絡協議会（中間監督職員）研修会」開催
61. 3.15~16	「代謝異常スクリーニング研究会関東甲信越静部会」開催
61. 3月	「躍進ぐんま計画」に「健康づくり財団設立と総合検診センター建設」明記
61. 5.12~13	「日本対ガン協会関東甲信越支部連絡協議会」開催（水上町ホテル聚楽）
61. 7.11	県議会で県の出損金議決（3団体統合前夜）
61. 9.12	群馬県対ガン協会鶴谷孔明会長「日本対ガン協会賞」受賞（島根県開催のガン征圧全国大会席上）
61.10.14	県と共催「第2回あなたが主役、これからの健康づくり県民大会」開催
61.10.21~22	「予防医学事業推進関東甲信越地区会議」開催（伊香保町）
61.10.22	3団体連絡会議開催（統合前夜）
61.11.25	財団法人健康づくり財団設立発起人会開催（統合前夜）
61.12. 3	第21回公衆保健大会の開催（群馬メディカルセンター）
61.12.27	財団法人群馬県健康づくり財団設立 初代会長 清水一郎群馬県知事 初代理事長 鶴谷孔明就任（知事許可）「総務部」の設置、新体制の一步
62. 1.12	群馬県健康づくり財団 法人登記
62. 2.24	鶴谷孔明理事長死去
62. 3.31	(財)結核予防会群馬県支部、(財)群馬県対ガン協会、(財)群馬県公衆保健協会発展的解散、全ての事業を(財)群馬県健康づくり財団が継承する
62. 4. 1	旧3団体(財)群馬県健康づくり財団に統合 第2代理事長 太田武史群馬県医師会長 初代事務局長 鷲頭秋次 旧3団体を3事業部として4部制開始
62. 5.15	群馬県民健康憲章制定
62. 7.28	機関誌「健康ぐんま」創刊
62. 8.16	第2代 太田武史理事長死去
62.10.26	第3代理事長 家崎 智 就任
63. 1.27	第1回群馬県地域保健研究発表会開催
63. 4. 8	食品衛生法第14条第1項による厚生大臣指定検査機関として指定を受ける
63. 9.16	総合検診センター起工
63.12. 3	中国計画生育協会訪日団財団視察
平成	
1. 4. 1	神経芽細胞腫検査開始
2. 3.17	健康づくり財団「総合検診センター」（仮称）の完成（竣工H元年11.15）
2. 8. 1	大腸がん精密検査開始
3. 1.24~25	予防医学事業中央会「第25回予防医学技術研究集会」開催
3. 2.15	エチオピア人民民主主義共和国 ジゾー・チュセハイ保健大臣財団視察
3. 4. 1	ヘルスチェック（日帰り人間ドック）開始
3. 9.17	健康づくり財団社内報「財団タイムス第1号」発刊（普及広報課）
3.11.15	第2代会長 小寺弘之群馬県知事就任 財団シンボルマーク制定
4. 4. 1	胃がん検診結果処理電算開始
4. 9.13	市町村等協力事業開始
5. 1.26	米国、テキサス大学ヒューストン校教授一行財団視察
5. 4. 1	第2代事務局長 福田高雄 就任
5. 5. 6	政府管掌健康保険成人病予防健診指定機関の認定を受ける

年 月 日	事 項
6. 1. 1	群馬県から「がん登録事業」を一部受託
6. 2.15	第7回群馬県地域保健学会開催（名称変更）
6. 7. 5～6	「統合団体連絡協議会」開催
6. 9. 8～9	「結核予防会関東甲信越支部ブロック会議」開催
7. 4. 1	組織改正 がん登録室、病理検査室設置 群馬県から肥料検査業務を受託
7. 9.29	子宮、乳、大腸がん検診結果処理電算化開始 がん治癒者の会「ひまわりの会」15周年式典開催
8. 4. 1	財務会計処理電算開始
8. 9.27	設立10周年記念事業「県、市町村等保健婦研修会」開催
8.10.17～18	予防医学事業中央会「予防医学推進関東甲信越地区会議」開催
8.12.18	公衆衛生審議会意見具申「生活習慣に着目した疾病対策の具体的方向性について」成人病から生活習慣病への呼称変更
9. 1. 8	骨密度検診開始
9. 2.10	財団設立10周年記念式典開催
10. 4. 1	がん検診事業補助金の一般財源化
10.11.18	群馬県から「不妊専門相談センター」事業受託
11. 6.10	がん治癒者の会「ひまわりの会」の全国組織である「全国よろこびの会」全国大会を伊香保町にて開催
11. 7.26	結核緊急事態宣言
11.12.22	市町村と財団とのオンラインシステム開局 検診案内、受診票作成業務受託開始（9町村）
12. 3.28	検診車による超音波検診（エコー検診）開始
12. 3.31	健康日本21策定
13. 4. 1	第4代理事長 赤沢達之 就任
13. 4.11	マンモグラフィ搭載車による乳がん検診開始
13. 7. 1	第3代会長 家崎群馬県医師会顧問就任
13.10.11～12	「北関東三県運営会議」開催
14. 4. 1	第3代事務局長 岡 英夫 就任 マンモグラフィ検診施設画像「A評価」の認定を受ける
14. 4. 2	肝炎ウィルス検診開始 健康づくり外来検診開始
14. 5.13	岡理事・事務局長「健康づくりレベルアップ改革の基本方向～デッサン～」の提示
14. 7. 3	健康づくり財団レベルアップ改革推進委員会運営要綱の施行
14. 8. 2	健康増進法の公布
14. 8. 5	第1回レベルアップ改革推進委員会の開催
14.11.13	結核予防法施行令の改正（小学1年・中学1年に対するツベルクリン反応検査BCG接種の中止）15年4月1日施行
15. 2. 3	国際寄生虫予防指導者財団視察
15. 4. 1	日本臨床細胞学会から施設認定を受ける
15. 7. 1	ホームページ開設 レジオネラ属菌検査開始
15.10. 1	財団内ランシステム供用開始
16. 2.27	食品衛生登録検査機関の認可を受ける
16. 3.19	事業年報創刊
16. 3.31	厚生労働省から臨床研修協力施設の認定を受ける 神経芽細胞腫検査中止
16. 4. 1	FMS方式（医薬資材の効率的購入・管理）導入 専門外来開始：女性総合・消化器等

年月日	事項
16. 5.19	健康フロンティア戦略施行（実施期間：平成17年～26年）
16. 7.15	「四県運営会議」開催（伊香保町）
16. 8. 1	歯周疾患検診開始 「食品衛生だより」第1号発行（食品環境検査室）
16.10. 7	「結核予防会関東甲信越支部ブロック会議」開催（伊香保町）
16.11.17	「心身の健康づくり事業準備委員会」発足
16.12. 7	勤務評価・勸奨退職制度制定
17. 3.24	財団10カ年構想と人事管理改善3カ年計画の提示
17. 4. 1	第5代理事長 鶴谷嘉武 就任 結核予防法等の一部を改正する法律の施行（住民健診における対象年齢を65歳以上へ引き上げ） 政府管掌健康保険生活習慣病予防健診事業における巡回健診の開始
17. 6. 1	「心身の健康づくり事業」開始
17. 7.25	群馬県知事表敬訪問（複十字シール募金運動：地婦連4名、財団4名）
17.11. 1	旅行会社との業務提携契約を締結。「人間ドック宿泊プラン」開始
18. 2.20	「HPV検査」開始
18. 2.22	「アスベスト健診」開始
18. 3.28	レジオネラ対策強化「県公衆浴場法施行条例」「県旅館業条例」の一部改正公布（施行：平成18年7月1日） 地区支部助成金制度廃止
18. 4. 1	組織改編（2局3部2室9課1支所）分散管理事業別編成から集中管理職種別編成へ新職制（職の簡素化）・新給与体系（対応号給・手当の見直し）に移行 「介護予防のための生活機能評価」開始 ぐんま臓器移植推進財団事務局を当財団に移転
18. 4.17	財団内ランシシステム（リメンバー）供用開始
18. 7. 1	歯科検診開始（事業所対象）
18. 7.31	群馬県知事表敬訪問（複十字シール募金運動：地婦連4名、財団4名）
18. 8. 1	ぐんま臓器移植推進財団の統合（総務部臓器移植推進室設置）
18.10.19～20	「第51回予防医学事業推進全国大会」開催（前橋市・みなかみ町）
18.11. 9～10	「日本対がん協会関東甲信越地区連絡協議会」開催（渋川市）
19. 2.25	財団設立20周年行事の一環として「設立20周年記念イベント」を開催（施設開放型イベント）
19. 3.24	「群馬県がん患者団体連絡協議会」発足（事務局：財団）
19. 4. 1	組織改正（事業部調整課を業務部に移管、事業部に事業課及び保健課に健康支援室を新設。）
19. 7. 1	「健康づくり65年史」発行
19. 8.30～31	「予防医学事業中央会第25回情報統計研修会」開催（前橋市）
19.10.25～26	「予防医学事業推進関東甲信越地区会議」開催（渋川市伊香保町）
20. 2.21	「第21回群馬県地域保健学会」開催（以後、休止）
20. 3. 2	施設開放型行事「財団ヘルスアップフェア」開催
20. 4. 1	組織改正（事業部技術課を検査一課と放射線課に分割、検査課を検査二課に） 非正規職員体系整理（嘱託職員・臨時職員の体系整理） 特定健診・保健指導開始 J-START（第3次対がん総合戦略事業）研究事業の参加
20. 9. 4～5	「四県会議」開催（渋川市）
20.11. 1	がん登録全国標準化移行 総務部内に情報管理室を設置
21. 1.15	機関誌「健康ぐんま（第44号）」発行（今号をもって廃刊）
21. 1.28	胃胸部併用X線テレビ検診車 完成披露式

年 月 日	事 項
21. 3. 1	施設開放型行事「財団ヘルスアップフェア」開催
21. 3.31	地区支部制度廃止 (機関誌) 編集委員会廃止
21. 4. 1	がん精密検査一部廃止又は縮小 第4代事務局長 橋本和博 就任
	組織改正 (業務部調整課を廃止、医事課、診療課の2課体制で診療所を配置。保健課を看護課に、保健課健康支援室を健康支援課に)
	施設整備の工事 (施設内レントゲン機器のデジタル化) 診療棟の一部改修
	育児介護休業取得者職場復帰プログラム制定
21. 6.30	表彰選考委員会廃止
21.12.31	館林支所廃止 職員永年勤続表彰制度廃止
22. 1. 1	組織改正 (お客さま室の新設、事業部を健診部、環境検査部、病理検査センターに分離) 年間変形労働時間制の導入
	医療安全管理規程制定
22. 2. 1	セクシャルハラスメント防止対策指針制定 管理職定年 (57歳) 制度制定
22. 3. 7	施設開放型行事「財団ヘルスアップフェア」開催
22. 3.31	同好会活動助成金制度廃止
22. 4. 1	診療棟の全面改修・空調設備の全面更新 臨床検査を外注に転換 管理職・医師年俸制導入
22. 6.10-11	「第28回全国よろこびの会総会」開催 (みなかみ町)
22.10.1	第5代事務局長 斎藤 隆 就任
23. 2. 3~4	「予防医学事業中央会全国業務研修会」開催 (高崎市)
23. 3. 5	施設開放型行事「財団ヘルスアップフェア」開催 (以後、開催されず)
23. 4. 1	胃がんリスク検診 (ABC検診) の導入 新電算システム導入 (CARNAS)
23. 6.30~	COPDモデル検診実施 (前橋市)
23. 7. 4	群馬県による公益法人立入検査 (9/14.9/30)
24. 2.15~17	「予防医学事業中央会第46回予防医学技術研究会」開催 (高崎市)
24. 3.28	理事会で一般財団法人移行関連議案否決 鶴谷嘉武理事長 辞任
24. 4. 1	理事長代行に月岡関夫 就任 第6代事務局長 新木恵一 就任
	乳がん視触診検診廃止
24. 4.20	第6代理事長 月岡関夫 就任 理事会で公益法人を目指す新たな方針を決定
24. 6.28~	COPDモデル検診実施 (前橋市)
24. 9. 3	厚生連へ胃がん検診車譲渡
24. 9. 6~7	「四県会議」開催 (渋川市伊香保町)
24.12.20	公益財団法人移行認定 (25.3.18 認定書発行) 給与体系の見直し
25. 3.28	デジタルマンモグラフィ検診車 完成披露式
25. 4. 1	公益財団法人へ移行 組織を見直し、情報管理課、お客さま窓口課、サービス推進課を廃止し、企画広報課、システム管理室を設置、健康支援課を健診部から業務部へ移管 給与体系全面改正 (年俸制廃止) 乳がん視触診検診再開

年月日	事項
25. 7. 1	新機関誌「健やかぐんま」創刊（年4回発行）
25.10.12～13	「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2013ぐんま」開催（初開催）
25.10. 1	先天性代謝異常検査からタンデマス方式へ移行 ピアサポーター事業を県から受託開始
26. 3. 8	「群馬県地域保健研究発表会」開催（「群馬県地域保健学会」をリニューアル再開）
26. 4. 1	組織改正（Pマーク室新設、環境検査部検査二課を検体検査課へ、健診部検査一課を臨床検査課へと改組） 子宮がん検診ベセスダシステムへ完全移行 診療所内視鏡検査2ベッド体制に移行
26.10.11～12	「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2014ぐんま」開催
26.10.30～31	「予防医学事業中央会関東甲信越地区会議」開催（高崎市） （財）巨尾健康づくり助成基金を引継ぎ、7件の調査研究事業に対し助成
26.11. 3	「群馬県民マラソン（現：ぐんまマラソン）」に協賛・ブース出店（以後、毎年協賛）
27. 4. 1	業務部を事業推進部に改組。業務課と健診部事業課を統合し事業推進課に、健康支援課を健康増進室に、診療所医事課を医事企画課に改組 学校心臓検診（高1）12誘導に移行
27. 6.10～11	「地域がん登録全国協議会第24回学術集会」開催（前橋市）
27. 7. 7	プライバシーマーク（Pマーク）取得
27. 9. 3～4	「がん征圧全国大会」開催（前橋市）
27.10.17～18	「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2015ぐんま」開催
28. 1. 1	全国がん登録の開始
28. 3	給水給湯設備全面改修
28. 4. 1	ストレスチェック受託開始 がん検診指針の一部改正施行（胃がんX線検診50歳以上隔年、内視鏡検査推奨、乳がん検診視触診推奨せず）
28. 6.29	第7代理事長 須藤英仁 就任
28.10. 8～9	「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2016ぐんま」開催
28.10.25	「日本対がん協会関東甲信越支部連絡協議会」開催（前橋市）
28.12.27	財団設立30周年
29. 1	乳がん超音波検査モデル実施（大泉町）
29. 2.10	「設立30周年記念式典」開催（前橋市）
29. 4. 1	第7代事務局長 戸塚俊輔 就任 組織改編（環境検査部と病理検査部を統合し検査部へ、健康サポート課を新設等） 健康サポート事業開始 公益財団法人健康づくり財団「基本理念、基本方針、職員行動指針」策定 リスクマネジメント体制整備（医療安全管理指針の策定）
29. 6.15～16	「全国よろこびの会総会」開催（渋川市伊香保町）
29.10. 7～8	「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2017ぐんま」開催
29.11.10	「結核予防会関東甲信越支部ブロック会議」開催（高崎市）
30. 2.22	市町村の受診率向上と連携強化を図る「健康セミナー」開催
30. 3. 9～10	「予防医学事業中央会医師協議会」開催（みなかみ町）
30. 3	循環器健診年間受診者、初めて職域が地域を上回る
30. 4. 1	組織改編（システム管理室を情報課に統合、医療安全管理室・事業企画課・健診管理課を新設） 第3期特定健康診査・特定保健指導開始
30. 5. 1～2	全国縦断がんサバイバー支援ウォーク（日本対がん協会垣添忠生会長）県内縦断（財団職員同行）
30. 7. 5～6	四県会議（福島、茨城、栃木支部）開催（草津町「ホテル一井」）
30. 8. 4. 9.30	がん征圧ピンクリボンキャンペーン（ボートレース桐生）

年 月 日	事 項
30.10. 6~7	「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2018ぐんま」を開催（日本対がん協会 垣添忠生会長来場）
30.11.30	行政庁（県学事法制課）の公益法人定例立入検査
31. 2.20	市町村事業所の受診率向上と連携強化を図る「健康セミナー」開催
31. 3	第3期特定健康診査制度改正により詳細項目の心電図、眼底検査が大幅に増加したマンモグラフィーのデジタル化が完了し、全レントゲン装置のデジタル化が完了した
令和	
1. 7.17	プライバシーマーク（JISQ15001:2017）付与適格性審査
1. 9.22	がん征圧ピンクリボンキャンペーン（ポートルース桐生）
1.10.12~13	台風19号襲来のため「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2019ぐんま」中止
1.12.16	群馬県健康づくり財団中期事業計画策定
2. 2. 6~7	予防医学事業中央会全国業務研修会開催（高崎市）
2. 2.13	「群馬県健康づくり財団健康セミナー」開催
2. 3	巡回健診のIT化促進のため、職域健診にハンディ健診導入
2. 4.17	巡回健診事業、診療所事業の一時休止を決定 （休止期間 診療所業務：4/20~5/19、巡回健診事業：4/20~6/30）
2. 9	「陰性証明書」発行の要望が寄せられたことから、唾液による新型コロナウイルスのPCR検査を開始
2. 9.25 10.9	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2020ぐんま」のリレーイベントを中止し、県内2か所で代替イベントを開催
2.10	ICTを活用したリモート保健指導を開始
3. 3.4	「健康経営優良法人2021（大規模法人部門）」に認定
3. 9.14	プライバシーマーク付与適格性審査
3. 5~	新型コロナウイルス感染症予防接種体制整備に係る「連携型接種施設」として、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種を実施
3.10. 8	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、リレー・フォー・ライフ・ジャパン2021ぐんまのリレーイベントを中止 公益財団法人群馬県健康づくり財団で代替イベントを開催
4. 3. 9	「健康経営優良法人2022（大規模法人部門）」に認定
4. 4. 1	第8代事務局長 友松寛 就任
4. 5.20	財団ホームページ リニューアル
4.10. 8	群馬での開催10回目に当たる「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2022ぐんま」は1日のみの縮小開催としたものの、4年ぶりのリレーイベントを実施（日本対がん協会 垣添忠生会長来場）
4.12. 1	行政庁（県民活動支援・広聴課）の公益法人定例立入検査（コロナ禍により、予定より1年先送りでの実施）
4.12. 8	がん対策推進企業アクション「推進パートナー企業」登録
5. 1.18	「群馬県がん患者団体連絡協議会」が令和4年度「ふれあい愛の募金」の寄付寄贈先に選定
5. 1.26	子宮頸がん検診車納車・配車（一般社団法人日本宝くじ協会助成事業）
5. 3. 8	「健康経営優良法人2023（大規模法人部門）」に認定
5. 4. 1	県が令和4年度まで実施していた「社会福祉施設等結核健康診断事業」を引き継ぎ、事業を開始。同年度は180施設（約9,000件）を実施
5. 8. 1	プライバシーマーク付与適格審査
5. 8.24~25	「予防医学事業中央会全国情報統計研修会」開催（高崎市）
5.10. 7~ 8	「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2023ぐんま」を5年ぶりの夜越えて開催
5.11. 9	食品衛生法登録検査機関の更新
5.12. 8	「第16回関東甲信越地区結核予防婦人団体幹部講習会」開催
6. 3.11	「健康経営優良法人2024（大規模法人部門）」に認定

